

14.5-171



於各  
け國  
るに

植 物 性 油 下 卷

油脂市場の經濟的研究、油脂の價格及交換性

14.5

171

調查資料第六十五編

南滿洲鐵道株式會社  
庶務部調查課



始





14.5-171



凡例

社寄贈本

一、曩に當課の發表した各國に於ける植物性油上卷(生産原價)の原文(Certain Vegetable Oils, Part I.-Costs of Production of the Edible Oils, Part 2.-Economic Study of the Trade in and the Prices and Interchangeability of Oils and Fats. を翻譯せる

ものである。本書印刷の主旨及本書の資料的價値に就ては上卷と同一であるから茲に之を贅しない。

本書の翻譯は上卷と同じく資料係員中村藤三が之に當つた。事務の都合上印刷期の遅延したるは遺憾である。

大正十五年十月三十日



庶務部調査課

凡例



# 目次

## 油脂市場の經濟的研究油脂の價值及交換性

### 序論

合衆國油脂輸出人の均衡	一
國內消費	二
輸入額	二
國內生産高	三
輸入税	四
國産油輸出額	四
價格	五
第一章 合衆國內の油脂狀況	六
第一節 生産と消費	七
消費	七

目次

一



消費に對する生産の割合

第二節 各油脂の國內生産額

一八

概説

一八

植物油

二二

綿實

二三

亞麻仁

二四

玉蜀黍

二五

大豆

二五

落花生

二七

獸脂及魚油

二七

豚肉、牛肉及其他脂肪

二七

魚油及鯨油

三〇

食用油と非食用油

三一

乾燥性油と非乾燥性油

三二

第三節 合衆國正味輸入額

三二

油脂原料の輸入額

三八

乾燥性油の輸入額

三九

無稅油及有稅油の輸入額

四一

第四節 國産品輸出額

四六

第五節 油脂輸出入の差額

五五

第一章 各國の油脂狀況

五八

第一節 椰子油及コブラ

五九

供給

五九

消費

六〇

第二節 落花生油及落花生

六六

供給

六六

消費

六七

第三節 大豆油及大豆

七三



供給	七三
消費	七四
第四節 バルム油及バルムカーネル油	七九
第五節 綿實油及綿實	八一
供給	八一
消費	八二
第六節 植物油貿易の恢復	八八
第七節 獨逸に於ける植物油消費額	九三
第八節 總括	九五
第三章 油脂の價格	九八
第一節 序論	九八
第二節 主要油脂の價格	九九
第三節 食用油及非食用油の價格比較	一〇三
第四節 植物油及獸油の價格比較	一〇五

第五節 各油脂の價格變動

綿實油及豚脂	一〇五
綿實油及其他綿實生産品	一〇八
椰子油及コブラ	一一四
落花生油及落花生	一二三
大豆油及大豆	一二七
第六節 價格統計表	一三一

第四章 油脂消費工業に於ける油脂の交換性

第一節 序論	一八九
第二節 價格の影響	一九六
第三節 各種製造工業に於ける油脂の消費	一九七
概説	一九七
人造豚脂製造業	二〇一
人造バター製造業	二〇七



ザラダ油及マヨネーズソース製造業……………二二四

サラダ油……………二二四

サラダ及マヨネーズソース……………二二六

石鹼製造業……………二二八

石鹼製造用油脂の交換性を決定する條件……………二一八

油脂の消費量……………二二二

**第四節 油脂の交換性に關する質問書より得たる資料……………二三四**

椰子油……………二三四

大豆油……………二四〇

魚油……………二四五

於各國に植物性油 下卷

油脂市場の經濟的研究、油脂の價格及交換性

序論

植物油及動物脂に關する本研究は要するに次の三項目に歸着する。

(一) 合衆國に於ける油脂の生産輸出輸入及消費狀況

(二) 原始生産諸國の各種植物油及植物油原料輸出、並に西歐諸國に於ける之等の消費に關する國際的關係

(三) 油脂の内外國價格の關係

研究の目的は内國産の油脂と輸入植物油との競争に影響を及ぼす諸條件を示すことである。従つてこの研究に於いて數字は、生産原價に關する説明書(上卷)を補足するものである。

米國油脂輸出入の均衡——一九一六年までは、合衆國に於ける動物脂及植物油の外國貿易は大なる輸出超過を示した。戦時の需要に依り植物油の輸入額は非常に膨脹し、一九一七—二〇年の數年間輸入額は輸出額を超過した。一九二一年に一時的復活を見輸出は大となつたが、然し其後一九二二年から二四年迄の三年間は輸入額及輸出額は實





際均勢を保つた。一九二二年から二四年迄を平均すれば年生産額略六十六億封度の内、十三億封度が輸出されたことになつてゐる、輸入額は年平均十一億封度であつた。輸出は殆んど全部豚脂、牛脂其他の豚及牛の脂肪であり輸入は殆んど全部が植物油であつた。

國內消費——油脂の國內消費高は一九二四年に最大に達し、七十億封度の油脂が使用された。平均一箇年消費額は、一九二二年から二四年迄の間には、一九二二年及二四年の消費額各五十億封度であつたのに比し、六十億封度であつた。戦前には植物油は國內油脂全消費高の四二%を占め獸脂及魚油は五八%であつた。この割合は一九二二年から二四年に至る間に非常な變化を來した。即ち一九二四年にこの割合は植物油三八%に對し動物油六二%となつた。

總ての油脂の一箇年一人當り消費高は一九二二年及二四年には、五三・五封度であつたのが、一九二二年から二四年迄の間には五八・二封度と著しい増加を示してゐる。而して其内容は全部獸脂及魚油の消費高の増加に依るものである。植物油の消費額は實際少しも變化を示してゐない。

消費總額に對する輸入額の割合は一九二二年及二四年に於ける一〇%から一九二二—二四年に於ける殆んど一八%までに増加した。

輸入額——輸入植物油は、その性質及用途に從つて二大別することが出来る。

乾燥性油。例へば主にベンキ、ワニス、油團等の製造に用ひられる亞麻仁油及支那産桐油

非乾燥性油及半乾燥性油。例へば主に食料品及石鹼製造に用ひられる、綿實油、椰子油、落花生油及大豆油。現在の調査は主として、後者即ち非乾燥性油及半乾燥性油に關するものである。此の前の關稅委員會の調査（調査第十八號）では乾燥性油中の最も重要な亞麻仁油を取扱つた。

一九二二年より二四年に至る四年間に於ける總ての植物油（及輸入含油原料の油相當額）の平均輸入年額は十億五千五百萬封度であつた。この分量の内四億五千三百萬封度は乾燥性油で六億〇二百萬封度が非乾燥性油及半乾燥性油であつた。後者に於ける主なるものは椰子油（コブラの油相當額及比律賓よりの發送品を含む）が三億五千二百萬封度、バウム油が七千七百萬封度、オリーブ食用油が六千六百萬封度、オリーブ不可食用油が三千百萬封度、大豆油が二千一百萬封度及落花生油が四、五百萬封度であつた。

國內生産高——獸脂及植物油の國內生産額は、殆んど全部（九六%）が非乾燥性油及半乾燥性油に屬するもので即ち食料品及石鹼製造に用ひられるものである。獸脂、即ち豚脂、バター脂、牛脂及オレオ油等は總てこの種の油脂に屬し、又同様に生産量に於て最も重要な國産植物油である綿實油も亦之に屬する。一九二二—二四年間に、國産原料から造られ、食料品及石鹼製造用に充てられた油脂の平均年額は六十二億七千六百萬封度であつた（國産原料製油脂の生産額、但し亞麻仁油を除く）。この額と六億〇二百萬封度の輸入乾燥性油及半乾燥性油とは普通の意味にて競争して居た。非乾燥性油及半乾燥性油に屬する國産油中同種油の輸入品と直接に競争状態にあつたのは僅かに二種に過ぎぬ、即ち落花生油及大豆油である。一九二二—二四年間に於ける落花生油の國內生産額は一箇年平



均一千七百萬封度であり、輸入額は四百五十萬封度であつた。そして大豆油の國內生産高は一九二二—二四年間には大豆總輸入年平均額二千二百四十萬封度なるに比し、一百万封度であつた。

輸入税——一九二一年の緊急税法及一九二二年の關稅法は、椰子油、綿實油、落花生油及大豆油に課税してゐる然し乍ら數種の重要な油は一九二二年の法令の無稅表の上に殘された。即ちパルム油不可食用オリブ油は課税されず、コブラも亦課税されなかつた。その上、今日椰子油總輸入額の九九%に上る比律賓仕出椰子油の積荷は免稅である。

非乾燥性油及半乾燥性油に屬する諸油が、互に化學的及物理的性質に於て相似てゐる爲に或る程度の交換性があり代用が可能である。それ故消費が課税油から無稅表に殘つてゐる油へ移るといふ重大なる傾向がある。

課税油の輸入額は、一九二一年の七億〇九百萬封度から一九二四年に於ける四億六千萬封度に減退した。然るに無稅油の輸入額は、同期間中に三億六千八百萬封度から六億一千四百萬封度に増加した。無稅油輸入の此の増加額は課税油の減退額と量に於て殆んど同じであつた。

國產油輸出額——國產油脂の輸出額は、一九二一年—二四年間に年平均十三億〇二百萬封度であつた。實際輸出油は總て非乾燥性油及半乾燥性油に屬するものであつた。この種の油の輸出額は國內生産總額の二〇%に當る。一九二一年から二四年までの豚脂の輸出額は、一九一〇—一四年間の年平均五億一千二百萬封度であつたに對し年平均九億二千八百萬封度であつた。他の動物性脂肪の輸出額はこの期間にほんの僅か増加したに過ぎない。一九二一

乃至二四年間の植物油の輸出年平均額は大戰前に於ける輸出年額の五〇%以下であつた。一九一〇—一四年間年平均二億七千一百万封度であつた綿實油の輸出額は一九二二—二四年間には僅か一億六百萬封度に過ぎなかつた。

價格——主に輸出市場向に生産される油脂(例へば豚脂及オレオ油)の價格は全世界の需給狀態の影響を受ける。

本報告書中價格に就て後に述べる如く、豚脂及牛脂は一九二二—二四年間に於て他の食用材料より遙かに安かつた(一九二三年の價格を標準として計算)。國際的價格は他の國產諸油脂と之等の安價な商品との競争を通じて、國內市場に廣範圍に亘る影響を及ぼすのである。之等の理由の爲に且つ無稅で入る輸入油の割合(四〇%乃至五〇%)が非常に大である爲に、輸入税は國產油脂の一般平均價格の上に殆んど影響を及ぼしてゐない様に思はれる。

併し落花生油及大豆油の國內價格は課税せられるので輸入税により相當騰貴してゐる様に見える。

綿實油の國內價格は豚脂の價格或は他の植物油の價格よりも急騰し、一九二二—二四年間に著しい昇騰を示した。その間に歐羅巴の主要生産國たる英國に於ける綿實油の價格の騰貴は僅少に過ぎなかつた。種々の原因が外國價格に對する國內價格の關係を變化させるに與つて力があつた。南部諸洲に於ける綿及棉實の産額減少は根本的に重要な原因である。加ふるに合衆國が輸入する東洋産の油に課税した爲め、歐洲市場に於て東洋油の供給が増加し人造バター其他食料品製造用の綿實油に代へ東洋油を代用するの結果を招來した。生産並に貿易に於て斯かる變化があつた結果として歐洲向、アメリカ産綿實油の輸出は實際皆無となつた。



## 第一章 合衆國內の油脂状況

本章經濟的研究の目的は次に示す如くである。

- (一) 油脂の消費總額及其の消費總額中合衆國産資源よりの自給の範圍。
- (二) 大戦以前よりの二大油脂即ち植物油と獸油及魚油とに起つた最も重要な變化及之等油脂供給原料に起つた最も重大なる變化。
- (三) 課税油脂に比し、無税油脂の輸入に起つた變化。
- (四) 國內生産者の依頼する輸出市場の範圍。
- (五) 油脂及含油原料貿易の差額。

第百三十三表に示せる消費額は、その年末年始の持越品を勘定に入れず、生油+蠟+燭+燭+燭+燭である。國內生産は合衆國産原料からの生産に限られる。それ故合衆國で精製した外國産の粗製油はこの研究に於ては考慮しない。輸入額は輸入含油原料の油換算額及比律資よりの含油原料仕出額を含み輸出額は輸出油原料の油換算額を含むのである。

生産統計の重複を避ける爲に注意を粗製油に集中した。赤油、人造豚脂及グリセリンの如き誘導物を除去することに依つて、二重勘定を最小限度にまで減じたが併しかゝる誘導物はグリセリンを除き明らかに輸出入の數字中に

含めねばならぬ。

生産及び消費の表は一九二二年、一四年及一六年より二四年に至る數年に亘る。豚脂、バター及綿實油の如き二商品は別として、一九二二年以前或は一九一三年及一五年の生産數字の得られない油が多い。

表に掲げた數字は次の如き官廳の資料から取つたものである。

- Bailey and Reuter, The production and conservation of Fats and Oils in the United States (U. S. Department of Agriculture, Bulletin 769 and Supplement, Washington 1919)
- Tariff Information Surveys on Articles in Paragraphs 44 and 46 of the tariff act of 1913 (U. S. Tariff Commission, revised edition, Washington, 1921)
- Wrenn, J. E., World Trade in Vegetable Oils and Animal Fats. (U. S. Department of Commerce, Miscellaneous Series No. 128, Washington, 1923)
- Animal and Vegetable Fats and Oils, (Bureau of the census, quarterly reports, 1919—1924.)

### 第一節 生産と消費

#### 消費

第百三十三表は一九二二年、一四年及一六年より二四年に至る數年間の合衆國に於ける油脂の全消費額及植物油と獸脂及魚油との各々の割合を示す。尚ほ同表は大戦前の一箇年平均消費額と戦後の夫とを比較してゐる。

國內消費額は一九二四年に最大限に達し、動植物製油脂の使用量は七十億封度以上であつた。一九二二及二四兩



年の五十億封度に比し、一九二二乃至二四年の四年間の年平均消費額は六十億封度であつた。一九二二乃至二四年間にこの割合は大きい變化を來し、一九二四年に於いては三八%及六二%となつた。

第百三十三表 動植物油脂及魚油國內消費額比較 (單位千封度)

年	消費總額	植 物 油		獸 脂 及 魚 油	
		合 計	消費總額に對する割合%	合 計	消費總額に對する割合%
1912	4,884,949	2,027,693	41.5	2,857,256	58.5
14	5,442,491	2,321,445	42.7	3,121,046	57.4
1912,14平均	5,163,720	2,174,539	42.1	2,989,181	57.9
1916	5,761,481	2,399,117	41.6	3,362,364	58.4
17	5,626,331	2,486,798	44.2	3,140,533	55.8
18	6,385,535	2,948,473	46.1	3,442,062	53.9
19	5,756,607	2,488,714	43.2	3,267,893	56.8
20	5,819,420	2,363,577	40.6	3,455,843	59.4
21	5,574,253	1,960,214	35.5	3,614,039	63.5
22	6,055,882	2,175,863	35.9	3,880,019	64.1
23	6,937,707	2,617,154	37.7	4,320,552	62.3

24	7,234,651	2,914,064	40.3	4,320,587	59.7
1921-24年平均	6,400,623	2,416,924	37.8	3,983,799	62.2

第百三十四表は人口と油脂の消費額との關係を示す。

第百三十四表 油脂の一人當り消費額(合衆國)

年	總油脂	植 物 油	獸 脂 及 魚 油
1912	封度 51.4	封度 21.3	封度 30.1
14	55.6	23.7	31.9
1912,14平均	53.5	22.5	31.0
16	57.2	23.8	33.4
17	55.1	24.3	30.7
18	61.6	28.4	33.2
19	54.8	23.7	31.1
		1920	1921-24平均
		封度 54.7	封度 22.2
		49.8	18.2
		55.4	19.9
		62.7	23.6
		64.5	26.0
		58.2	22.0
		封度 32.3	封度 31.7
		35.5	39.0
		38.6	38.6
		36.2	

1. 油脂總額は他の二行の數字を別開に計算し、數字一位以下切捨たるを以て二行の數字を加へたる合計と一致せざることあり。

一九二二年より二四年に至る植物油の一人當り年平均消費額は約二三封度即ち事實一九二二年及一四年に於ける額と同様であつたことを示してゐる。同年間に於ける總ての油脂の一人當り消費額の著しい増加一五三・五封度より。



第一章 合衆國內の油脂状況

10

り五八・二封度に増加—は全部獸脂及魚油の消費額の増大に依るものである。  
 第百三十五表は合衆國使用主要油脂の總消費額及一人當り消費額を示す。

第百三十五表 主要油脂の消費總額及一人當り消費額(合衆國)

年	豚		脂		總		實		油		バター		脂		人造		バター		牛										
	計	一人當り	計	一人當り	計	一人當り	計	一人當り	計	一人當り	計	一人當り	計	一人當り	計	一人當り	計	一人當り	計	一人當り									
1912	1,000,000	11.5	1,081,589	11.4	1,334,182	14.0	92,047	1.0	173,958	1.8	1,387,171	14.0	121,551	1.2	217,359	2.2	1,191,000	12.2	1,589,485	16.2	1,367,171	14.0	196,799	1.1	195,658	2.0			
1912,14平均	1,140,500	11.8	1,335,537	13.8	1,350,676	14.0	106,799	1.1	175,580	1.8	1,278,130	12.3	175,580	1.8	206,173	2.6	1,448,000	14.4	1,820,814	18.1	1,320,814	13.1	1,335,537	11.8	206,173	2.6			
1916	1,448,000	14.4	1,320,814	13.1	1,270,251	12.5	175,580	1.8	206,173	2.6	1,288,986	12.4	208,352	2.6	201,315	2.6	1,219,000	11.9	1,232,846	12.1	1,288,986	12.1	1,270,251	12.5	175,580	1.8	206,173	2.6	
17	1,219,000	11.9	1,232,846	12.1	1,288,986	12.4	208,352	2.6	201,315	2.6	1,278,130	12.3	175,580	1.8	206,173	2.6	1,410,000	13.6	1,183,065	11.9	1,183,065	11.9	1,183,065	11.9	1,183,065	11.9	1,183,065	11.9	
18	1,410,000	13.6	1,183,065	11.4	1,278,130	12.3	175,580	1.8	206,173	2.6	1,294,464	12.0	175,580	1.8	206,173	2.6	1,346,000	12.8	1,304,410	12.8	1,346,000	12.8	1,346,000	12.8	1,346,000	12.8	1,346,000	12.8	
19	1,346,000	12.8	1,304,410	12.0	1,294,464	12.0	175,580	1.8	206,173	2.6	1,301,063	12.2	208,538	2.8	295,526	2.8	1,390,000	13.1	967,341	10.2	1,204,000	11.2	1,204,000	11.2	1,204,000	11.2	1,204,000	11.2	
20	1,390,000	13.1	967,341	9.1	1,301,063	12.2	208,538	2.8	295,526	2.8	1,430,122	13.3	208,538	2.8	356,214	3.3	1,204,000	11.2	1,025,415	9.5	1,204,000	11.2	1,204,000	11.2	1,204,000	11.2	1,204,000	11.2	
21	1,204,000	11.2	1,025,415	9.5	1,430,122	13.3	208,538	2.8	356,214	3.3	1,479,841	13.6	182,309	1.7	382,709	3.5	1,531,000	14.0	859,344	7.9	1,531,000	14.0	1,531,000	14.0	1,531,000	14.0	1,531,000	14.0	
22	1,531,000	14.0	859,344	7.9	1,479,841	13.6	182,309	1.7	382,709	3.5	1,563,690	14.1	222,042	2.0	413,214	3.7	1,795,000	16.2	924,170	8.4	1,563,690	14.1	1,563,690	14.1	1,563,690	14.1	1,563,690	14.1	
23	1,795,000	16.2	924,170	8.4	1,563,690	14.1	222,042	2.0	413,214	3.7	1,630,475	14.5	230,168	2.1	408,378	3.6	1,776,000	15.8	1,111,091	9.9	1,776,000	15.8	1,776,000	15.8	1,776,000	15.8	1,776,000	15.8	
24	1,776,000	15.8	1,111,091	9.9	1,630,475	14.5	230,168	2.1	408,378	3.6																			

1912—24平均	1,576,500	14.5	980,005	8.9	1,526,032	13.9	210,912	1.9	390,254	3.5
-----------	-----------	------	---------	-----	-----------	------	---------	-----	---------	-----

第百三十五表 主要油脂の消費總額及一人當り消費額(合衆國) (續)

年	ナ		油		椰子		油		落		花生		油		大豆		油		玉												
	計	一人當り	計	一人當り	計	一人當り	計	一人當り	計	一人當り	計	一人當り	計	一人當り	計	一人當り	計	一人當り	計	一人當り											
1912	25,594	0.3	83,883	0.9	8,274	0.1	12,551	0.1	24,784	0.3	49,362	0.5	1912,14平均	41,408	0.4	88,594	0.9	159,081	1.6	44,087	0.1	18,663	0.2	62,787	0.6	100,845	1.0				
14	57,223	0.6	98,526	1.0	8,274	0.1	12,551	0.1	24,784	0.3	49,362	0.5	1916	66,903	0.7	159,081	1.6	44,087	0.1	18,663	0.2	62,787	0.6	100,845	1.0	109,160	1.1	113,312	1.1		
17	109,160	1.1	378,906	3.7	77,758	0.8	260,949	2.6	113,312	1.1	110,395	1.1	18	78,760	0.8	613,266	5.9	164,326	1.6	335,439	3.2	110,395	1.1	110,395	1.1	110,395	1.1	110,395	1.1		
18	78,760	0.8	613,266	5.9	164,326	1.6	335,439	3.2	110,395	1.1	110,395	1.1	19	54,278	0.5	297,378	2.8	297,378	2.8	297,378	2.8	297,378	2.8	297,378	2.8	297,378	2.8	297,378	2.8	297,378	2.8
19	54,278	0.5	297,378	2.8	297,378	2.8	297,378	2.8	297,378	2.8	297,378	2.8	20	57,744	0.5	316,132	3.0	106,755	1.0	65,473	0.6	86,560	0.8	86,560	0.8	86,560	0.8	86,560	0.8	86,560	0.8
20	57,744	0.5	316,132	3.0	106,755	1.0	65,473	0.6	86,560	0.8	86,560	0.8	21	19,706	0.2	291,571	2.7	34,118	0.3	14,827	0.1	83,081	0.8	83,081	0.8	83,081	0.8	83,081	0.8	83,081	0.8
21	19,706	0.2	291,571	2.7	34,118	0.3	14,827	0.1	83,081	0.8	83,081	0.8	22	55,394	0.5	372,249	3.4	24,110	0.2	15,168	0.1	111,775	1.0	111,775	1.0	111,775	1.0	111,775	1.0	111,775	1.0
22	55,394	0.5	372,249	3.4	24,110	0.2	15,168	0.1	111,775	1.0	111,775	1.0	23	59,655	0.5	375,615	3.4	13,081	0.1	41,555	0.4	106,982	1.0	106,982	1.0	106,982	1.0	106,982	1.0	106,982	1.0
23	59,655	0.5	375,615	3.4	13,081	0.1	41,555	0.4	106,982	1.0	106,982	1.0	24	56,954	0.5	371,846	3.3	11,736	0.1	7,534	0.1	113,386	1.0	113,386	1.0	113,386	1.0	113,386	1.0	113,386	1.0
24	56,954	0.5	371,846	3.3	11,736	0.1	7,534	0.1	113,386	1.0	113,386	1.0	1921—24平均	47,927	0.4	352,820	3.2	20,774	0.2	19,771	0.2	103,806	0.9	103,806	0.9	103,806	0.9	103,806	0.9	103,806	0.9



消費に對する生産の割合

第三百三十六表は國內生産額の消費額に超過する額及外國産輸入總額の合衆國消費量を示す。

第三百三十六表 油脂の國內消費總額に對する生産額及輸入額の割合

年	消費總額	生産額		輸入額	
		計	消費に對する割合%	計	消費に對する割合%
1912	4,884,947	5,536,036	113.33	512,045	10.49
14	5,442,491	5,774,863	106.11	535,206	9.83
1912,14平均	5,163,720	5,655,480	109.52	523,926	10.15
1916	5,761,431	5,804,036	100.74	807,244	14.01
17	5,626,331	5,194,956	92.33	1,056,144	18.77
18	6,385,535	5,784,330	90.59	1,444,782	22.63
19	5,756,607	5,875,129	102.06	1,151,314	20.00
20	5,819,420	5,600,853	96.34	1,235,300	21.23
21	5,374,253	5,973,324	111.15	783,030	14.66
22	6,055,832	6,100,789	100.74	1,122,550	18.54
23	6,387,707	6,913,481	99.61	1,389,605	20.03
24	7,234,651	7,235,426	100.70	1,335,191	17.07
1921-24平均	6,400,623	6,567,505	102.61	1,133,344	17.71

生産額と消費總額との割合は輸入額の増加に依り影響されてゐるけれども、兩者間の割合が減少して行くことは國內生産額の増加が國內消費に充てられる傾向を示して居る。國內生産額は一九二二年より二四年に至る各年に於ける消費總額の一〇三%であるに比し、一九二二年及一四年のは一一〇%であつた。同期間に消費額に對する輸入額の割合は一〇%より殆んど一八%までに増加した。この増加は大部分植物油輸入額の増加に依るものである。戦前の二二%に比すれば、一九二二—二四年間に於ける植物油の輸入額は植物油消費總額の殆んど四四%を占めてゐる。獸脂及魚油の輸入額は、實際云ふに足らず前述の諸年間に於けるこの種の國內消費額の二%以下に當つてゐるに過ぎぬ。

第三百三十七表は國內消費に對する國內生産の割合が如何に變化したかを指數に依つて示す。一九二二及一四年の平均額を標準として用ひ他の各年の生産及消費はこれを基礎として算出したものである。植物油の生産額が消費額に比し著しく徑庭を生じたのは、主として綿の年産額の減少及その結果として綿實油生産額が約四億封度方減少したことに即ち戦前平均に比し、一八%方減少した爲であらう。合衆國に於ける消費綿實の大部分は、豚脂と直接競争の地位にある人造豚脂の製造に用ひられてゐる。一九二二—二四年間に於ける豚脂の平均年消費額は、一九二二及一四年に於けるより四億三千六百萬封度大であつた。而してこの數字は殆んど全く綿實油消費額の減少額と同じである。



第三百二十七表 生産及消費額の指数 (1912+14平均=100)

年	總生産	總消費	植物油生産	植物油消費	獸脂及魚油生産	獸脂及魚油消費	バター生産	バター消費	豚脂生産	豚脂消費	オリーブ脂生産	オリーブ脂消費
1912	96	95	97	98	98	96	99	99	100	91	91	62
14	102	105	103	107	102	104	101	101	100	104	109	138
1912,14平均	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
1916	103	112	91	110	109	112	96	94	117	127	115	162
17	92	109	80	114	99	105	94	94	96	107	109	264
18	102	1124	83	135	113	115	96	95	122	124	113	190
19	104	111	84	114	118	109	98	93	127	118	99	131
20	99	113	70	109	119	116	95	96	123	122	101	139
21	106	104	74	90	123	114	105	106	127	106	113	48
22	108	117	60	100	140	130	110	110	141	134	126	134
23	122	134	67	120	156	145	115	116	174	137	121	144
24	129	140	88	134	152	145	120	121	168	156	120	138
1921-24平均	116	124	72	111	141	133	112	113	133	138	120	116

第三百二十七表 生産及消費額の指数 (1912+14平均=100) (續)

年	生(食用及非食用)脂		綿	實	油	玉蜀黍	菜	落花生	生油	椰子	大豆	パルマ
	生産	消費										
1912	94	89	89	81	88	80	62	99	94	94	133	104
14	106	111	111	119	112	120	138	101	106	106	67	96
1912,14平均	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
1916	128	133	93	99	134	161	3,909	539	160	160	768	57
17	125	134	83	92	143	180	6,918	951	428	428	1,398	59
18	142	154	80	89	135	177	13,142	2,010	692	692	1,797	41
19	134	134	89	95	118	145	12,000	2,902	336	336	805	82
20	140	151	71	72	120	138	1,792	1,306	357	357	351	82
21	171	182	79	77	106	132	4,553	417	329	329	79	45
22	191	196	58	64	135	178	3,102	295	420	420	81	112
23	203	211	60	69	135	170	734	160	424	424	223	250
24	204	209	72	83	142	181	904	144	420	420	40	197
1921-24平均	193	199	67	73	130	165	2,324	234	393	393	106	151

第三百二十八表は(一)植物油、(二)獸脂及魚油の消費、生産及輸入額並に消費總額に對する、之等二種の生産額及輸入額の割合を示す。近年の獸脂及魚油の輸入額は戦前に比し實際少しの變化もしてゐない。併し國內生産額は戦前に於



ては國內消費額の二二〇%であつたが一九二二—二四年間には二二七%に増加してゐる。換言すれば殆んど十億封度を算するほどに消費額が増加したに拘はらず、國內生産高はそれ以上に増大してゐるのである、その結果として獸油及魚油の輸出貿易も亦大となつたのである。

獸脂及魚油と著しい對照をなしてゐる輸入植物油の消費額に對する割合は一九二二年及一四年から一九二二—二四年間までに實際二倍になつてゐる、即ち輸入額は戦前に於ては消費總額の二二%であつたが近年は四四%を占めてゐる。戦前に比べて近年に於ける植物油の國內生産額の斜線も亦獸脂及魚油のそれと明らかな對照をなしてゐる。一九二二年及一四年に於ける植物油國內生産額は植物油消費額の九五%であつたが一九二二—二四年間には平均僅かに六二%になつた。これは消費額が二億四千萬封度増加したのに生産高は五億萬封度減少したからである。

第百三十八表 植物油並に獸脂及魚油の消費生産及輸入額の割合(合衆國)

年	消費額	生産額		輸入額	
		計	消費に割合%	計	消費に割合%
1912	2,027,633	2,019,770	99.6%	466,762	23.0%
14	2,321,445	2,130,636	91.8%	488,325	21.0%
1912,14平均	2,174,539	2,075,188	95.4%	477,544	22.0%

植物油 (單位=千封度)

1916	2,399,111	1,984,135	78.5%	762,265	31.8%
17	2,486,798	1,668,258	67.1%	996,721	40.1%
18	2,943,473	1,729,927	58.8%	1,377,043	46.8%
19	2,488,714	1,735,365	69.7%	1,078,356	43.3%
20	2,363,577	1,448,340	61.3%	1,144,925	48.4%
21	1,960,214	1,540,410	78.0%	725,386	37.0%
22	2,175,863	1,246,592	57.3%	1,052,621	48.4%
23	2,617,154	1,889,834	58.1%	1,296,052	39.5%
24	2,914,064	1,830,232	62.8%	1,145,225	39.3%
1921—24平均	2,416,824	1,501,767	62.1%	1,054,821	43.6%

獸脂及魚油 (單位=千封度)

年	消費額	生産額		輸入額	
		計	消費に割合%	計	消費に割合%
1912	2,857,316	3,516,346	123%	45,883	1.61%
14	3,121,046	3,644,237	117%	46,331	1.50%
1912,14平均	2,989,181	3,580,292	120%	46,382	1.55%
1916	3,362,314	3,916,901	117%	44,379	1.33%

第一章 合衆國內の油脂状況



第一章 合衆國內の油脂状況

1917	3,140,326	3,526,708	112	59,423	1.89
18	3,442,062	4,054,603	118	67,739	1.97
19	3,267,393	4,139,764	127	72,958	2.23
20	3,455,343	4,152,513	120	90,375	2.62
21	3,414,039	4,432,914	130	62,644	1.83
22	3,880,019	4,854,197	125	69,929	1.80
23	4,320,552	5,520,647	128	93,552	2.17
24	4,320,587	5,455,194	126	89,366	2.08
1921,24平均	3,983,799	5,065,738	127	79,023	1.98

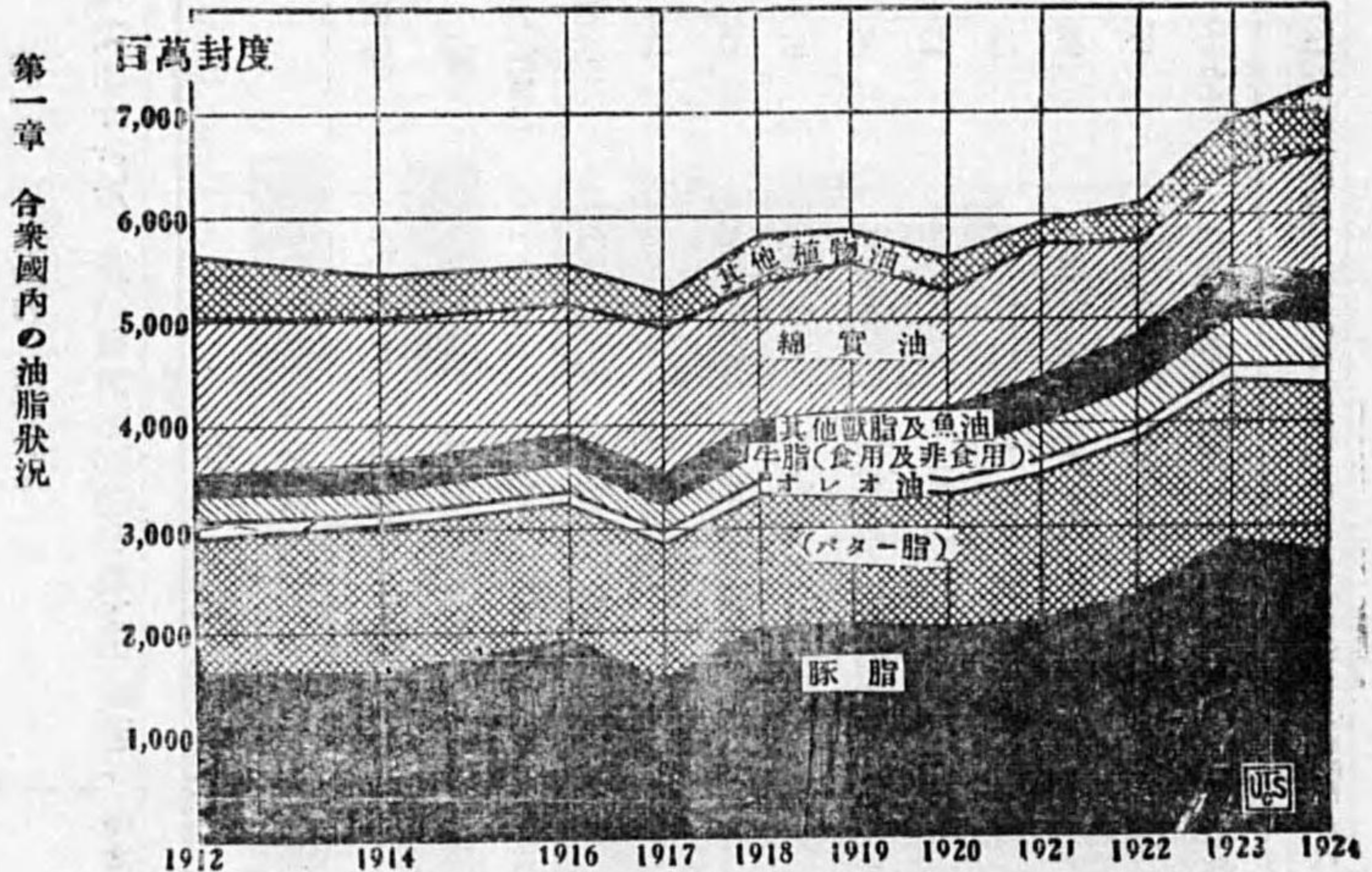
一八

第二節 油脂の國內生産額

概説

第百三十九表は國産原料製油脂數量の比較及戰前よりの累年生産額を示す。國內生産額を合算して考へると戰前に於て一年五十六億萬封度がざつと六十五億萬封度（一九二二—二四年間年平均）に増加してゐる。一人當りの生産額は五八・六封度から五九・七封度に昇つて居り、その増加は人口の増殖よりも幾分早くなつてゐる。人口は一九一八年以來引續き増加し一九二四年にその最頂點に達してゐる（第五圖参照）。

第五圖 國産原料製合衆國油脂生産額（第140及144表數字）



第一章 合衆國內の油脂状況

戰前以來一九二四年まで、合衆國植物油生産額は實際引續き減少してゐる。一九二四年に綿實油及亞麻仁油の生産は大いに増加し、その結果植物油生産總額は一九一六年以來の最高點に達した。それでも一九二二—二四年間の平均額は一九二二—二四年間の平均額より約五億五千萬封度（二六％）小である。最も優勢な油は植物油總額の七〇乃至七五％に當る綿實油である。南部諸州に於ける圓潮米象の虫害が主なる原因となつて綿及綿實の生産は減少し、その結果綿實油の生産額は十六億一千三百萬封度（一九二二—二四）から一億〇八千五百萬封度（一九二二—二四）まで減少した（第六圖参照）。

一九

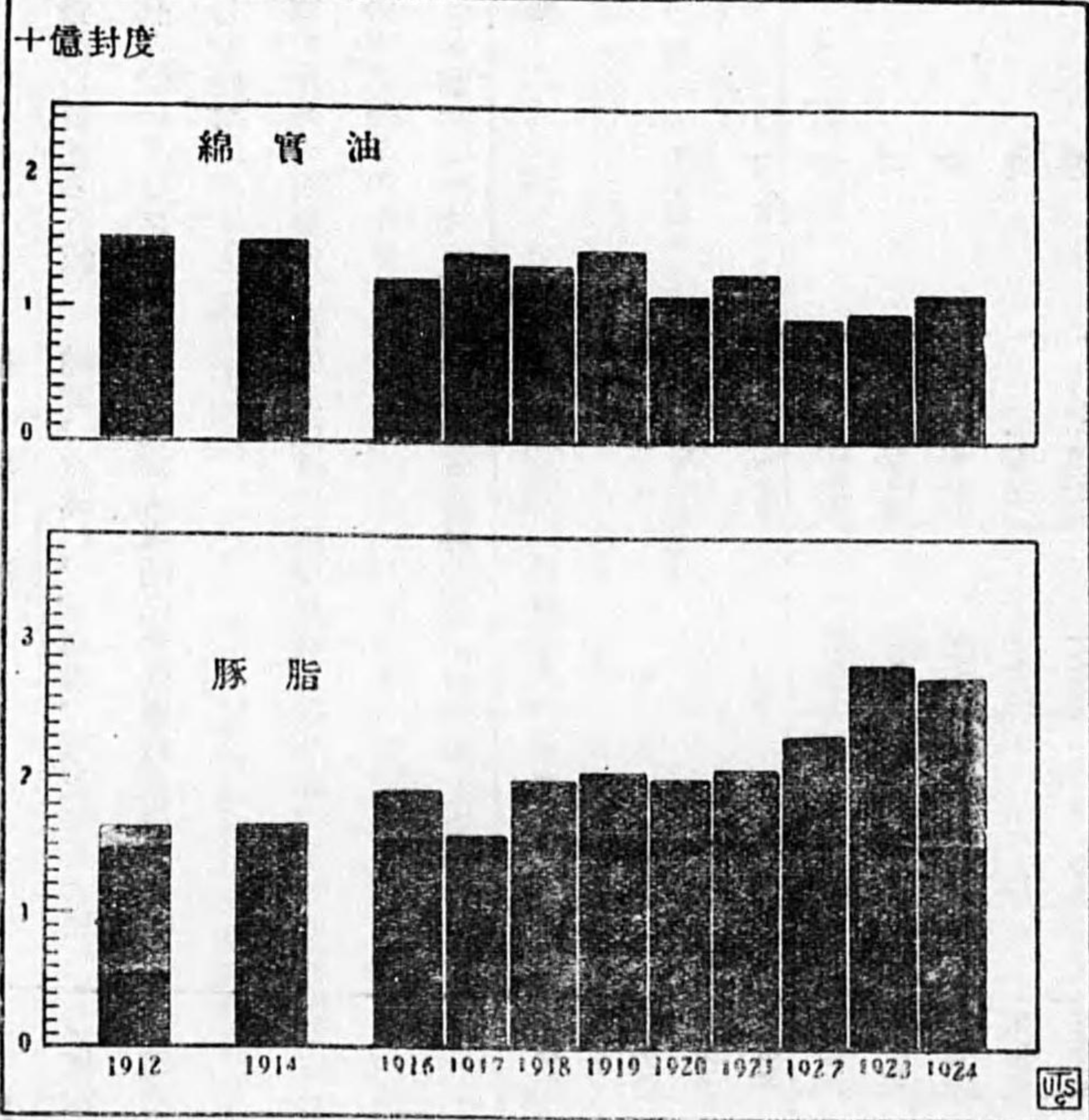


第百三十九表 國産原料製油脂の國內生産額 (單位千封度)

年	植 物 油		食 用 脂 肪 及 魚 油	總 油		合 計
	食 用	非 食 用		食 用	非 食 用	
1912	1,509,653	510,097	3,039,533	416,813	3,516,346	4,039,186
14	1,883,721	246,305	3,138,122	436,115	3,644,237	5,041,843
1912,14平均	1,696,687	378,501	3,128,828	451,464	3,580,292	4,825,515
1916	1,632,339	261,746	3,365,570	554,331	3,919,901	4,977,959
17	1,513,332	154,921	2,994,101	632,602	3,526,703	4,507,433
18	1,491,440	238,487	3,461,588	633,020	4,054,608	4,953,023
19	1,615,394	119,971	3,535,365	603,451	4,139,764	5,151,707
20	1,255,018	193,322	3,433,340	714,173	4,152,513	4,533,353
21	1,393,939	141,421	3,664,709	733,205	4,432,914	5,063,633
22	1,069,364	177,228	3,977,392	876,306	4,854,197	5,047,256
23	1,091,029	293,805	4,530,834	933,313	5,520,647	5,571,863
24	1,279,634	550,508	4,551,472	903,722	5,455,194	5,831,106
1912-24平均	1,209,734	292,013	4,133,727	872,011	5,065,738	5,403,481

1. 最低1919年の36,506千封度より最高1923年の52,923千封度まで平均43,426千封度の食用牛脂の生産額を此の内に含む。

第六圖 國産原料製豚脂及綿實油國內生産額 (第140及144表數字)



一般に本研究書全體を通じて一九二二年及一九一四年二年の平均を戦前状態を代表するものと見做した。之は一九一五年以前は右兩年以外の生産數字を缺く爲に餘儀なく斯くしたものである。綿實油の數字だけは得られたが、それに依れば一九二二年及一四年兩年の生産額は一九一〇—一四年五年間の平均額以上であつたことを示してゐる。若し一九一〇—一四年の數字(十三億一千九百五十五萬封度)を使用するならば戦前時代と現時との生産額の差異はこれより小さくなるであらう。



植 物 油

合衆國に於ける五穀——綿實、亞麻仁、玉蜀黍、落花生及大豆——を植物油生産の主要原料と認めてもよからう。亞麻仁を除いては之等の穀物は何れも専門に含油原料生産を目的として栽培されて居らず中にはこれを主要目的とさえして居ない。

亞麻仁以外の四種の子實の油生産に用ひられる部分は、本來は副産物としてゐる。第四百十表は國內原料製植物油の生産額を示す。

第四百十表 國産原料製植物油の國內生産額 (單位=千割慶)

年	綿實油 <sup>1</sup>	落花生油 <sup>1</sup>	オリーブ油	玉蜀黍油	亞麻仁油 <sup>2</sup>	大豆油	植物油總計
1912	1,435,401	454	966	72,832	510,097	—	2,019,750
14	1,789,777	1,006	1,128	91,810	246,905	—	2,130,626
1912,14平均	1,612,589	730	1,046	82,321	378,501	—	2,075,188
1916	1,492,430	28,534	1,452	109,963	251,746	—	1,884,135
17	1,343,849	50,499	963	118,021	154,921	—	1,668,233
18	1,283,823	95,934	618	111,065	233,487	—	1,729,927
19	1,429,948	87,607	439	97,400	119,971	—	1,735,365
20	1,142,671	13,085	643	98,619	193,222	—	1,448,340

21	1,277,300	33,234	974	87,481	141,421	—	1,540,410
22	934,627	22,644	585	111,508	176,477	751	1,246,592
23	973,753	5,359	574	111,343	297,401	1,404	1,389,834
24	1,154,434	6,631	1,504	117,065	549,648	950	1,830,232
1921,24平均	1,085,028	16,967	909	106,849	291,237	3,1035	1,501,767

1. 粗製油
2. 輸出貨を除去せる國産亞麻仁の油換算額
3. 1922—24年平均

綿實——合衆國に於ける綿實油製造業の發達の結果、曾て無用と思はれてゐた副産物の利用に成功するに至つたのである。一八六〇年以前には事實綿實は少しも油生産に用ひられなかつた。現在にては該産額の約七五%が、その方面に向けられてゐる。毎年油製造に向けられる綿實壓碎割合の變化並に綿實産額夫自體の變化は油の生産額に様々の變化を與へてゐる。一九一〇年以降壓碎割合の範圍は、一九二二年に於ける最小限七〇%から一九一七年に於ける最大限八七・六%までであつた。一九二二年及二四年の壓碎割合を合算すれば、兩年間の總産額の七三・四%であり、一九二〇—二四年間のは七五・三%であつた。第四百十一表は一八七五年より一九二四年に至る斯界の進歩を示して居る。

第四百十一表 綿實の利用



五箇年平均	綿		實		壓	碎	率
	生	産	額	額			
1875—1879		米噸	2,025,800	米噸	127,200		% 6.28
1880—1884			2,803,000		300,000		10.70
1885—1889			3,057,800		677,600		22.16
1890—1894			3,724,800		1,039,200		27.92
1895—1899			4,600,600		1,838,800		39.97
1900—1904			4,787,200		2,911,600		60.28
1905—1909			5,651,200		3,311,000		58.59
1910—1914			5,808,600		4,344,642		74.80
1915—1919			5,538,200		4,638,268		83.75
1920—1924			4,682,800		3,527,748		75.33

國勢調査局報告第五十三號94頁

亞麻仁——合衆國に於ては亞麻を、纖維を取る爲でなく殆んど全部亞麻仁油生産の爲に栽培する。種子として保存されるものを除き亞麻仁産額は結局全部亞麻仁油工場に運びこまれる。毎年生産額の増減は第四百四十二表に示す如くである。

第四百四十二表 合衆國亞麻仁生産額

曆	年	曆	年	曆	年	曆	年
1899,1902—04平均	24,992	1915—19平均	11,623	1922		10,375	
1905—09平均	25,082	1920	10,774	23		17,429	
1910—14平均	18,353	21	8,029	24		30,173	

1. 1900及1901年の原價数字未詳。

玉蜀黍——合衆國の玉蜀黍産額は年産約三十億ブッシェルと算せられるが、主としてこれを栽培する畠で食用畜類の肥體飼料に用ひられる。年作の約五或は六%ばかりの小分量が玉蜀黍澱粉、發芽止玉蜀黍粉及玉蜀黍水滲粉の製造に用ひられる。これ等の生産物の製造中に油を搾取し得る玉蜀黍の胚子を生産する。

大豆——合衆國にては、大豆を主に牧草及秣を得る爲に栽培する。一九二五年度該作物植付面積合計二百五十六萬六千エーカー中約七五%が主に乾草或は新鮮保藏法保藏物として「短剪」され或は刈取られた。植付面積六十一萬三千エーカーから、四億三千八百二十四封度の大豆が收穫されたが、その中約七百四十五萬封度の大豆即ち收穫高の一・七%が油に壓碎された。一九二二年には三億四千九百九十二封度收穫あり、その中六百萬封度が壓碎された。

第四百四十三表 國産大豆及落花生と其壓碎量との比較



年	大豆			花生		
	國內生産額 <sup>2)</sup>	噸	量 <sup>3)</sup>	國內生産額	噸	量 <sup>3)</sup>
1917	千封度 136,980	千封度 —	% —	千封度 1,482,581	千封度 —	% —
18	179,820	—	—	1,240,102	—	—
19	122,700	—	—	783,273	(4)	—
20	136,680	—	—	841,474	58,030	6.9
21	168,900	—	—	829,307	124,390	15.0
22	349,920	5,956	1.7	633,114	87,816	13.9
23	427,860	9,050	1.8	647,762	24,622	3.9
24	435,240	7,448	1.7	616,200	19,704	3.2

1. 1 アツシホルを60封度として換算なり。
2. 大豆作を主とする地域より。
3. 穀付落花生一封度に對し 壓碎落花生0.67封度の割合にて 壓碎落花生を穀付落花生の單位に換算せり。
4. 1919年に於ける四億三千萬封度の壓碎量(穀付落花生單位)は多く 東洋產落花生を含むを以つて 唯國產落花生を表す、それ以後の各年のものと比較するを得ず。

大豆作物の多量を油生産に用ひないのは大豆が秣及種子等の目的に向けた方が價值が大である結果である。即ち中西部諸州の農夫は、製油業者には賣れても撤粕及油の一般價格は高々一弗か一・五弗が最高價值段であるのに種子

商へは一ブツシエル二弗或は一・五弗で賣ることが出来るからである。それ故製油工場は季節末に農夫から「不出來の物」及種子商が新季節まで持越すのを欲せぬ古大豆を購買して維持して行つてゐる。

**落花生**——落花生は食料品業に賣る目的で南部地方にて栽培される。製油工場向落花生は清淨及脱殼業の副産物である擇残り落花生及屑物である。第百四十三表は過去四年間に於て落花生生産總額の三乃至十五%が油に壓碎されたことを示してゐる。食料品業者が、製油業者以上の値を落花生に支拂ふことが出來得る限り落花生生産の大部分を製油に用ゆる可能性が至つて少いと思はれる。一九二二—二三年間に於ける落花生の平均產地値段(農家貯藏品)は一封度に付五・五仙であつた。この値段で材料を購入し得る爲には製油業者は落花生油を一封度約二二仙に賣らねばならなかつたことになる。然るに粗製落花生油の市價はこの期間内に於ては一二仙から一五仙までであつた。(製油業者が原料代を支拂ひ尙且利益を得る價格を計算するにはある目安を伴ふことが必要である。合衆國の落花生油大製造業者の一人から得た原價數字を基準として作つた概算に依れば原料の六五%(重量)が撤粕として、二四%が油として賣れるといふ目安になる。又撤粕の賣價は一噸四五弗で壓碎落花生一噸に付き勞働監督及利益等の相當割當額は二〇弗である。

**獸脂及魚油**

**豚牛其他の脂肪**——大戰以前より引續き獸脂の生産は著しい増加を示し(第百四十四表参照)(註パターを除き獸脂の生産數字は農家の生産額を勘定に入れない。農家に於ける屠殺の最近の數字は一九一九年に於け。國勢調査から得たのであるが、それによれば鑑詰業者及地方屠殺業者に依り屠殺された數の三分の一に當り豚が農家で屠殺されたことになつてゐる。又地方的屠殺による豚肉及豚脂の約六分の五が農家で消費された。一九一九年に約百九十萬頭の肉牛及犢が農家



て屠殺された。その結果二億二千五百萬封度の牛肉及猪肉が販賣されるに至つた。この額は營業屠殺の三%乃至四%であつた。バターの農家生産數字は不満足のもので、特に一九一九年以前數年間のものに駄目である。第一四四表には一九二二年、一九一四年及一九一六—一八年間の農家に於けるバター生産額は同率の變化を假定して國勢調査年間（一九〇九—一三年）のが書込まれてある。特に豚の脂肪即ち豚脂（ラード）及豚軟脂（グリース）の増加は莫大である（第五及第六圖参照）。豚の屠殺年額は前年の玉蜀黍産額に密接な關係を持つてゐる。之は玉蜀黍が多量に豚の食料に用ひられたからである。一九〇九—一三年間に於ける玉蜀黍の平均年産額は二十七億萬ブッシェルであつた。一九一四年より二三年に至る七年間の産額はこの平均を越え、その中四ヶ年は三十億ブッシェルを突破したが一九二四年の作柄は二十四億三千七百萬ブッシェルである。玉蜀黍の價格は豚の價格及他の農産物の價格に比し比較的低廉であつた。その結果豚の繁殖飼育及屠殺が増加し、豚一頭當り油の産出率も多くなつた。

第百四十四表に示した牛の脂肪類の生産高の増加は恐らく實際よりも過大に見える。それは戦前に於ける生産高を過少に見積つた結果である。一九二二—一四年及一九二二—二四年間の屠殺牛肉重量の増加は僅か一七%に過ぎなかつた。之に反して同表に於ける牛の脂肪類の數字は七五%の増加を示してゐる。

獸脂生産額の正確な見積を爲すには第百四十四表に含まるる期間以上の長い期間を考慮する必要がある。豚及牛の生産高の増減は循環する、前者の週期は約五年後者は十二年である。農家に於ける豚の見積數は漸次増加し、一九一九年にその最大限（七千五百萬）に達した。同年以來減少の程度は徐々たるものであつたが恐らく之れは循環のその時以來漸次衰退して居る。

第百四十四表 國産材料製獸脂及魚油の國內生産高（單位=千封度）

年	バター脂	豚脂	オレオ油	魚油	牛脂 (食用及非食用)	其他脂及脂膏	獸脂及魚油計
1912	1,337,596	1,643,000	118,937	41,284	202,946	172,583	3,516,346
14	1,363,755	1,652,000	142,367	22,631	227,369	236,145	3,644,237
1912,14平均	<b>1,350,676</b>	<b>1,647,500</b>	<b>130,652</b>	<b>31,958</b>	<b>215,142</b>	<b>204,364</b>	<b>3,580,292</b>
1916	1,291,776	1,923,000	150,794	30,623	275,511	243,197	3,919,901
17	1,274,542	1,777,000	142,559	28,554	268,825	265,223	3,526,703
18	1,298,717	2,015,000	147,866	15,984	304,091	272,145	4,054,603
19	1,317,450	2,089,000	129,863	33,921	288,369	281,170	4,139,764
20	1,284,228	2,022,000	132,112	66,027	301,343	349,803	4,152,513
21	1,422,026	2,035,000	147,633	55,665	368,143	344,397	4,432,914
22	1,438,112	2,330,000	164,780	79,016	411,926	385,363	4,854,197



第一章 合衆国内の油脂状況

三〇

23	1,551,224	2,871,000	158,610	85,305	436,969	417,539	5,520,647
24	1,622,138	2,773,000	156,334	62,337	439,422	401,963	5,455,194
1921—24平均	1,519,625	2,517,250	156,852	70,581	414,115	387,316	5,065,738

1. 農家及工場のパター生産額合計の83%に當る農家バター生産額の見積り方法は二七頁の註参照。
2. 中性豚脂を含む。
3. 鯨油を含む。
4. 食用牛乳の生産量は1919年の36,506千封度、1923年の52,929封度之間に在り平均高は43,436封度なり。

魚油及鯨油——戦時拂底の間に於ける總ての油脂の價格の高貴なる爲に、小原料の利用が大いに起つて來た。九二—二四年間に魚油及鯨油の年生産額は戦前數字の二倍以上になつた(第百四十五表参照)。マンハーデン(鯨の一種)油はこの小原料製油脂中の最大種目であつた。水棲動物から取る油を一括すれば油脂の年生産總額の約一%に相當する。之等油の大多數は、非食用油に屬し、非食用油總額のその六%を占めてゐる。

第百四十五表 魚肉の國內生産額 (單位=千封度)

年	鱈油及肝油	鯊油	マンハーデン油	鯨油	鯨頭油	其他各油	合計
1912	372	1,388	33,009	931	4,033	1,001	41,234
14	394	1,512	16,265	632	2,495	1,333	22,631
1912,14平均	383	1,700	24,637	781	3,289	1,167	31,957

年	鱈油及肝油	鯊油	マンハーデン油	鯨油	鯨頭油	其他各油	合計
1916	367	1,476	20,598	1,631	4,560	1,931	30,623
17	439	1,437	18,640	1,133	3,567	3,078	28,554
18	712	774	12,370	431	743	954	15,984
19	968	1,431	12,828	8,712	650	8,332	33,921
20	1,471	2,853	27,573	23,052	3,126	7,952	66,027
21	374	2,129	46,954	2,658	1,265	2,285	55,665
22	536	6,594	33,270	13,973	2,881	1,762	79,016
23	702	14,338	55,960	10,098	1,579	2,622	85,305
24	887	23,256	27,353	8,464	825	1,552	62,337
1921—24平均	626	11,579	45,884	8,798	1,638	2,055	70,580

食用油及非食用油類

第百三十九表には、國産油脂を食用及非食用類とに分類してゐる。國內生産油の三大品目たる豚脂バター脂及綿實油が食用油類に入る爲め食用油類は量的には絶對優勢である。國産原料製植物油總額の略五分の四及獸脂總額の半量以上は食用油類に入る(非食用油類の中には、比較的少量)。

戦前以來非食用油類は四〇%増加したが、食用油類は僅かに一五%を増加したに過ぎぬ。最も多く増加したのは牛脂及其他の獸脂油類である様に見えるが、併しこの増加は一部は戦前に於ける見積り過少の結果であると思はれ



る。

乾燥性油及非乾燥性油

三つの國産油即ち亞麻仁油、マンハーデン油及大豆油はペイント及ワニスの製造其他主として乾燥性油及半乾燥性油を要する目的に用ひられる。一九二一—二四年間に於ける之等の油の生産高合計は四億五千萬封度、即ち總ての油脂生産高の約七%であつた。大豆油及マンハーデン油は安價で買得るときは石鹼製造に使用されてゐる。

第三節 合衆國の正味輸入額

(油脂及含油原料の普通輸入額より再輸出額を除去した額)

油脂の合衆國內正味輸入額は、今日十一億萬封度に達してゐるが、殆んど全部(九三%)が植物油原料である(第百四十六表参照)。植物油輸入額の増加は戦前から顯著なものであり、一九二一—二四年間の總ての油脂の平均額は一九一〇—一四年間の数字を越ゆること六億六千三百萬封度即ち一四〇%の増加であつた。椰子油及コブラ並に亞麻仁油及亞麻仁は主要品目で之等を合算すれば總輸入額の三分の二を占むるのである。戦前には之等は合計の僅か五〇%に相當するに過ぎなかつた。輸入植物油中に於ける椰子油及亞麻仁油の重要なことは、輸入額の全増加額の中五億〇二百萬封度即ち七六%が、之等の油及それ等の原料の増加に依り生じたといふ事實に依り明らかである。植物油の總輸入額は戦時に大膨脹を示した。即ち一九一八年に十三億七千七百萬封度を算し最高レコードに達した。併し各種の油の輸入額に及ぼした影響は非常に區々たるものであつた。オリーブ油の輸入は伊太利政府の輸出

制限が主たる原因となり實際止んで了つた。併し落花生油、大豆油及椰子油の數量は大増加を來した(第七及八圖参照)。之等の油の従前の歐羅巴市場は戦亂の爲め運搬が困難であつたが、大平洋を越えて亞米利加に來る輸送は比較的安易であつた。加ふるに戦時工業の需要特にニトログリセリン工業の需要は、合衆國に於ける油の異常なる強氣相場を創始した。

第百四十六表 油脂の正味輸入額(輸入原料の油換算額を含む) (單位=千封度)

年	椰子油及 ココナツ 油	落花生油	大豆油	オリーブ油 (食用)	オリーブ油 (非食用)	パーム油	亞麻仁油 及亞麻仁	其他植物 油及含油 原料	植物油及 原料合計	魚 油類	總 計
1910	66,478	—	—	58,479	6,149	27,234	170,639	76,471	442,412	26,395	468,807
11	76,262	—	—	31,028	3,611	45,567	139,629	56,902	352,999	19,320	372,319
12	83,663	7,620	24,784	43,408	21,498	52,658	147,934	87,197	456,762	45,883	512,645
13	90,125	11,236	14,185	38,788	14,677	54,025	124,041	80,435	427,332	35,645	463,177
14	98,526	7,263	12,551	50,806	18,643	48,939	176,957	79,615	488,325	43,881	532,206
1910—14平均	82,411	8,715	17,173	39,498	12,914	57,689	151,338	75,724	435,006	34,825	470,431
1915	127,444	6,159	21,230	47,665	15,636	34,296	273,809	54,235	580,544	41,733	622,297
16	159,081	15,703	143,347	55,043	20,508	29,214	245,206	94,463	762,365	44,879	807,244
17	378,906	27,259	230,949	50,519	12,778	30,227	173,978	60,005	996,721	59,423	1,056,144
18	613,266	68,392	335,439	1,128	161	20,993	242,383	95,281	1,377,043	67,739	1,444,782



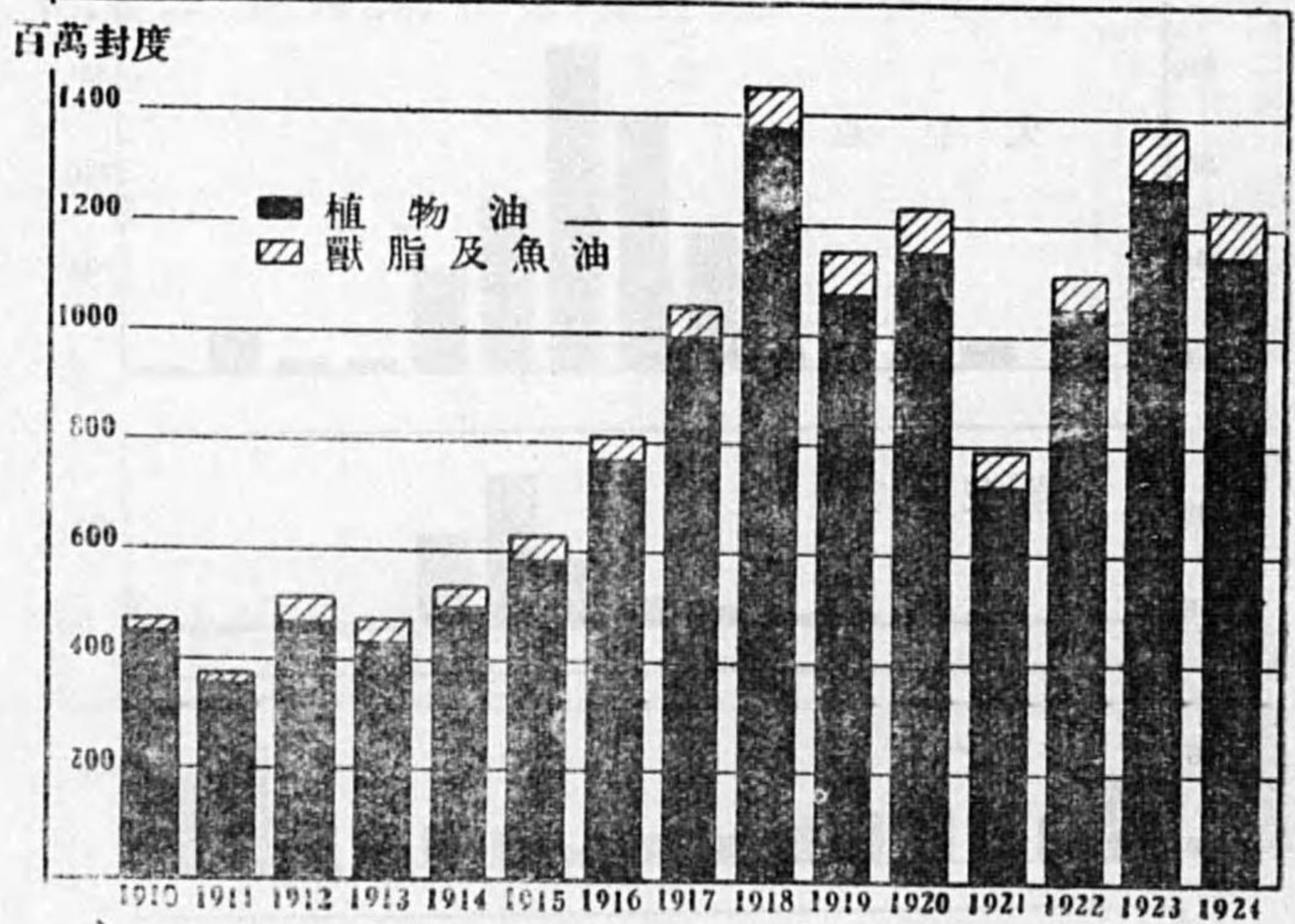
1919	297,378	153,960	178,975	67,195	8,659	41,563	278,098	53,428	1,078,356	72,958	1,151,314
20	316,132	95,095	108,985	30,144	9,124	41,812	495,169	48,464	1,144,925	90,375	1,235,300
21	291,571	2,592	16,771	49,514	20,139	22,770	290,179	31,850	725,386	62,644	788,030
22	372,249	2,429	16,873	61,120	26,937	56,736	422,515	93,700	1,052,621	69,929	1,122,550
23	376,615	7,925	41,507	77,120	40,605	126,800	497,299	129,181	1,203,052	93,553	1,389,605
24	371,346	5,194	8,348	76,074	31,918	100,133	322,906	228,306	1,145,225	89,966	1,235,191
1921-24平均	352,820	4,535	21,000	65,957	29,900	76,625	383,225	120,759	1,054,821	79,023	1,133,844

1. オリーブ油沈澱を含む。
2. 三年間平均。

東洋産油の輸入は一九一七—一九九一年間にその最高額に達した。一九二〇年に於ては減度の甚大であつた亞麻仁油を除き實際總ての油脂の価格は暴落した。従つて輸入額も之に相當する減少を示した。次いで一九二二年には輸入額も價格も共に更に低下し、落花生及大豆油の輸入額も亦一部は一九二二年五月の緊急關稅法による課稅の結果として減退した。

・パルム油及食用オリーブ油は無稅であるが、その輸入額は、一九二〇年以來漸次増加し、今日では戦前の平均額を遙かに凌駕してゐる。

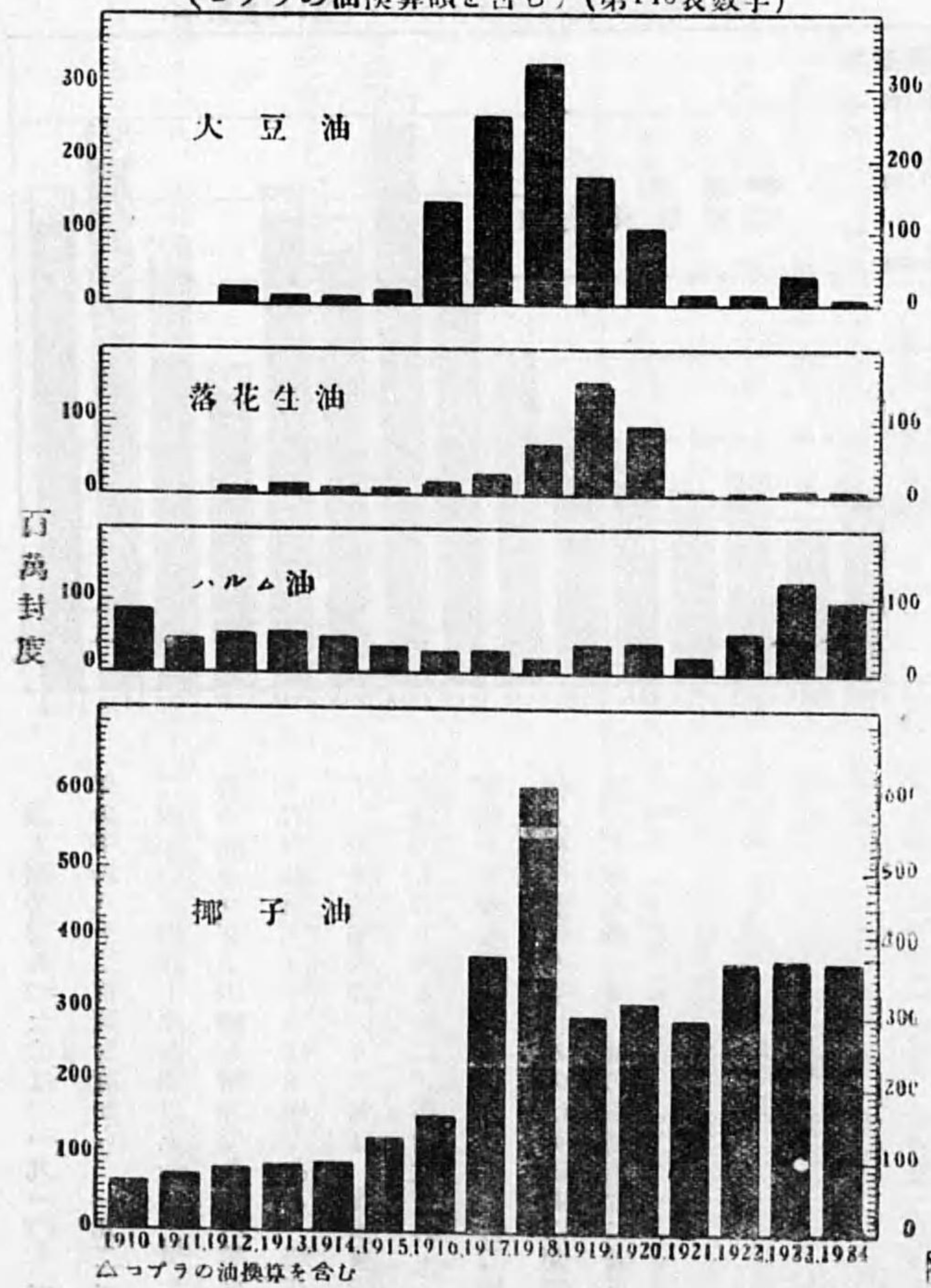
第七圖 植物油及魚獸油脂合衆國正味輸入額  
(輸入原料の油換算額を含む)(第146表數字)



最も顯著であつたのは、一九一〇—一九二四年の平均八千二百萬封度から、一九二二—二四年の三億五千萬封度以上迄激増した椰子油及コブラの輸入増加である(第四百十六表参照)。コブラは無稅である。現在に於て、椰子油輸入額の九六%は、比律賓諸島發送のものである故に之亦無稅である(第四百十七表参照)。それ故一封度に付二仙の輸入税の影響を受けるのは英領並に蘭領印度から來る極少量の油の價格丈けに過ぎない。



第八圖 大豆、落花生、ハルム及椰子油正味輸入額  
(コブラの油換算額を含む) (第146表数字)



第四百四十七表 仕出國別椰子油輸入額 (単位=千封度)

年	比	律	資	各	國	比	律	資	仕	出	比	率
自	比	律	資	各	國	比	律	資	仕	出	比	率
度	率	率	額	資	別	率	率	額	出	率	率	%
1910	—	—	—	—	48,346	—	—	—	—	—	—	—
11	—	—	—	—	51,118	—	—	—	—	—	—	—
12	—	—	—	—	46,371	—	—	—	—	—	—	—
13	—	—	1,384	—	50,504	—	—	—	—	—	—	2.7
14	—	—	19,057	—	74,386	—	—	—	—	—	—	25.6
1910—14平均	—	—	—	—	54,145	—	—	—	—	—	—	—
1915	—	—	39,972	—	63,135	—	—	—	—	—	—	50.6
16	—	—	30,074	—	66,008	—	—	—	—	—	—	45.6
17	—	—	44,254	—	79,223	—	—	—	—	—	—	55.9
18	—	—	245,402	—	336,039	—	—	—	—	—	—	68.9
19	—	—	201,311	—	281,063	—	—	—	—	—	—	71.5
20	—	—	153,181	—	216,327	—	—	—	—	—	—	70.8
21	—	—	163,966	—	189,717	—	—	—	—	—	—	86.4
22	—	—	224,153	—	227,320	—	—	—	—	—	—	98.6
23	—	—	180,700	—	181,882	—	—	—	—	—	—	99.3



24	222,665	222,793	99.9
1921—24平均	197,871	205,428	96.3

含油原料の輸入額

第百四十八表には、油原料の輸入額及これが油換算額を示すが、その内亞麻仁及コブラが主なるものである。原料の輸入額は、油の輸入額に比し速やかに増加して居り、一九二二及一四年兩年の加算輸入額の三七%並に一九二一—二四年の四三%であつた。

第百四十八表 主要含油原料正味輸入額 (単位=千封度)

年	亞 麻 仁		コ ブ ラ		船 入 額		實 質		油に換算せし 輸入原料合計
	輸 入 額	油換算額 <sup>3</sup>	輸 入 額	油換算額 <sup>3</sup>	輸 入 額 <sup>4</sup>	油換算額 <sup>4</sup>	輸 入 額 <sup>5</sup>	油換算額 <sup>5</sup>	
1910	512,752	170,746	26,550	15,990	—	—	—	—	186,736
11	417,606	139,063	46,960	28,176	—	—	—	—	167,339
12	437,528	145,697	62,168	37,301	—	—	—	—	182,998
13	352,633	117,427	30,318	18,191	—	—	—	—	135,518
14	516,479	171,988	60,033	36,020	—	—	—	—	208,008
1910—14平均	447,400	148,984	45,226	27,136	—	—	—	—	176,120
1915	822,727	273,968	108,294	64,976	16,411	—	—	—	341,406

1916	733,397	244,221	153,634	95,210	27,638	4,146	333,577
17	525,790	175,088	362,741	217,645	52,362	7,854	400,587
18	725,142	241,472	430,174	253,104	35,206	5,281	504,857
19	785,097	261,437	233,136	142,882	65,134	9,770	414,039
20	1,379,024	459,215	214,177	123,506	71,327	10,699	598,420
21	630,250	229,853	186,591	111,955	79,772	11,966	353,774
22	835,005	278,057	267,332	160,699	57,772	8,666	447,422
23	1,362,610	453,749	329,895	197,987	66,178	9,927	661,613
24	928,977	309,659	282,979	169,737	91,785	13,768	493,214
1921—24合計	954,211	317,830	266,826	160,094	73,877	11,032	489,006

1. 正味輸入額=普通輸入額—輸出額—再輸出額
2. 亞麻仁中の含油量33.3%を基礎とす。
3. コブラ含油量50%を基礎とす。
4. 普通輸入額なき爲消費向輸入額に依り計算せり。
5. 綿實含油量を基礎とす。
6. 會計年度。
7. 輸出額は別々に表記されず数字は油料子實の数字なり。

乾燥性油の輸入額



主なる乾燥性油（亞麻仁、支那胡桃及荏胡麻）は特殊の類目を構成し、石鹼及食用品業には入らないのである。之等の油の輸入額は第四百十九表に於て總ての植物油の輸入額と比較した。該表に依れば一九一〇年以來乾燥性油の輸入額は一九一三年の一億六千六百萬封度から一九二三年の五億八千九百萬封度迄の間を變化してゐる。輸入總額に對する乾燥性油の百分比は一九一八年の二〇・七から一九二一及二五兩年の五三・〇までの間を往來した。

戰時中及一九一九年に於ける乾燥性油の輸入額は常になく僅少であつたと同時に、食用向及石鹼向の油の輸入額は大増加を示した。従つて乾燥油は輸入總額中に大なる影響を及ぼさなかつた。一九二一—二四年に於ける輸入總額に對する乾燥性油の百分比は戰前即ち一九一〇—一四年間に於けるもの依り稍少であつた。

第四百十九表 植物油正味輸入總額及乾燥性油正味輸入額の比較（單位＝千封度）

年	乾燥性油總額	植物油輸入總額	植物油輸入總額に對する乾燥性油の百分比
1910	230,287	442,412	52.1
11	187,032	352,762	53.0
12	190,641	466,762	40.8
13	166,446	427,532	38.9
14	207,105	488,325	42.4
1910—14平均	196,302	435,606	45.1

1915	307,755	580,544	53.0
16	302,789	762,365	39.7
17	217,366	996,721	21.8
18	285,011	1,377,048	20.7
19	334,199	1,078,356	31.0
20	567,829	1,144,925	49.6
21	317,360	725,386	43.7
22	501,230	1,052,621	47.6
23	589,569	1,296,052	45.5
24	405,297	1,145,225	35.4
1921—24平均	453,339	1,051,821	43.0

無稅油及有稅油の輸入額

第百五十、百五十一及百五十二表は主なる植物油及油脂原料（小麻子油（Hemp seed）正味の麻油及巴豆油の如き二三の小種は目に相九%當す）を「無稅」及「有稅」に分類したものである。落花生油は一九二二年には無稅油類中に含まれてゐるが、以後は有稅を油類中に含まれてゐる。大豆油は一九二一年五月二十七日迄無稅油類中に在つた。之等を除外例として其他の植物油は一貫して同一類中に含まれて居る。



該表に依れば一九一三年の關稅法の下にて、有稅油及原料の分量は總輸入額中の二五・四%から五三・九%迄であつたのである。一九二二年以來有稅油の輸入額は三億七千六百萬封度から四億六千萬封度に増加し無稅油の輸入額は三億六千八百萬封度から六億一千四百萬封度迄増加してゐる。兩類目の總輸入額は一九二一年に七億四千四百萬封度及一九二四年に十億七千三百萬封度であつた。一九二二年總輸入額の五〇%は有稅油類に當り、一九二四年に於ては之が四五%であつた。

有稅油類は現今では主として乾燥性油即ち亞麻仁油及亞麻仁(一九二一—二四年間に於ては七五%)である。一方無稅油類は殆んど全部石鹼の製造或は食料品製造向の油である。支那胡桃油の輸入額は主要乾燥性油中唯一の無稅品であるが、これは無稅品輸入總額中の一〇%乃至一五%に當る。

第五十表 植物油(無稅及有稅)普通輸入額 (單位=千封度)

年 度	有稅及無稅合計	無稅合計	無稅%	有稅合計	有稅%
1912	482,963	261,339	54.1	221,614	45.9
14	489,008	225,582	46.1	263,426	53.9
16	772,374	416,841	54.0	355,533	46.0
17	1,019,902	736,166	72.2	283,736	27.8
18	1,368,981	1,021,974	74.6	346,957	25.4

19	1,271,592	741,101	58.3	530,491	41.7
20	1,238,755	582,163	47.0	656,592	53.0
1921年1月1日—5月27日	237,697	134,590	56.6	103,107	43.4
5月28日—12月31日	506,533	233,619	46.1	272,914	53.9
21 年 合 計	744,230	368,209	49.5	376,021	50.5
1922年1月1日—9月21日	788,014	360,089	45.7	428,015	54.3
9月22日—12月31日	265,018	148,045	55.9	116,972	44.1
22 年 合 計	1,053,122	508,135	48.3	544,987	51.7
1923	1,299,776	636,877	49.0	662,899	51.0
24	1,073,109	613,955	57.2	459,154	42.8

第五十一表 主要無稅植物油普通輸入額 (單位=千封度)

年 度	椰子油	コアラ油換算額	パルム油	支那胡桃油	大豆油 <sup>2</sup>	ソリソ油 <sup>3</sup> (非食用)	パルム油	パルム油換算額 <sup>4</sup>	合計
1912	46,719	37,300	52,770	42,787	24,958	21,493	27,681	—	261,339
14	58,012	36,043	49,092	30,136	12,554	18,654	21,089	—	225,582
16	64,349	95,262	29,270	57,649	145,409	20,579	4,323	—	416,841
17	163,091	220,020	34,257	41,090	264,925	12,783	—	—	736,166



第一章 合衆国内の油脂状況

四四

年	1918	19	20	1921年1月1日—5月27日	5月28日—12月31日	21年 合計	1922年1月1日—9月21日	9月22日—12月31日	22年 合計	1923	24	合計
1	356,088	278,389	29,993	42,718	325,984	161	34	6	7,607	1,021,974		
2	281,063	155,349	41,817	59,352	195,908	8,659	1,929	2,524	741,101			
3	216,327	126,112	41,948	67,962	112,613	9,160	1,693	3,748	582,163			
4	77,612	38,331	8,523	5,273	8,916	823	760	22	134,590			
5	111,082	80,212	14,832	21,976	—	4,888	822	7	233,619			
6	188,694	113,593	23,155	27,249	8,916	5,711	1,582	29	368,209			
7	146,084	106,931	37,178	60,129	—	7,939	1,715	63	360,089			
8	61,981	36,858	20,338	21,065	—	7,806	—	—	148,016			
9	208,065	143,837	57,516	81,194	—	15,745	1,715	63	508,135			
10	180,700	199,785	128,495	87,292	—	40,605	—	—	636,877			
11	222,665	171,256	101,780	31,588	—	31,918	4,748	—	613,955			

1. 60%
2. 1921年5月28日以降の有税油を含む。
3. 「變質物」及「沈渣」を含む。
4. 45%
5. 1921年度落花生を含む。
6. 後半期。

本統計は1912—1920, は Bulletin No. 122, Misc. Series, U. S. Department of Commerce; 1921—1924 は Foreign Commerce and Navigation and Monthly Summaries, による。

第五百五十二表 主要有税植物油普通輸入額 (單位=千封度)

年	1912	14	16	17	18	19	20	1921年1月1日—5月27日	5月28日—12月31日	21年 合計	1922年1月1日—9月21日	9月22日—12月31日	22年 合計	1923	24	合計
1	146,220	172,602	244,496	175,360	242,190	262,009	459,963	83,088	147,007	230,090	202,140	76,228	278,378	454,203	309,659	459,145
2	2,133	4,350	710	633	195	6,142	35,200	1,355	59,505	60,870	145,236	3,586	148,822	43,096	13,247	221,614
3	43,459	50,857	55,434	51,054	1,283	67,681	30,591	12,394	37,856	50,250	44,149	17,649	61,798	77,130	76,186	263,426
4	—	7,365	15,673	27,404	68,486	154,052	95,124	1,174	9,598	10,772	1,867	6,339	8,206	8,009	15,835	355,533
5	19,536	17,081	19,040	19,154	11,744	22,232	22,801	2,354	12,972	14,626	23,373	9,295	32,668	35,416	33,991	283,736
6	10,266	11,171	20,180	10,131	23,079	8,376	12,907	2,737	4,596	7,333	8,075	3,061	11,136	2,124	1,423	346,957
7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1,022	2,567	604	3,171	1,182	128	530,491
8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1,022	2,567	604	3,171	1,182	128	556,592
9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	103,107	—	—	—	—	—	103,107
10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	272,914	—	—	—	—	—	272,914
11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	376,021	—	—	—	—	—	376,021
12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	428,015	—	—	—	—	—	428,015
13	—	—	—	—	—	—	—	—	—	116,972	—	—	—	—	—	116,972
14	—	—	—	—	—	—	—	—	—	544,987	—	—	—	—	—	544,987
15	—	—	—	—	—	—	—	—	—	662,899	—	—	—	—	—	662,899



1. 33.3%
2. 1912年無税
3. 40%
4. 1921年5月28日以後は大豆油を含む。

#### 第四節 國産品輸出額

第百五十三表は油脂の國産品輸出額の變化を示し、第百五十五表は國內生産額に對する之等輸出額の關係を示してゐる。戦前に於ける總ての油脂の國內生産額の百分比率より僅かに多い約二〇%のものが一九二一—二四年間に輸出販賣された。獸脂の輸出額は、輸出額そのもの量に於ても、國內生産額に對する割合に於ても顯著な増加を示してゐる。一方植物油の輸出額は大減退を來してゐる。之等の變化を説明する鍵は綿實油及豚脂の輸出額の對照的傾向の中に發見することが出来る(第十圖参照)。一九二二—二四年間には一億〇六百萬封度即約一〇%が輸出された。その間に豚脂輸出額は、國內豚脂生産高の三一%から三七%に増加した。綿實油輸出減少の原因は後に九六頁に論述する。第百五十六表は一九一〇—二四年間の各年の合衆國石鹼輸出額を示す。

一九二一年に、一九二二年の關稅法が計畫されてゐた時に、既に石鹼製造用油の輸入品に課税をすれば製造原價の騰貴を來し、石鹼輸出額の減少を惹起するであらうといふことが、上院財政委員會會議にて大いに論せられた。

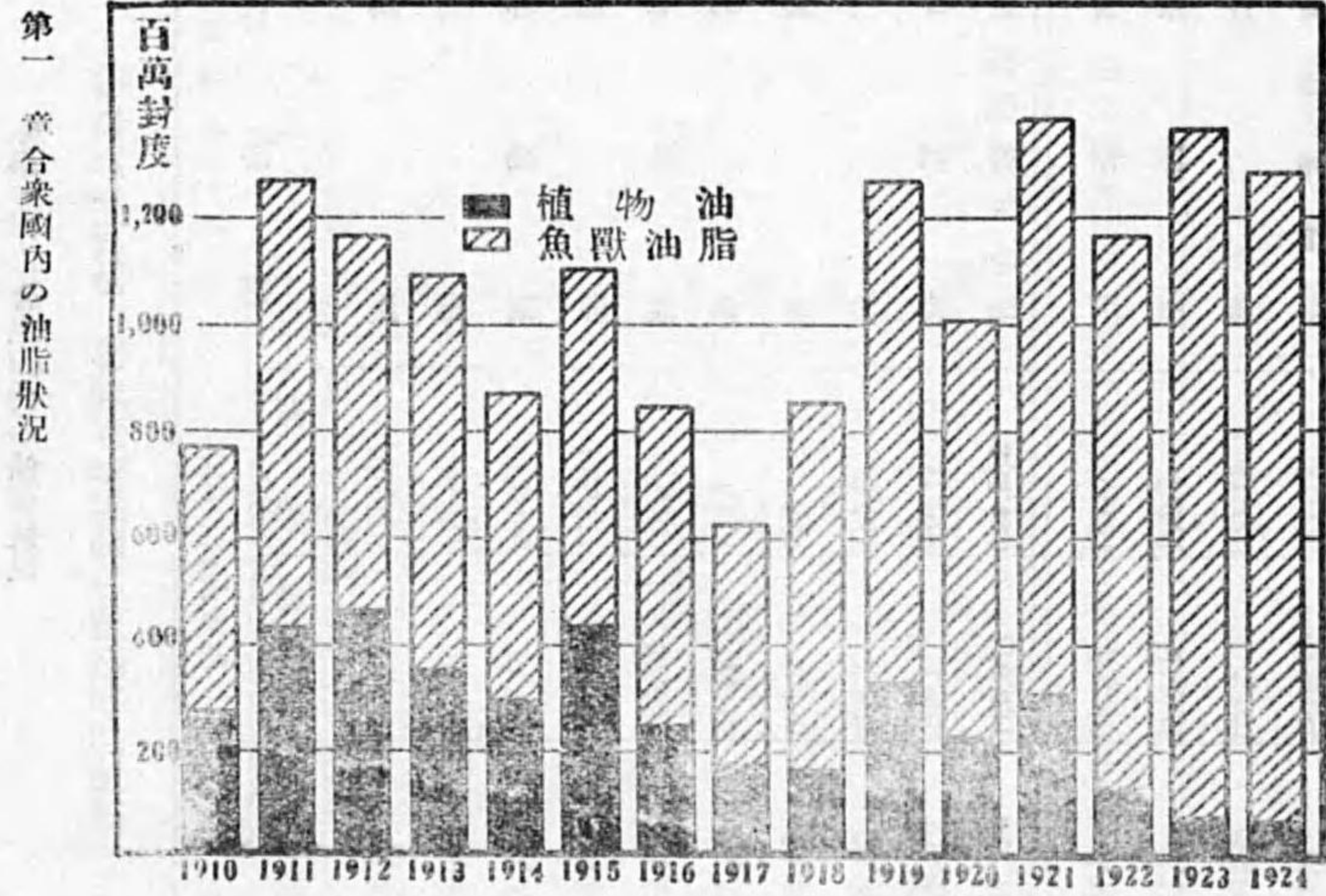
一九一〇—一四年間即ち戦前時代に於ける石鹼の平均年輸出額は四百三十五萬五千弗であつた。大戦中一九一九年に内國品輸出額は二千一百三十萬一千弗迄増加したが、一九二一—二四年間には、それは年平均八百七十四萬八千弗即ち戦前平均の約二倍にまで衰退した。

第百五十三表 國産原料製國産油脂輸出高及輸出合油原料油換算量 (單位=「封度」)

年	綿實油 <sup>1</sup>	人造豚脂 <sup>2</sup>	玉蜀黍油	植物油計	豚 <sup>3</sup>	ヤレオ油	牛 <sup>4</sup>	其他獸脂及魚油	獸脂及魚油合計	油脂輸出總計
1910	179,584	71,903	14,170	265,747	368,831	115,161	16,262	6,232	506,436	772,233
11	323,436	69,434	28,652	426,552	674,977	163,327	45,659	25,757	839,720	1,266,272
12	362,285	73,724	22,870	458,879	552,643	91,345	28,988	23,932	704,913	1,163,792
13	263,504	63,699	17,788	349,991	575,501	100,747	28,234	27,830	732,312	1,082,303
14	217,953	63,355	16,198	297,506	459,812	85,144	9,980	15,136	570,072	867,578
1910—14平均	271,358	68,441	19,936	359,735	512,354	111,745	25,825	20,777	670,701	1,030,436
1915	352,748	63,869	16,870	433,487	486,675	109,185	26,568	46,699	669,127	1,102,614
16	188,443	49,822	9,118	247,383	453,925	83,391	13,338	49,312	602,466	849,849
17	124,860	49,300	4,709	178,869	382,144	33,339	7,510	32,847	445,900	624,769
18	119,351	43,976	170	163,497	555,125	69,106	4,222	51,327	680,280	843,777
19	193,631	124,962	6,414	325,007	783,858	75,285	38,953	46,433	944,329	1,269,836

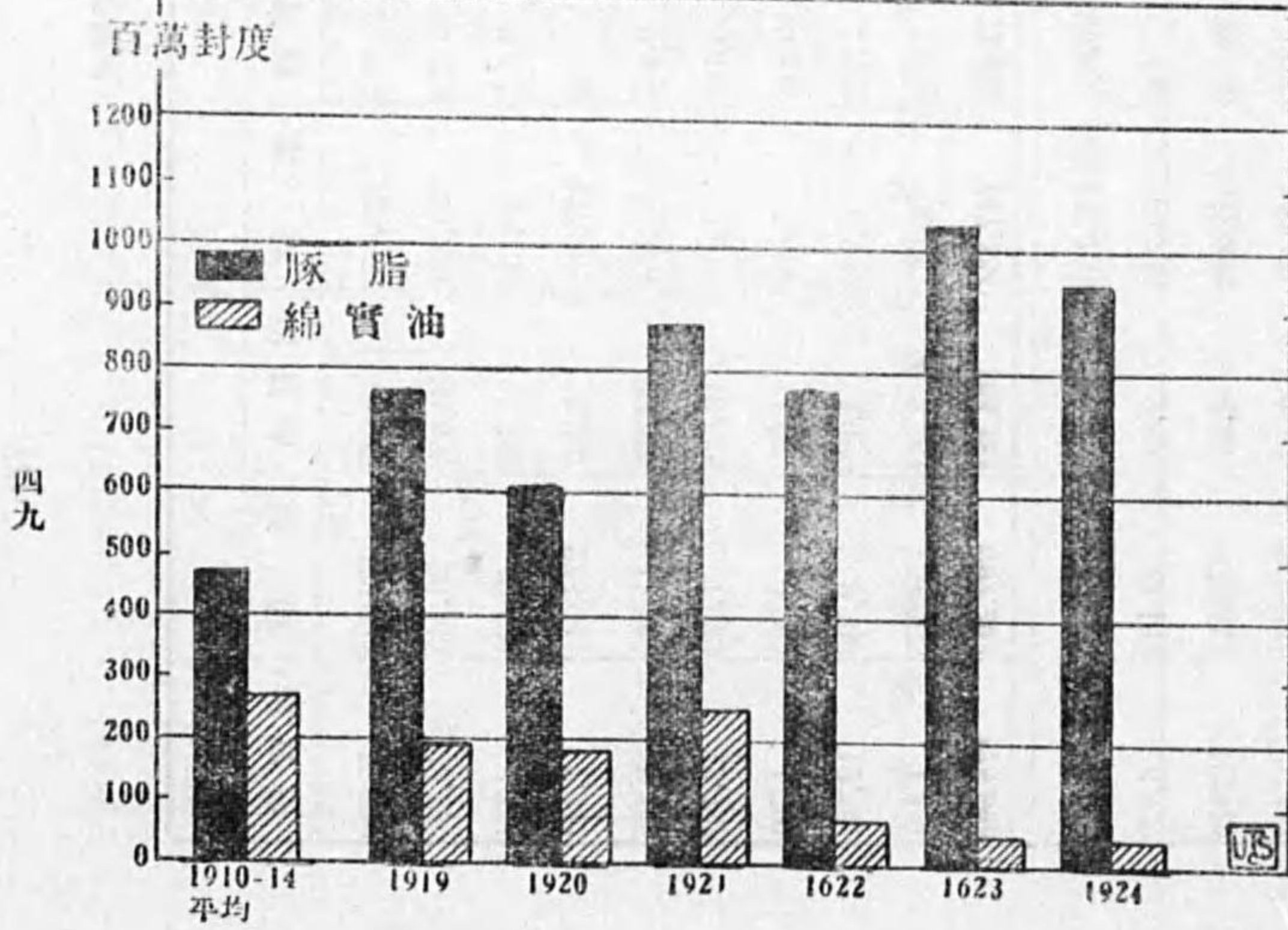


第九圖 國産植物油及魚獸油脂輸出額 (原料の油換算額を含む)  
(第153表數字)



第一章 合衆國內の油脂狀況

第十圖 國産豚脂及綿實油輸出額 (第154表數字)



四九

第二章 合衆國內の油脂狀況

年次	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1920	185,578	32,051	12,059	4,543	229,688	635,487	74,388	20,691	56,499	787,045	1,016,733	
21	252,977	48,206	4,890	4,890	305,582	892,882	127,977	13,797	46,863	1,081,519	1,387,101	
22	75,874	41,764	5,732	4,361	129,550	787,447	109,386	31,376	115,898	1,044,107	1,167,457	
23	49,906	17,067	4,361	3,679	71,424	1,059,511	98,965	35,129	100,052	1,293,547	1,365,071	
24	49,833	14,371	3,679	3,679	61,883	971,460	99,380	33,962	119,771	1,224,573	1,286,456	
1921—24平均	105,665	30,352	4,543	4,543	140,560	927,825	108,924	28,566	95,646	1,160,961	1,301,521	

四八

1. 輸出総額の油換算額を含む。
2. 獸脂人造豚脂を含む。關稅委員會の調査に依れば1920—23年間に於ける合衆國製造の總ての人造豚脂の平均構成分子は植物油91%獸脂9%たり。
3. 中性豚脂を含む。
4. 食用及非食用。



第百五十四表 綿實油及豚脂の國産品輸出額 (單位=千封度)

仕 向 國	1910-14年平均		1919		1920		1921	
	豚 脂	綿 實 油	豚 脂	綿 實 油	豚 脂	綿 實 油	豚 脂	綿 實 油
英 和 佛 獨 伊 諸 瑞 丁 白 西 部 歐 羅 巴 合 計	169,176	39,882	219,307	37,814	128,772	12,917	232,904	15,530
國 蘭 西 太	36,501	58,259	68,597	30,378	91,298	34,623	76,965	92,120
獨 逸 利 威 典 株 義	12,090	14,510	96,297	7,212	48,756	8,721	40,102	8,781
伊 諾 瑞 丁 白 西 部 歐 羅 巴 合 計	142,311	13,185	39,495	12	127,336	3,257	273,045	7,241
利 威 典 株 義	4,656	27,559	2,463	9,552	29,154	22,976	11,745	23,386
瑞 丁 白 西 部 歐 羅 巴 合 計	1,174	7,513	1,257	15,627	1,018	1,077	1,579	12,627
株 義	530	2,188	24,484	13,113	5,000	1,077	5,592	1,791
瑞 丁 白 西 部 歐 羅 巴 合 計	2,481	2,982	33,505	7,352	6,329	4,089	9,506	12,741
利 威 典 株 義	17,076	4,053	155,802	1,613	55,021	3,161	51,565	1,481
獨 逸 利 威 典 株 義	385,995	170,031	641,207	122,673	487,184	104,351	707,303	175,598
加 羅 西 陀 哥 瑪 加	10,182	20,345	5,990	39,662	437,184	45,054	12,706	45,030
西 陀 哥 瑪 加	7,001	21,994	7,134	495	12,730	2,803	43,458	6,877
亞 利 加 合 計	41,379	35,238	44,766	5,103	17,302	4,359	72,311	3,915
南 亞 利 加 合 計	14,525	22,094	4,274	1,823	65,721	7,962	7,534	5,621
總 計	70,087	67,956	61,264	47,083	105,044	60,178	136,109	61,443
亞 利 加 合 計	474,355	271,429	760,902	193,134	612,250	184,753	868,942	252,548

第百五十四表 綿實油及豚脂の國産品輸出額 (單位=千封度) (續)

仕 向 國	1922		1923		1924	
	豚 脂	綿 實 油	豚 脂	綿 實 油	豚 脂	綿 實 油
英 和 佛 獨 伊 諸 瑞 丁 白 西 部 歐 羅 巴 合 計	237,572	410	234,011	22	237,753	199
國 蘭 西 太	29,803	1,633	68,706	106	66,150	6,744
獨 逸 利 威 典 株 義	26,731	211	38,622	368	23,619	106
伊 諾 瑞 丁 白 西 部 歐 羅 巴 合 計	223,760	480	376,789	108	308,541	2,291
利 威 典 株 義	15,937	208	52,962	6	63,135	10
瑞 丁 白 西 部 歐 羅 巴 合 計	1,916	7,546	2,084	2,428	1,095	1,379
獨 逸 利 威 典 株 義	5,289	428	5,088	39	4,261	250
瑞 丁 白 西 部 歐 羅 巴 合 計	4,934	4,401	6,271	322	7,159	—
株 義	43,971	643	47,261	83	32,556	176
獨 逸 利 威 典 株 義	589,913	15,965	831,794	3,482	744,269	11,055
加 羅 西 陀 哥 瑪 加	11,836	31,742	15,337	25,791	11,455	13,179



第一章 合衆國內の産品

五二

産品	数量	生産額	輸出額	生産對輸出百分比
露 瑪	43,397	4,065	42,655	8,231
玫 瑪	80,578	3,607	90,100	2,532
南 米 利 加	13,201	12,712	20,877	5,416
亞 米 利 加 合 計	149,662	52,126	168,999	41,970
總 計	766,950	75,302	1,035,382	49,608

1. 中性油脂の輸出額を含まず。

第百五十五表 油脂輸出額及生産額對照表 (單位=千封度)

年	各種油脂總計		植 物 油	綿 貨 油	
	生産額	輸出額		生産額	輸出額
1912	5,536,096	1,103,792	458,379	362,285	
14	5,774,863	867,578	297,506	217,953	
1912,14年平均	5,655,480	1,015,685	378,193	290,119	
1916	5,804,036	849,849	247,383	188,443	
17	5,194,956	624,789	178,869	124,860	
18	5,784,530	843,777	163,497	119,351	
19	5,875,129	1,269,836	325,007	193,631	
20	5,600,853	1,016,733	223,368	185,578	

21	5,973,324	1,387,101	305,582	222,977
22	6,100,789	1,167,457	123,350	75,854
23	6,910,481	1,365,971	71,424	49,996
24	7,285,426	1,286,456	61,883	43,833
1921—24年平均	6,567,565	1,301,521	140,560	105,665

第百五十五表 油脂輸出額及生産額對照表 (單位=千封度) (續)

年	豚 脂 及 魚 油		豚 脂	
	生産額	輸出額	生産額	輸出額
1912	3,516,346	704,913	1,643,000	552,648
14	3,644,237	570,072	1,652,000	459,812
1912,14年平均	3,580,292	637,492	1,647,000	506,230
16	3,913,301	602,466	1,923,000	453,925
17	3,526,708	445,900	1,577,000	382,144
18	4,054,603	680,280	2,015,000	555,125
19	4,139,764	944,329	2,083,000	783,858
20	4,152,513	737,045	2,022,000	635,487
21	4,322,914	1,081,519	2,035,000	892,882

第一章 合衆國內の油脂狀況

五三



第一章 合衆国内の油脂状況

単位

22	4,854,197	1,044,107	21.5	2,330,900	787,447	33.8
23	5,520,647	1,293,647	23.4	2,871,900	1,059,511	36.9
24	5,455,194	1,224,578	22.4	2,773,000	971,480	35.0
1921—24年平均	5,065,738	1,160,961	22.9	2,517,250	927,825	36.9

1. 輸出総額の油換算額を含む。

1. 豚脂輸出額は中性豚脂を含む。

第百五十六表 國産石鹼輸出額 (單位 價格千弗、數量千封度)

年	度	化粧用或は醫藥用品		其		他		價額合計
		價	額	價	額	數	量	
會計年	1910		1,480		2,141		45,716	3,621
	11		1,742		2,305		47,581	4,047
	12		1,840		2,636		57,855	4,536
	13		2,133		2,497		51,298	4,630
	14		2,142		2,797		58,547	4,939
	1910—14年平均		1,867		2,487		52,198	4,355
	1915		1,777		3,081		63,368	4,858
	16		2,610		3,709		75,549	6,320

以下	年	17 18	19	20	21	22	23	24	1921—24年平均	1. 洗濯石鹼を含む。	
										價	額
		2,123	2,568	6,034	5,839	2,823	2,869	3,022	2,401	2,779	4,169
		10,571	15,367	13,316	6,214	6,044	6,284	5,332	5,968	78,049	73,949
		116,937	157,750	123,821	73,952	81,254	84,955	72,000	78,040	116,937	116,937
		21,501	19,155	9,037	8,913	9,937	7,733	8,748	21,501	21,501	21,501

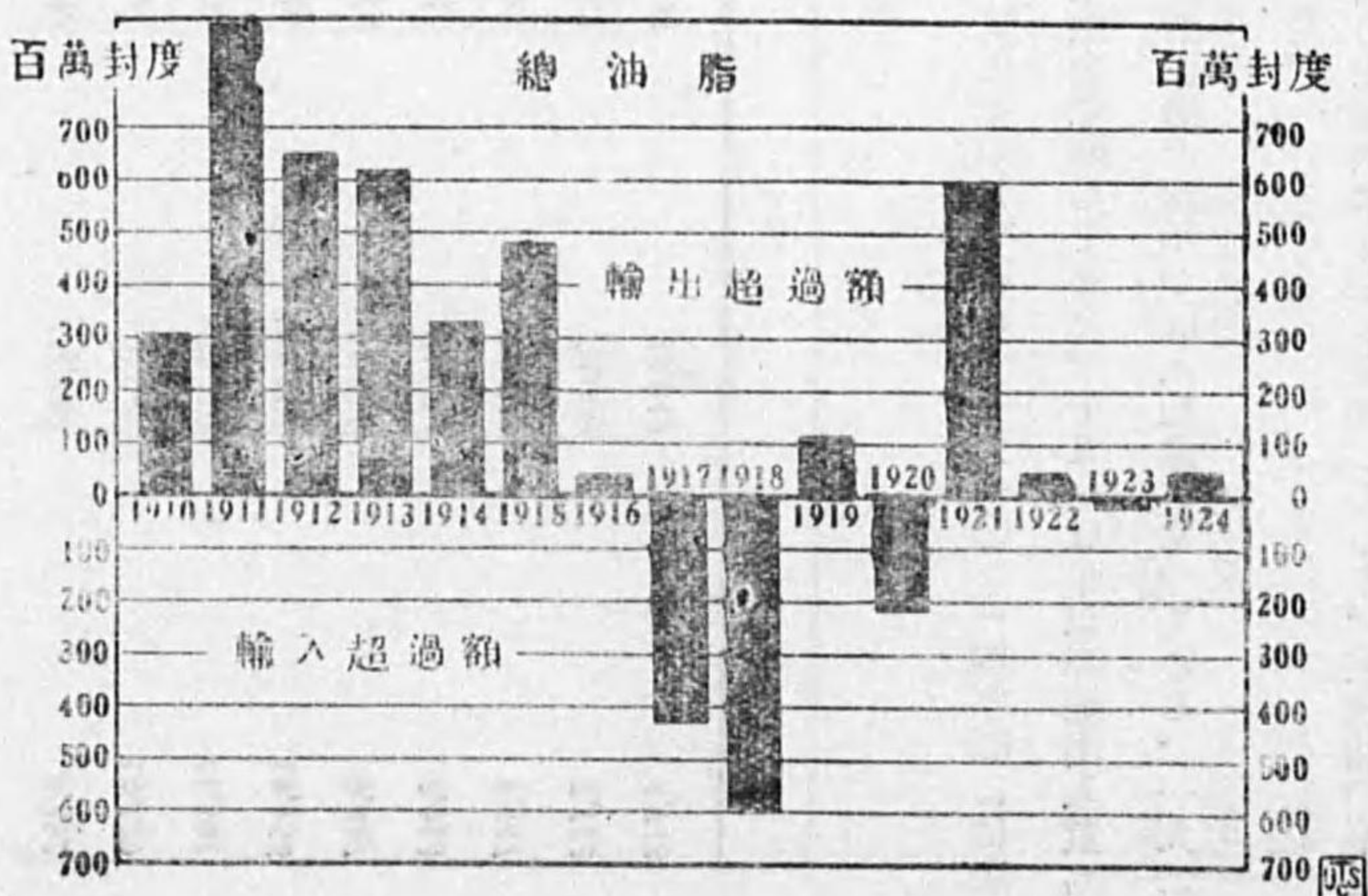
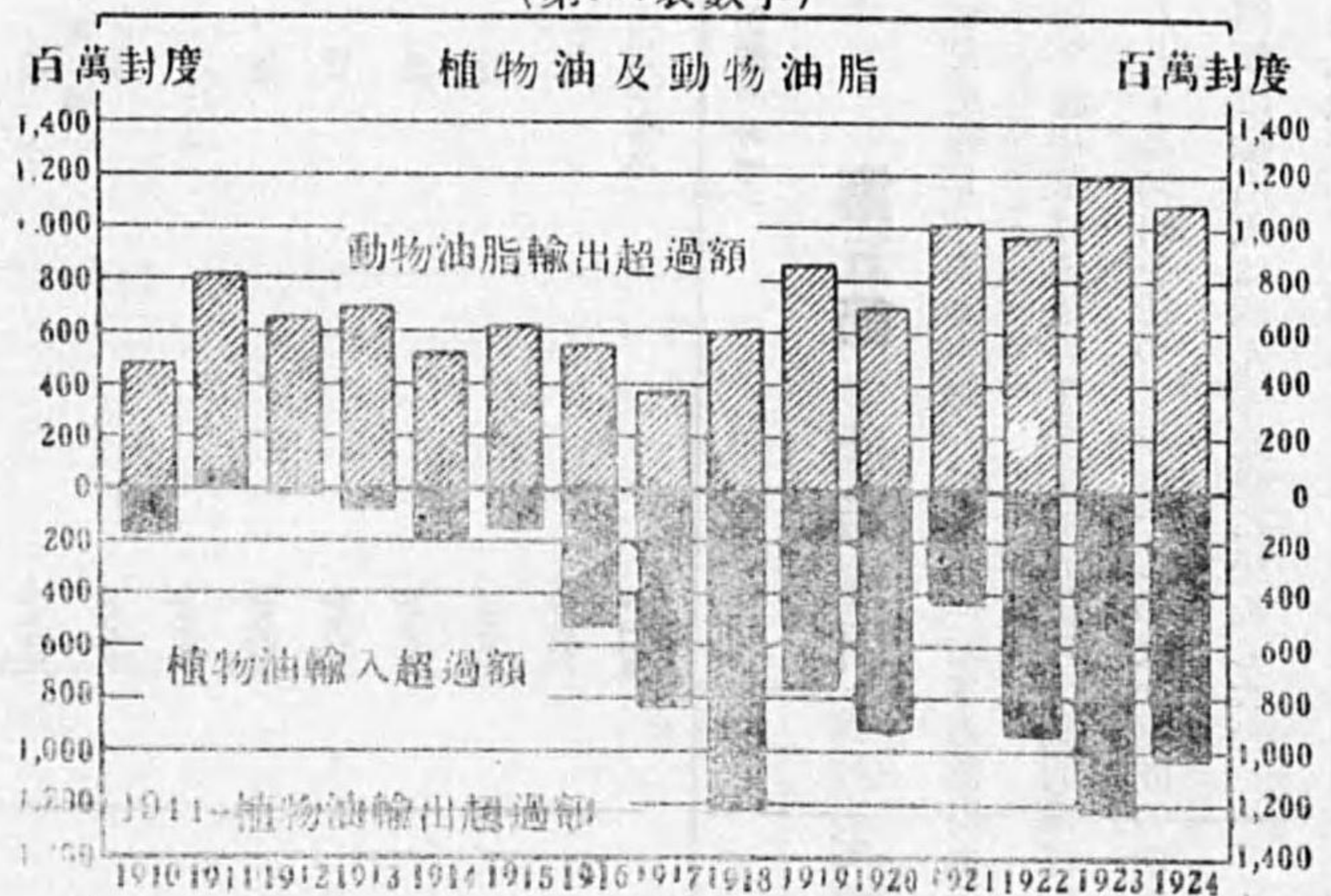
第五節 油脂輸出入の差額

第百五十七表及第十一圖は油脂の輸入額に對する輸出額の關係の變化を示してゐる。一九一〇—一四年間には總ての油脂の毎年輸出額はきまつて平均約五億六千萬封度ばかり輸入額を超過してゐた。一九一五年以降輸出入貿易は均勢ならんとする傾向を持つてゐる。この九ヶ年間の中五年は輸出超過で四年が輸入超過となつてゐる。一九二二—二三及二四年に輸出入は殆んど完全に平均した。

植物油の輸入額は必ず輸出額より大となつて居り且戦前以來輸入の超過額は急速に増加してゐる。植物油の不足



第十一圖 合衆國植物油及魚獸油脂貿易の差額  
(第157表數字)



が増大するに伴れて獸脂及魚油の過剰は段々と増加して行つてゐる。

第百五十七表 油脂輸出入の差額 (單位千封度)

年	總油脂		植物油及油原料		獸脂及魚油	
	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出
1910		303,426	176,665			480,091
11		803,958		73,553		820,400
12		651,147	7,883			659,030
13		619,126	77,541			696,667
14		332,372	190,819			523,191
1910—14年平均						
1915		480,317	75,871			635,876
16		42,605	147,057			627,374
17	431,375		514,982			557,587
18	601,005		1,213,543			612,541
19		118,522	753,349			871,871
20	218,567		915,237			696,670
21		599,071	419,804			1,018,875



22	44,907	929,271	974,178
23	24,534	1,224,628	1,200,094
24	51,265	1,083,342	1,134,507
1921—24年平均	167,677	914,261	1,081,938

## 第二章 各國の油脂狀況

本章に於ては、原始生産諸國にて産する、或種の植物油及油脂原料の供給に關する最近數年間の變化及西部歐羅巴(和蘭、白耳義、丁株、佛蘭)に於けるその消費の變化とに關する研究を發表する。供給能力及歐羅巴の消費の變化は孰れも前編で詳細に述べた合衆國輸入油輸入額の増減及綿實油と豚脂との國産品輸出額の増減に一脈の關聯を持つてゐる。

各油(即ち椰子、棉實、落花生及大豆)に關する主要原産諸國の輸出額は眞先に示してあるが、國際輸出總額に關する數字は一度も計算されることがない。併し既に擧げた諸國の輸出總額は輸出貿易の進路に就いての正確にして且實際的な指針なりと信ぜられるのである。右に述べた各油は油としても、含油原料(子實、豆、核等)の儘でも輸出された故に各油の供給可能數量を示せば次の如くである。

### (a) 油の輸出

#### (b) 含油原料の輸出

#### (c) 含油原料の各目にての混合輸出

之等の油の西部歐羅巴正味輸入額は即ち油及其の原料の毎年の消費高と同量なりと普通見做してゐる。如何なる油でもその消費總額を見積るには普通含油原料の正味輸入額(噸)を油相當額に換算し、それを油の正味輸入額に加算してゐるのである。

## 第一節 椰子油及コブラ

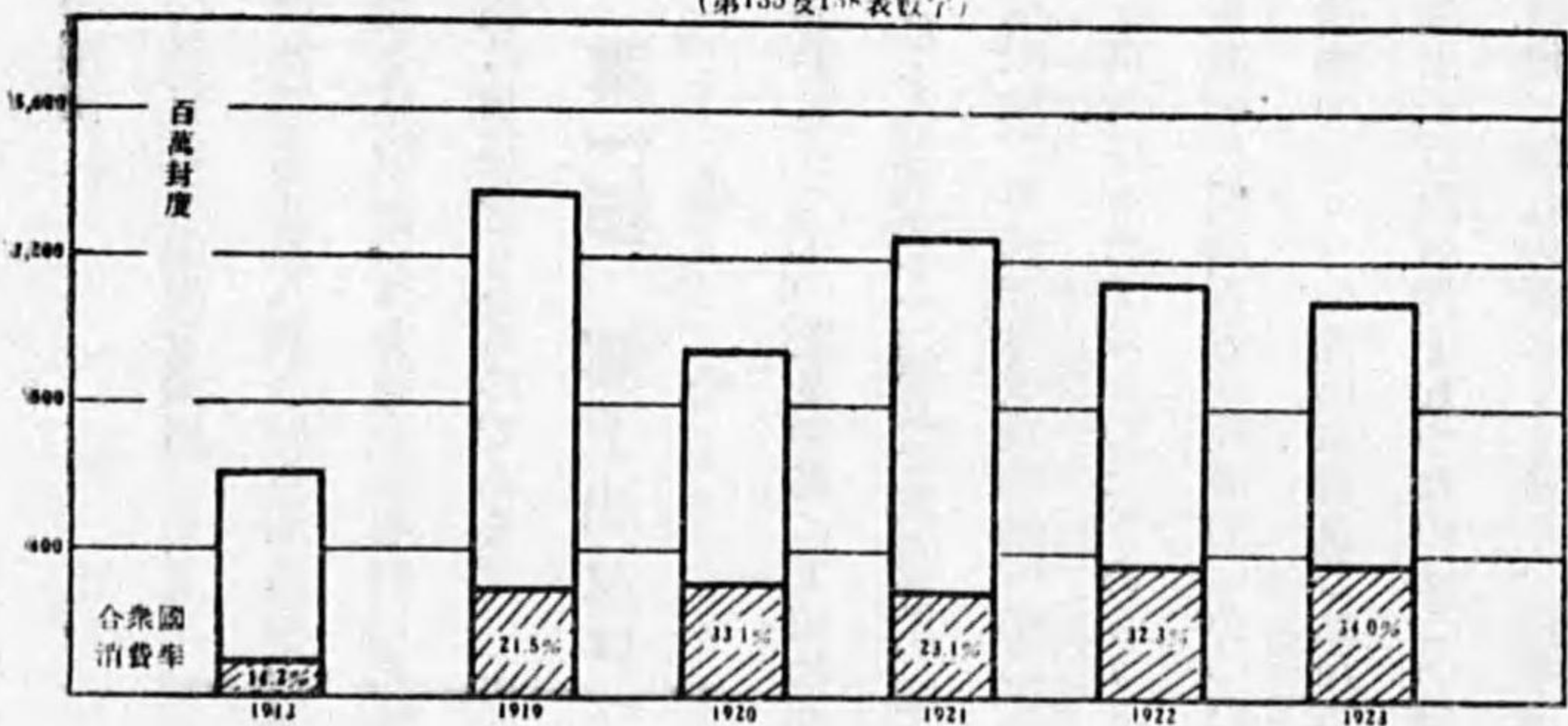
### 供給

椰子油は國際貿易界に在つて、數量の點にて植物油中最も重要である。主要生産諸國の年輸出額(油及コブラの油換算額を含む)は今日十億乃至十二億五千萬封度の間に在る。椰子油を全世界に供給する主なる産地は、比律賓群島、蘭領東印度、海峽植民地、英領印度及錫蘭島である(第百五十八表及第十二圖参照)。一九一三年に上掲諸國の輸出額は恐らく七億五千萬封度を出でなかつたであらうと思はれる。大戰中船舶は不足を告げ海洋運賃は高價であつた爲コブラの儘よりも油として送る方が經濟的であつたので原産諸國にあつては製油業が大いに振興した。一九二〇及二一年以來前掲諸國のコブラの輸出は回復し比律賓の斯業者以外の製造業者は操業停止し又は衰微して居る。蘭領東印度の椰子油輸出が實際皆無となつたのはこの變化を物語る極端な一例である。

現在比律賓群島は他の何れの國よりも多く、椰子油及コブラを供給する。之等生産物の輸出が斯く迅速に發展し



第十二圖 原始生産諸國コブラ及椰子油輸出額並合衆國消費率 (コブラは油に換算す)  
(第135及136表數字)



たのは、合衆國の輸入が無税であるのに依るのであるが、これはこの十年間に於ける國際油業界の著しい特徴である。

消費

第十三圖の示す所に依れば椰子油の消費量は西部歐羅巴に於けるより合衆國に於ける進歩が遙に迅速である。即ち一九一三年に一億萬封度以下であつたものが一九一九—二三年の年平均三億三千萬封度に上つたのである(第百三十五表参照)。椰子油の供給總額(主要原産諸國輸出額)の中で合衆國にて消費される部分は一九一三年の一四・三%から一九二三年の三四%に増加してゐる。西部歐羅巴(獨逸を除く)の正味輸入額は一九一九—二三年間の一箇年平均は約五

億三千万封度であつた(第百五十九表及第十三圖参照)。一九二二年に於ける獨逸の正味輸入額は實際其他の西部歐羅巴諸國全部を合計したものに等しく一九二三年には數量に於ては殆んど前年の半分であつた(第百七十表参照)。今獨逸を論外とすれば英國が最大消費國で年に約一億五千五百萬封度を使用する。之に次いで佛蘭西が一億四千万封度である。英國は如何なる油でも油その物として大量に輸入する唯一の國である。而して此の輸入額は漸次に減退してゐる。英國のコブラ輸入額は油の損失を相殺するに足る丈けの増加を示してゐる。白耳義は年に約二千萬封度の椰子油を輸入し伊太利は五百萬封度を輸入してゐる。和蘭はその植民地からコブラを輸入し油を輸出する最大製油國(勿論獨逸を除く)である。

西部歐羅巴の椰子油及コブラの輸入額は一九一九年が最大で一九二〇年に甚だしく減少し、一九二一年にはより以上の減退を受けその後の各年には稍増加した。一九一九年以後の各年の輸入額は皆一九一三年の輸入額を遙かに凌駕してゐる(第十三圖参照)。

原料生産諸國の輸出額は一九二二及二三年に減退したけれども、之等兩年の西部歐羅巴及合衆國の正味輸入額は一九二一年に於けるよりも多い。此の外見上の矛盾は獨逸の消費額に關する一九二一年の信憑すべき數字が得られなかつた爲に夫を含まなかつたと云ふことで説明されるであらう。

第百五十八表 原始生産諸國の椰子油及コブラ輸出額 (單位千封度) (羅馬市國際農業協會報告及政府貿易報告)

椰子油



年 度	比 律 賓 諸 島	南 領 東 印 度			錫 蘭	英 領 印 度	海 峽 植 民 地	合 計
		シアンバハラ	其 他	錫 蘭				
1913	11,046	—	3,434	61,262	10,080	—	85,822	
19	308,517	136,975	11,964	75,712	58,802	24,450	681,420	
20	171,014	180,458	45,517	56,842	6,941	18,747	429,514	
21	199,058	61,882	29,352	54,289	13,087	21,984	379,552	
22	286,354	25	3,627	62,117	10,918	21,782	334,829	
23	196,513	—	—	58,514	7,444	19,509	277,180	

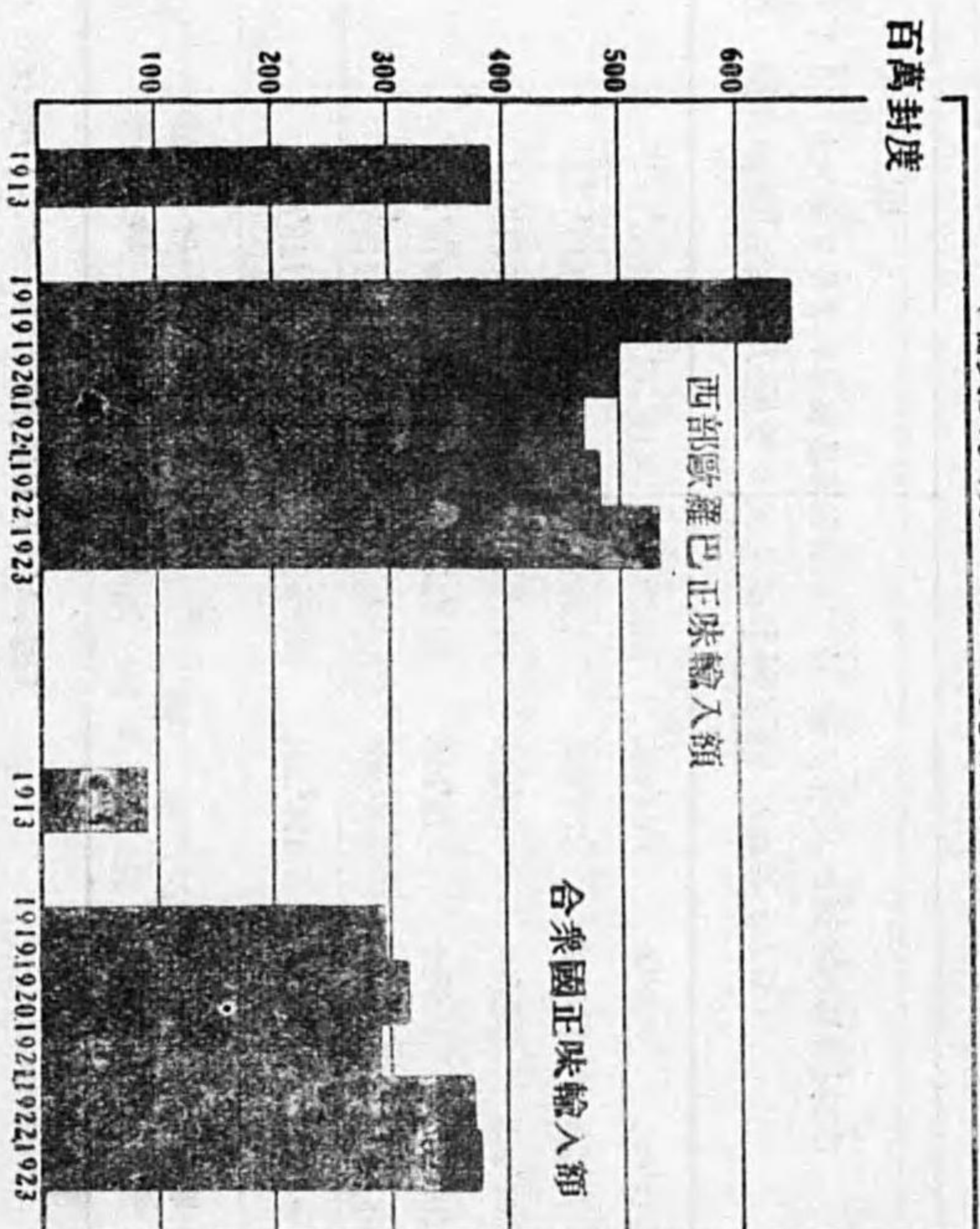
コ ロ ナ

年 度	比 律 賓 諸 島	南 領 東 印 度			錫 蘭	英 領 印 度	海 峽 植 民 地	合 計	油 換 算 額
		シアンバハラ	其 他	錫 蘭					
1913	181,261	174,507	331,097	125,138	82,528	—	894,531	536,719	
19	55,822	228,825	499,538	197,066	24,033	2,290	1,257,774	754,664	
20	56,835	109,648	291,708	152,080	3,483	263,762	877,576	526,516	
21	331,439	207,263	479,529	153,153	6,942	293,985	1,477,321	886,411	
22	381,532	117,358	258,672	183,899	33,811	386,382	1,366,554	819,992	

23	454,697	117,419	315,738	114,842	31,245	336,901	1,370,843	822,506
----	---------	---------	---------	---------	--------	---------	-----------	---------

1. 總てコロナの含油量を60%として換算す。註此表は次の頁に續く。

第十三圖 西部歐羅巴及合衆國コロナ及椰子油正味輸入額  
(コロナは油に換算す) (第146及159表數字)  
(瑞典及伊太利の1913年度數字は不完全)





コアラ及油のコアラ換算額(第五十八表續)

年 度	比 律 賓 島	蘭 領 東 印 度		錫 蘭	英 領 印 度	海 峽 地 域	合 計	
		シバ及 アラ	其 他				コ アラ	油 として
1913	190,671	174,507	886,820	227,241	99,828	—	1,087,567	622,541
19	569,517	490,450	519,478	323,238	113,703	298,740	2,310,141	1,386,084
20	341,918	327,070	367,570	246,817	15,051	295,007	1,593,433	956,960
21	663,192	310,400	518,549	243,635	28,670	335,492	2,099,938	1,259,963
22	775,455	117,400	264,717	292,427	52,008	422,685	1,924,692	1,134,715
23	782,385	117,419	315,738	204,199	43,653	369,416	1,832,810	1,099,586

第五百十九表 西部歐羅巴の椰子油及コアラ正味輸入額 (單位:丁度)

(1913年より21年に至る合衆國商務省雜報第百二十三號、1921年以後政府貿易報告)

椰 子 油

年 度	和 蘭	白 耳 義	丁 抹	佛 蘭 西	英 國	伊 太 利	瑞 典	合 計
1913	24,934	6,039	14,648	23,822	109,321	8,802	—	139,922
19	79,362	31,885	10,779	18,807	147,537	8,238	—	296,608
20	14,385	8,257	11,501	11,107	135,157	6,257	—	134,892

21	1	71,850	22,664	1	4,404	1	2,048	108,644	7,653	—	60,659
22	1	178,956	18,626	1	2,464	1	3,567	77,530	4,020	—	72,749
23	1	141,756	22,411	1	9,916	1	3,655	49,863	3,963	—	71,780

コ ア ラ

年 度	和 蘭	白 耳 義	丁 抹	佛 蘭 西	英 國	伊 太 利	瑞 典	合 計	油換算量
1913	40,298	27,766	68,655	247,638	31,817	—	—	416,174	249,705
19	166,573	4,218	108,860	113,211	152,288	29,494	11,390	586,034	351,621
20	176,789	4,185	133,371	163,029	95,045	23,168	5,669	603,256	363,735
21	246,850	17,771	148,151	155,441	82,351	23,933	8,850	633,332	410,631
22	381,694	19,628	77,830	250,155	142,984	35,274	20,207	927,772	563,662
23	325,205	17,625	143,401	306,031	155,546	23,965	27,076	1,003,859	605,317

椰子油及コアラの油換算量

年 度	和 蘭	白 耳 義	丁 抹	佛 蘭 西	英 國	伊 太 利	瑞 典	合 計
1913	49,113	23,699	57,341	124,761	128,411	3,802	—	389,627



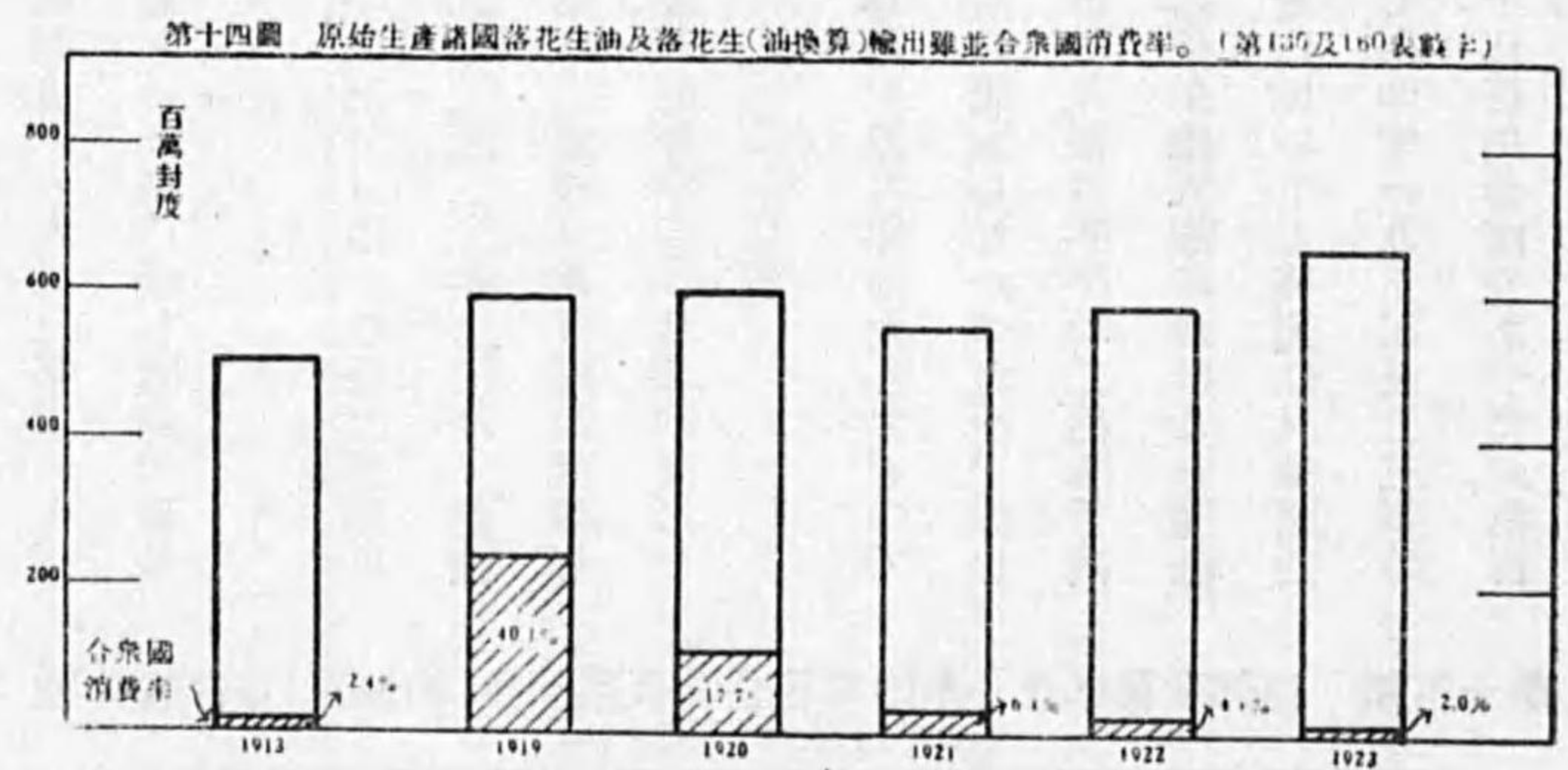
10	179,306	24,416	76,095	86,734	238,910	25,934	6,834	648,229
20	91,588	10,768	68,522	111,924	192,184	20,155	3,401	498,645
21	76,260	33,327	84,487	91,217	158,055	22,034	5,310	470,630
22	50,060	30,408	49,162	153,660	163,320	25,184	12,124	433,913
23	53,307	32,992	79,125	187,274	143,191	21,342	16,246	533,537

1. 輸入額(正味輸入額)以上輸出超過額  
 2. コアラの含油量を標準とす。

### 第二節 落花生油及落花生

供給

主要生产諸國の輸出額(第十四圖参照)の示す如く國際貿易に於ける落花生の供給能力は毎年發付きで、十七億萬封度から二十一億萬封度まで即ち油換算量で四億萬封度から六億萬封度までを上下してゐる。主要落花生輸出國はアフリカ西海岸の佛領及英領、英領印度及支那である。最後に述べた支那は又比較的小量の落花生油を輸出する。アフリカのセネガル、ガムビヤ及ニゲリアは一九一九年以來發付落花生年平均八億七千二百萬封度を輸出してゐる。支那の輸出額(輸出油の落花生換算額を含む)は同期間に亘り平均五億六千二百萬封度である。印度の輸出額は戦後暫く少なかつたが、一九一九年に於ける一億三千萬封度から一九二三年の六億萬封度までに激増してゐる(第百



六十表参照)。  
 約八億萬封度に上る合衆國の年産額は殆んど全部落花生の儘で消費される。只下級品と脱殻業者のハネ物だけが壓碎され油となるに過ぎない。日本及支那仕出輸入落花生の大部分は食用落花生となり油に壓碎されない。

消費

大戦前數年間には落花生の世界供給額の中略六八%を佛蘭西で壓碎しその壓倒的地位は今日(一九二五)も持續されてゐる。一九一三年に於ける佛蘭西の落花生正味輸入額は十三億〇五萬萬封度を算した。一九一九年に於ける輸入額はこの量の半分以下であつたが、一九二二年には

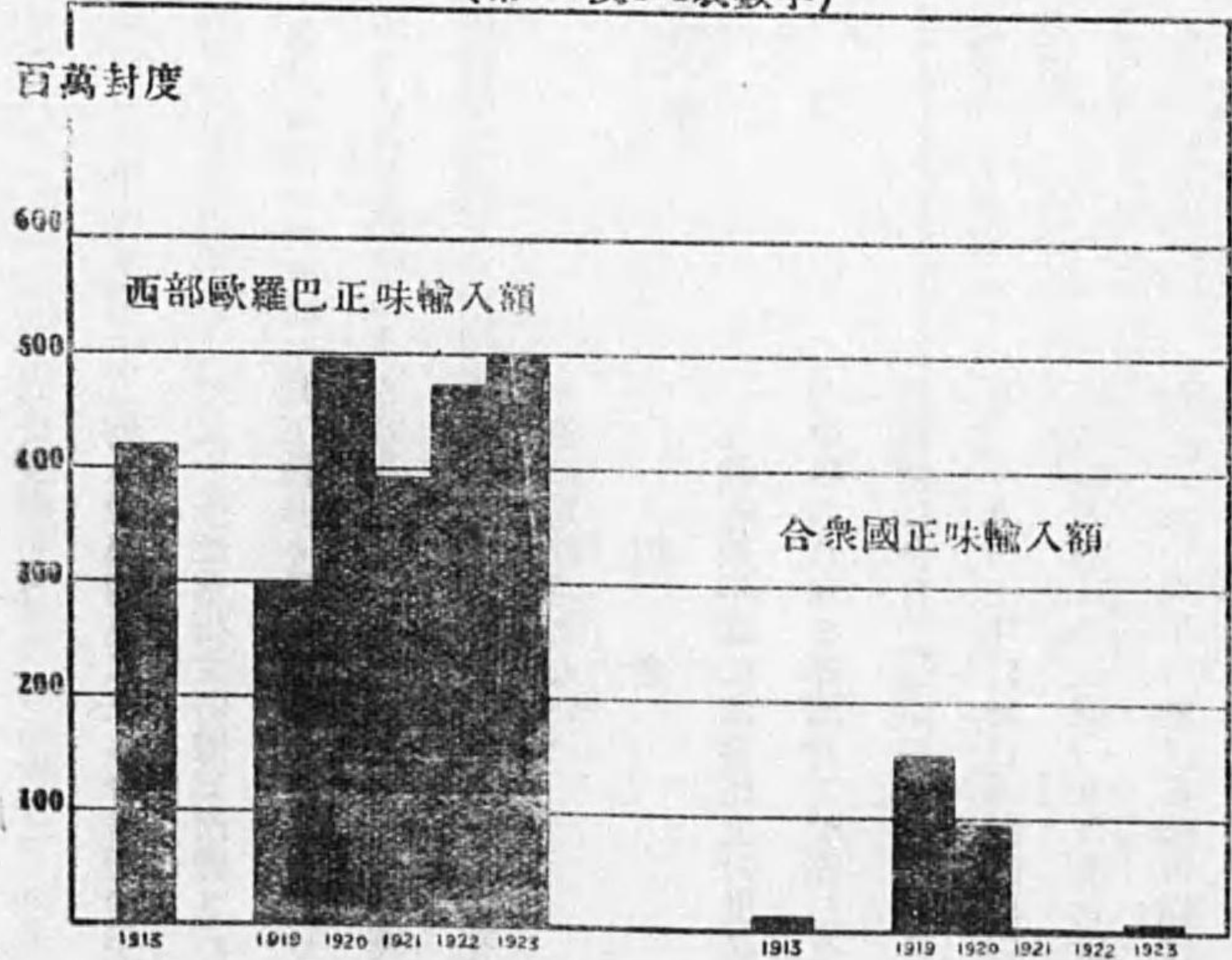


十二億三千五百萬封度、一九二三年には十三億八千九百萬封度といふ額に達し戦前の數量を回復してゐる。

佛蘭西生産油の大部分は他の歐羅巴諸國に販賣される。一九二二及二三年に於ける佛蘭西の平均消費年額は三億六千五百萬封度即ち一日に一百万封度の割合であつた(第百六十一表参照)。

戦前合衆國の落花生輸入額は大したものでなく税關では別箇に記表しなかつたが、併し一九一九年以後は輸入額は年平均二億四千萬封度に達した。落花生輸入額に於けると同様に落花生油消費量に於いても英國は只佛蘭西に首位を譲る丈であつて一九二二及二三年の平均消費額は五千八百萬封度であつた(第百

第十五圖 西部歐羅巴及合衆國落花生油及落花生(油換算)正味輸入額 (第146及161表數字)



六十一表参照)

伊太利及和蘭は各々年に五千萬乃至一億萬封度の落花生を壓碎する。年約三千萬封度の伊太利消費額は和蘭のより稍大きい。

西部歐羅巴の落花生油輸入額は戦争後寧ろ烈しく變動し、一九一九年に於ける一九二三年度輸入額の七一%から一九二〇及二三年に於けるその一一八%までの間を上下した(第十五圖参照)。一九二一年には總植物油の貿易は何時にも不振であつた。併し一九二二及二三年に落花生油は増加を示した。綿實油の輸入額の減少に對しこれ等の増加せる關係は九六頁で詳しく述べる。

合衆國の落花生油正味輸入額は一九一九年に一億五千四百萬の最高點に達し、一九二〇年には九千五百萬封度に激減し、其後は戦前と同様ここに擧げる程の重大な増減をしてゐない(第百四十六表及第十五圖参照)。

第百六十表 原始生産諸國落花生油及落花生、輸出額 (單位=千封度)

(國際農業協會報告及政府貿易統計)

年	度	セネガル	ガムビア	ニゲリア	印 度	支 那	蘭領東印度	合 計
1913	19	627	—	—	—	34,196	2	34,198
						163,157		177,405



第二章 各國の油脂狀況

千〇

20	358	—	—	—	—	—	—	—	—	—	110,125	1,947	125,480
21	69	—	—	—	—	—	—	—	—	—	61,531	2,457	64,057
22	27	—	—	—	—	—	—	—	—	—	51,135	—	51,102
23	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	62,285	—	62,285

穀付落花生

年	度	セネガル	ガムビア	ニゲリア	印 度	支 那	蘭 東 印 度	合 計	油換算額
1913		506,975	150,085	43,205	571,348	137,933	44,481	1,474,927	471,977
19		629,128	160,556	88,108	129,344	231,198	38,079	1,206,408	414,851
20		678,979	190,826	101,716	271,358	246,242	42,821	1,531,942	430,921
21		596,108	132,552	114,193	333,555	284,346	26,962	1,337,716	492,069
22		616,341	145,152	53,513	391,330	233,026	24,228	1,639,220	524,150
23		655,300	143,759	51,267	533,940	391,133	33,781	1,379,590	601,469

落花生及油の落花生換算額

年	度	セネガル	ガムビア	ニゲリア	印 度	支 那	蘭 東 印 度	合 計	油として
1913		506,975	150,935	43,205	571,348	234,736	44,437	1,531,736	506,175

年	度	セネガル	ガムビア	ニゲリア	印 度	支 那	蘭 東 印 度	合 計	油として
19		631,037	160,556	83,108	129,344	761,059	80,645	1,850,799	592,256
20		630,038	190,826	101,716	271,358	590,383	43,965	1,833,236	602,651
21		596,324	132,552	114,193	333,555	476,630	34,540	1,737,894	556,126
22		617,025	145,152	53,513	591,360	397,823	24,228	1,829,101	535,312
23		655,660	143,759	51,267	533,940	535,324	33,781	2,074,231	633,754

1. 穀付3封度に對し脱殻2封度の割合で脱殻落花生を穀付落花生に換算す。
2. 支那落花生輸田額の一部は油にならずして食用品業にて消費せらる。
3. 穀付落花生の含油量32%を基礎として總て換算す。
4. 1月—9月及び月間の數字を基礎として見積りしもの、シラバのみ。
5. シラバのみ。

第百六十一表 西部歐羅巴落花生油及落花生正味輸入額 (單位=千封度)  
(1913—21年間は合衆國商務省報第百二十三號。1921年以後政府貿易報告)  
落花生油

年	度	和 蘭	白 耳 義	丁 株	佛 蘭 西	英 國	伊 太 利	瑞 典	合 計
1913		14,833	1,394	4,472	53,359	—	7,631	3,125	51,430
19		230	2,191	658	3,272	—	789	2,214	8,034
20		6,433	836	557	15,200	19,743	12,200	1,353	13,762



第二章 各國の油脂狀況

211

年	和	蘭	白耳義	丁	株	佛	蘭	西	英	國	伊	太	利	瑞	典	合	計	油換算額
21	1	8,885	1	95	717	1	78,643	12,303	28,098	8,696	1	87,739						
22	1	3,064	1,055	3,064	1	47,201	9,585	6,518	2,841	1	27,119							
23	1	13,210	1,136	1,517	1	63,155	4,751	1,318	5,451	1	74,166							

落花生

年	和	蘭	白耳義	丁	株	佛	蘭	西	英	國	伊	太	利	瑞	典	合	計	油換算額
1918	106,404	—	—	8,081	1,305,245	—	54,581	20	1,474,331	417,785								
19	48,619	—	—	18,008	588,918	—	7,135	63	901,548	288,496								
20	51,782	—	—	10,811	1,056,349	—	31,045	116	1,513,755	484,402								
21	60,551	—	—	10,398	971,639	—	52,209	1,266	1,351,882	492,441								
22	95,631	—	—	10,803	1,235,449	—	83,473	5,290	1,569,766	502,326								
23	112,638	—	—	21,661	1,389,123	—	58,387	4,071	1,792,335	573,548								

落花生油及落花生油換算額

年	度	和	蘭	白耳義	丁	株	佛	蘭	西	英	國	伊	太	利	瑞	典	合	計
1913	度	19,166	1,394	7,038	364,319	—	25,097	3,131	420,155									

19	15,374	2,191	6,421	191,726	76,402	3,072	2,264	297,430
20	10,137	836	4,017	322,832	136,112	22,134	1,896	497,964
21	15,741	1	4,044	232,281	94,005	44,805	4,101	394,582
22	27,735	1,055	6,504	348,143	54,107	33,329	4,534	475,207
23	22,850	1,336	8,449	381,364	61,299	20,002	6,754	499,382

1. 輸入額(正味輸入額)以上輸出超過額。
2. 殼付
3. 落花生のお油量32%を基礎とす。

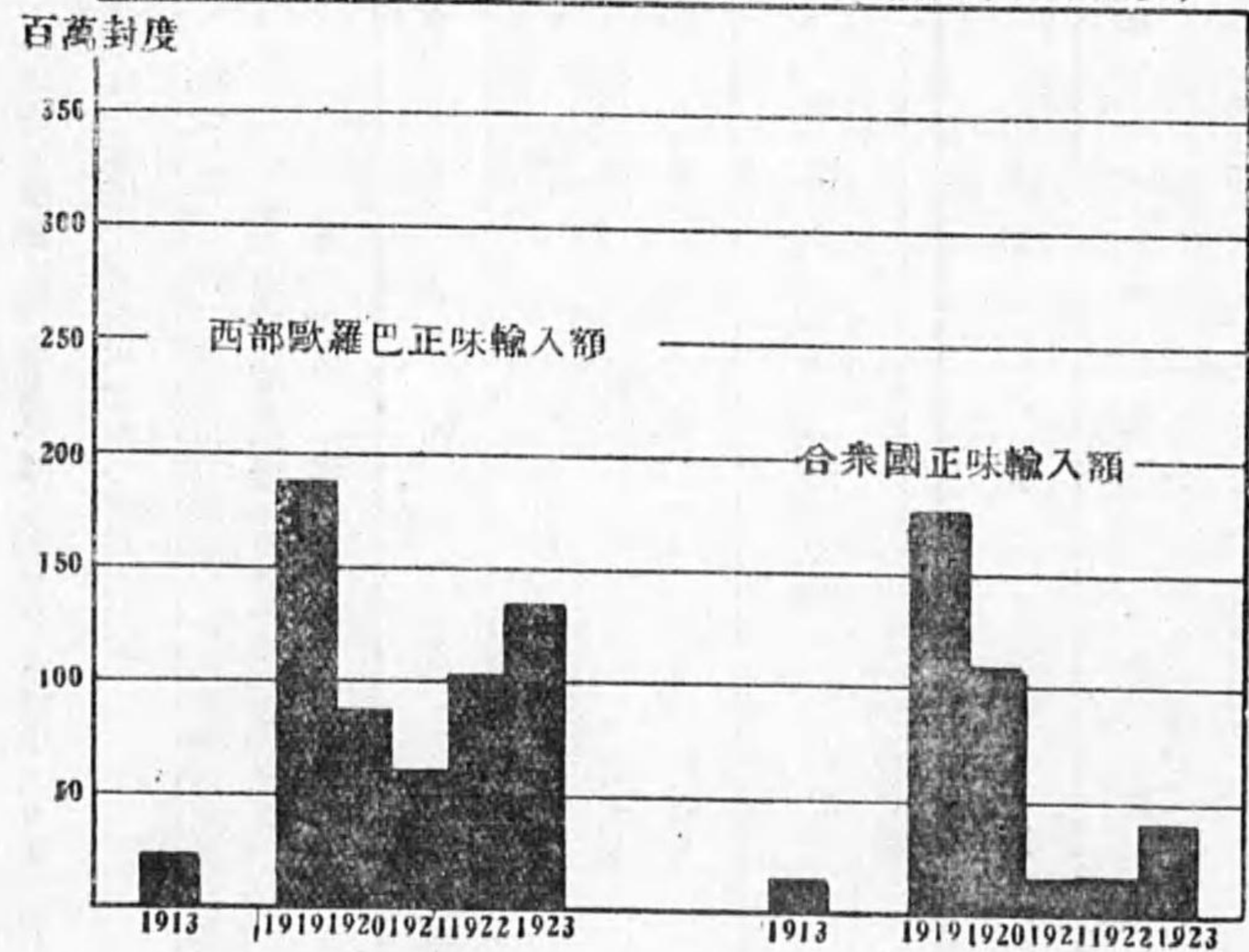
第三節 大豆油及大豆

供給

支那は大豆油を世界に供給する最も重要な産地である。支那の大豆油輸出額は一九一三年には六千六百萬封度であつたが、一九一九—一三年間の平均は二億三千五百萬封度であつた。同期間の支那の大豆輸出額は年約二十億封度であつた(第百六十二表参照)。大豆のこの分量の油換算量は約二億萬封度である。支那以外の大豆大輸出地としては唯朝鮮があるのみである。一九二二及二三年に於ける支那及朝鮮の輸出額を合すれば、一年に大豆油及大豆併せて四億八千萬封度以上即ち一九一三年に得られた供給額の二倍以上であつた(一九一三年度の朝鮮の輸出に



第十七圖 西部歐羅巴及合衆國大豆油及大豆(油換算)正味輸入額  
(第146及163表數字) (英國及丁株の1913年度數字は不完全)



重要であるが、併し大豆の壓碎量は比較的少い。一九一三年には七百萬封度を消費したが戦後の消費情況は一九一九年に於ける七千七百萬封度を最多とし一九二二年に於ける二千八百萬封度を最少とする(第百六十三表)。丁株は英國以上に大豆を壓碎する、併し生産油の殆んど全部を輸出し獨逸和蘭及瑞典に多量を供給する。

第十七圖によれば、一九一三年以後西部歐羅巴に於ける大豆油の消費線と合衆國に於ける夫とが全躰として酷似してゐることを示す。合衆國に於けるのも歐羅巴諸國に於けるのも共に、その輸入額は一九一九―二一年の間に増しく減退した。一九二〇年に比べて一九二一年に於ける合衆國正味輸入額の減少の理由の少くとも一部は緊急關稅法に依り大豆油に課せられた一ガロンに付二〇仙の税にある。

第十六圖 原始生産諸國大豆油及大豆(油換算)輸出額並合衆國消費率 (第142表數字)



關する數字は得られず(第十六圖參照)。一九二一年以後、大豆及大豆油の輸出額の回復は目撃ましいものである。世界輸出額中の合衆國にて消費される分量の割合は、一九二三年に於けると戦前とは略同様であつた(實際數字は第百三十五表參照)。西部歐羅巴の消費量はこれ等の數年間に支那及朝鮮の輸出總額の一二%から二六%までに増加した。

消費

大豆油の使用は、東洋にては數千年前既に始つてゐたけれども、米國では比較的最近の事で、西ハンブシャーで使用したのを起源とする。支那から英國へ大豆を始めて輸送したのは一九〇八年の事であつた。大豆油の價額は一時に騰貴し大豆油業は素晴らしい速度で發達した。

和蘭は大豆油の消費額に於て英國と殆んど同様



而して夫は西部歐羅巴の消費路線に示さるゝ減退よりも烈しいものである。それで亦一九二二年より二三年に至る間の恢復は合衆國の方が少なかった。

第百六十二表 原始生産諸國の大豆油及大豆輸出額 (單位=千噸)

(羅馬國際農業協會報告及政府貿易報告)

大豆油

年	次	支	那	朝	鮮	合	計
1913			65,549				65,549
19			314,758				314,758
20			228,323				228,323
21			153,052				153,052
22			197,355				197,355
23			233,590				233,590

大豆

年	次	支	那	朝	鮮	合	計	油	換	算	額
1913			1,375,978				1,375,978				137,598

19			2,308,105		209,380		2,507,485				250,749
20			1,370,382		198,807		1,569,089				156,909
21			1,527,772		460,963		1,988,735				198,874
22			1,975,621		357,484		2,333,105				233,310
23			2,435,902				2,435,902				243,590

大豆及油の大豆換算量

年	次	支	那	朝	鮮	合		計
						大豆	油	
1913			2,031,468					203,147
19			5,355,685		290,380			565,507
20			3,653,512		198,807			385,232
21			3,658,292		460,963			351,926
22			3,949,171		357,484			430,665
23			5,271,802					527,180

1. 支那仕出輸入額を除く。

2. 大豆の含有量10% 標準として總て換算せり。



第六十三表 西部歐羅巴大豆油及大豆正味輸入額 (単位=千封度)  
(1913—21年合衆國商務省雜報第百二十三號。1921年以後政府貿易報告)

年	次	和	蘭	白耳義	丁	捷	佛蘭西	英	國	伊太利	瑞	典	合	計	
1913		4,406	—	—	—	—	416	1	21,034	—	—	—	9,329	1	6,795
19		69,919	—	—	1	7,904	8,333	—	47,939	—	—	—	30,522	—	149,705
20		53,327	—	—	1	20,792	15,740	—	10,233	—	—	—	10,076	—	68,534
21		27,936	—	—	1	12,440	3,552	—	13,655	—	—	—	6,259	—	39,112
22		33,670	—	—	1	10,637	3,918	—	27,033	—	—	—	11,082	—	71,066
23		47,723	—	—	1	16,733	6,422	—	32,659	—	—	—	8,550	—	78,321

大豆

年	次	和	蘭	白耳義	丁	捷	佛蘭西	英	國	伊太利	瑞	典	合	計	油換算額
1913		28,952	—	—	105,933	—	78	133,453	—	—	—	—	304,445	—	30,444
19		72,132	—	—	173,115	1	28	137,902	—	—	—	—	332,152	—	33,315
20		8,021	—	—	170,764	—	2	16,251	—	—	—	—	135,034	—	19,503

21		3,895	—	—	94,830	—	3	135,164	—	—	—	—	233,951	—	23,395
22		11,402	—	—	175,271	—	4	131,166	—	—	—	—	317,343	—	31,734
23		36,489	—	—	284,223	—	343	232,529	—	—	—	—	573,584	—	57,358

大豆油及大豆の油換算額

年	次	和	蘭	白耳義	丁	捷	佛蘭西	英	國	伊太利	瑞	典	合	計	
1913		7,391	—	—	10,596	—	424	4,089	—	—	—	—	9,357	—	23,649
19		77,135	—	—	10,308	—	8,330	61,729	—	—	—	—	30,522	—	133,024
20		54,129	—	—	3,716 <sup>(1)</sup>	—	15,740	11,858	—	—	—	—	10,076	—	88,087
21		28,876	—	—	2,591 <sup>(1)</sup>	—	3,552	27,171	—	—	—	—	6,359	—	62,507
22		40,810	—	—	6,890	—	8,918	40,150	—	—	—	—	11,082	—	102,850
23		50,772	—	—	11,689	—	6,456	57,912	—	—	—	—	8,550	—	135,679

1. 輸入額(正味輸入額)以上輸出超過額。
2. 大豆の含油量10%を標準とする。

第四節 パルム油及パルムカーネル油

第六十四表は西歐諸國のパルム及パルムカーネル油の輸入額を示す。パルムカーネル油は椰子油に酷似して居



る而してパルム油とは混同すべきではない。尤もパルム油はパルムカーネル油同様食用には適しない、パルム油もパルムカーネルも英領西部アフリカに多く原産する。一九二二年に廢止されたかの特惠關稅の爲にパルムカーネルの輸出先は數年間主として英國に限られてゐた。

第百六十四表 西部歐羅巴パルム油及パルムカーネル正味輸入額 (單位:下封度)  
(1913-21年は合衆國商務省雜報第百二十三號。1922年以後政府貿易報告)  
パルム油

年	度	和 蘭	白 耳 義	丁 株	佛 蘭 西	英 國	伊 太 利	瑞 典	合 計
1913		—	9,285	29	32,360	73,765	11,790	—	127,238
19		—	5,113	1,908	47,886	176,707	18,510	—	246,308
20		—	9,246	3,214	75,529	109,636	35,401	—	222,158
21		—	1,174	878	20,422	50,786	22,767	—	96,027
22		—	6,158	570	44,311	96,204	30,485	—	176,658
23		—	10,731	556	33,598	53,172	22,920	—	123,965

パルムカーネル

年	度	和 蘭	白 耳 義	丁 株	佛 蘭 西	英 國	伊 太 利	瑞 典	合 計	油換算額
1913		—	7,661	1,312	6,555	—	—	—	15,528	6,987
19		—	17,477	18,193	115,435	631,914	—	—	833,019	374,859
20		—	871	9,770	103,234	633,839	—	—	750,932	337,929
21		—	12,204	8,592	39,899	493,738	—	—	559,433	251,745
22		—	3,317	2,807	46,344	462,545	—	—	508,880	228,906
23		—	1,276	9,157	73,573	561,216	—	—	645,222	290,350

1. 白耳義及英國には少量のパルムカーネル油を含む。
2. 輸入額(正味輸入額)以上輸出超過額。
3. パルム油の含油量5%を基礎とす。

### 第五節 綿實油及綿實

供 給

合衆國の綿實油輸出額の減少は、一九二三年以來の植物油及油實の國際貿易外に於ける著しい特徴となつてゐる。一九二三年に於いては、原始生産諸國の綿實油輸出額は僅か七千六百萬封度即ち一九二三年の輸出額の四分の一以下であつた。然るに綿實の輸出額、特に埃及及英領印度のものは増加してゐたが、併し油の輸出額の減退を補ふ程のものではなかつた(第十八圖參照)。第百六十五表は一九二三年の綿實輸出額は七億三千七百萬封度、一九二三年



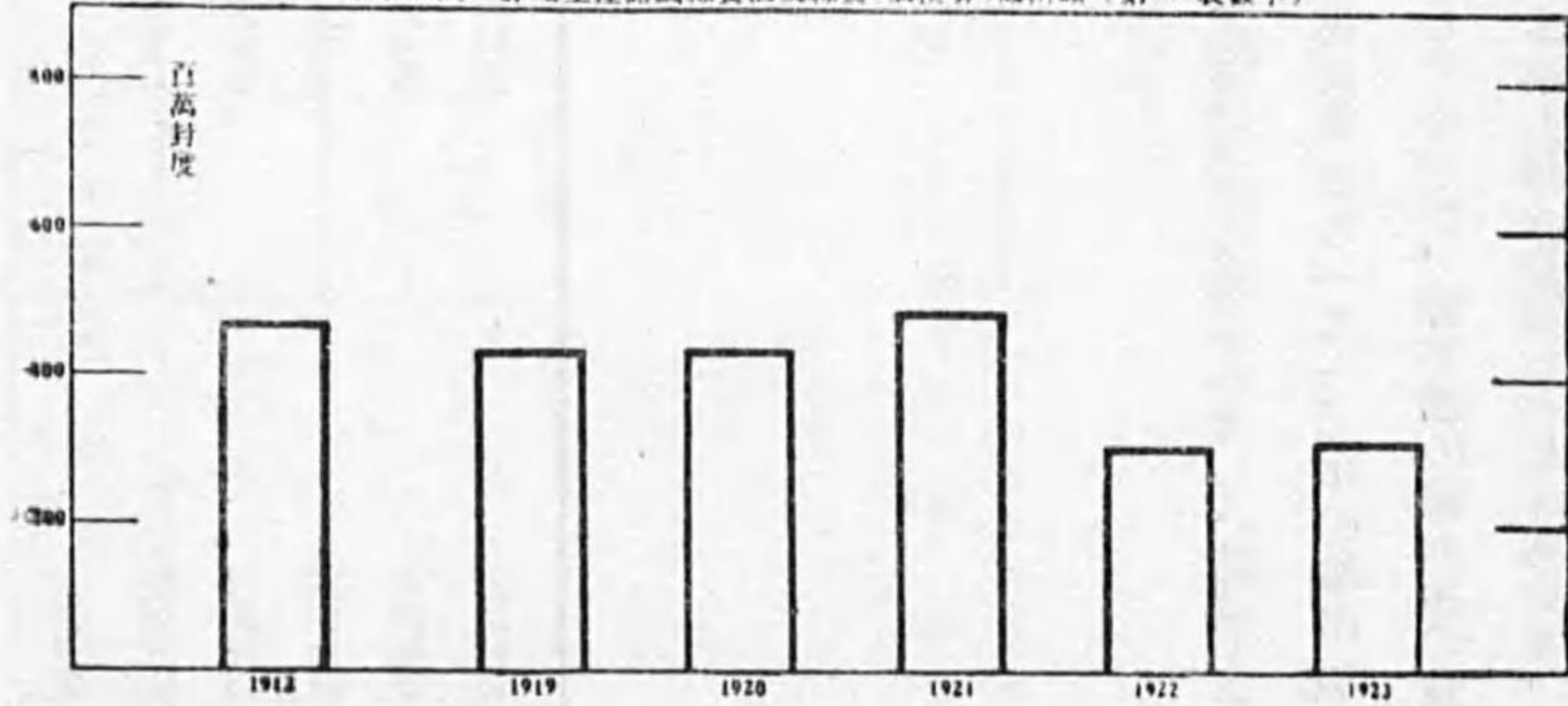
には十三億四千五百萬封度であり、夫々油の一億三千三百萬封度及二億四千二百萬封度に相當することを示してゐる。綿實油及綿實(油換算量)の總計輸出額は一九一三年の四億六千一百萬封度から一九二三年の三億一千八百萬封度に減少した。

一九一三年に於ては、合衆國は單に最大の生産國及消費國であるばかりでなく、又最大の輸出國として綿實油業界に優勢な地歩を占めてゐた。同年以後に於ける同油の國際輸出額の減少は殆んど全部合衆國輸出の衰退の結果であつた。この變化に關する理由は後に詳論しやう。  
(九六頁參照)

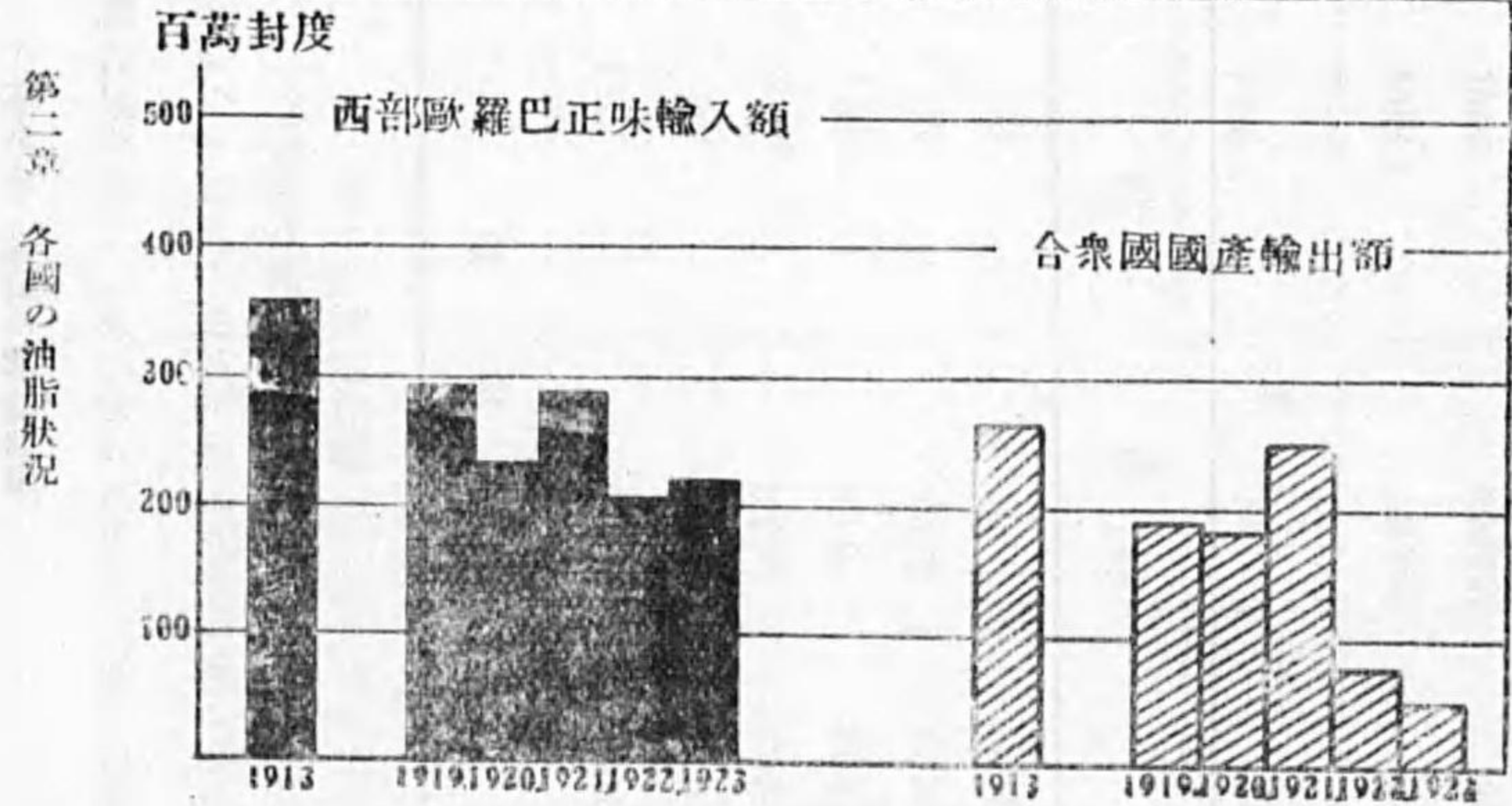
消費

植物油の國際貿易界に於て綿實油の重要性が減じたのは西部歐羅巴に於ける正味輸入額の統計の明らかに示す所である。この統計は今の場合消費に相當するものと見

第十八圖 原始生産諸國綿實油及綿實(油換算)輸出額(第165表數字)



第十九圖 綿實油及綿實(油換算)正味輸入額(第153及166表數字)



做して差支あるまい。埃及及英領印度の輸出綿實は殆んど洩れなく英國にて壓碎される。

第六十六表に依れば西部歐羅巴七ヶ國の綿實油正味輸入額は一九一三年に於けるより一九二三年に於ける方が小であつた。(第十九圖參照)一九一三年に於ける西部歐羅巴の綿實油消費額は椰子油或は落花生油の消費額と同様であり、パルム油及パルムカーネル油の消費額合計の約三倍に當り、大豆油消費額の五倍以上であつた(第六十七表參照)。

一九二三年に於ては、綿實油の消費額は椰子油消費額或は落花生油消費額の半分以下であり、パルム油及パルムカーネル油の消費額合計の半分より稍多く大豆油の消費額の僅かに二倍であつた。獨逸にも同様の變化が起つた。一九一三年に於いては綿實油は、椰子、大豆、落花生、綿實パルム及パルムカーネルの六植物



第二章 各國の油脂狀況

油の消費額合計の約二〇%に當り一九二三年には之等油の消費合計の四%以下に當つた

第百六十五表 原始生産者國綿實油及綿實輸出額 (單位=ト封度)  
(國際農業協會報告及政府貿易報告)

綿 實 油

年 度	埃 及	支 那	英領印度	アラビヤ	合衆國以外 各 國	合 衆 國	總 計
1913	4,641	8,861	—	—	13,502	1,815,233	328,735
19	444	25,715	—	4,919	31,078	193,313	224,421
20	3,138	12,042	—	7,596	22,776	184,787	207,563
21	3,741	2,939	—	10,618	17,358	252,553	269,911
22	9,984	1,020	—	4,827	15,781	75,303	91,084
23	25,061	1,336	—	—	26,397	49,548	75,945

綿 實 (1)

年 度	埃 及	支 那	英領印度	アラビヤ	合衆國以外合計	
					綿 實 量	油 換 算 量 <sup>a)</sup>
1913	97,312	24,322	481,289	109,744	712,667	128,280
1919	570,824	84,408	439,965	49,932	1,145,124	206,122

1920	814,701	70,477	328,512	51,948	1,265,638	227,815
1921	933,444	71,340	116,955	58,953	1,175,672	211,621
1922	726,253	49,230	333,730	64,061	1,167,354	210,124
1923	816,752	58,049	410,350	59,769	1,344,911	242,084

綿 實 (II)

年 度	合 衆 國	總 實 量		油 換 算 量 <sup>a)</sup>
		綿 實 量	油 換 算 量 <sup>a)</sup>	
1913	24,043	736,716	131,887	
19	1,919	1,147,043	206,410	
20	5,270	1,270,908	228,605	
21	2,827	1,178,499	212,045	
22	3,638	1,170,992	210,570	
23	—	1,344,911	242,084	

綿實量及綿實油の綿實換算量合計 (1)

年 度	埃 及	支 那	英 國	アラビヤ	合衆國以外合計	
					綿實換算量	油 換 算 量 <sup>a)</sup>
1913	123,035	73,550	431,230	103,744	787,678	141,782

第二章 各國の油脂狀況



第二章 各國の油脂狀況

八六

19	773,991	297,254	439,965	77,260	1,317,780	237,200
20	882,184	137,377	828,512	94,148	1,392,171	250,591
21	934,227	88,001	116,985	112,942	1,272,105	228,979
22	781,442	48,947	333,760	90,378	1,255,027	225,905
23	955,980	65,471	410,350	59,760	1,491,561	268,481

綿實量及綿實油の綿實換算量合計 (II)

年 度	合 衆 國	總 計		
		綿 實	換 算 量	油 換 算 量
1913	2,125,602	2,913,280	460,622	
19	1,290,872	2,608,652	430,831	
20	1,237,182	2,629,354	436,168	
21	1,686,514	2,958,619	481,956	
22	505,658	1,760,685	301,754	
23	330,320	1,821,881	318,029	

1. 會計年度。
2. 油の輸出額数字不詳。
3. 綿實含油量18%を基礎として諸外國にて換算せり。
4. 綿實含油量15%を基礎として合衆國にて換算せり。

第百六十六表 西部歐羅巴綿實油及綿實正味輸入額 (單位=丁割度)  
(1913—21年、合衆國商務省年報第百二十三號。1921年以後政府貿易報告)

年 度	綿 實 油															
	和 蘭	白 耳 義	丁 株	佛 蘭 西	英 國	伊 太 利	瑞 典	合 計	和 蘭	白 耳 義	丁 株	佛 蘭 西	英 國	伊 太 利	瑞 典	合 計
1913	58,010	7,431	8,912	17,498	19,770	23,377	5,245	107,004	30,934	1,916	6,116	19,449	17,399	39,212	1,109	105,496
19	30,934	977	8,388	9,448	38,288	7,801	3,340	93,406	14,031	2,542	13,115	8,874	17,502	23,511	2,359	55,125
20	14,031	1,916	6,116	19,449	17,399	39,212	1,109	93,406	6,576	950	8,301	4,419	13,659	430	904	139,469
21	6,576	2,542	13,115	8,874	17,502	23,511	2,359	93,406	10,551	950	8,301	4,419	13,659	430	904	12,065
22	10,551	950	8,301	4,419	13,659	430	904	12,065	17,655	2,373	3,754	6,629	1,297,465	18	1,354	2,324
23	17,655	2,373	3,754	6,629	1,297,465	18	1,354	2,324								

綿 實

年 度	綿 實															
	和 蘭	白 耳 義	丁 株	佛 蘭 西	英 國	伊 太 利	瑞 典	合 計	和 蘭	白 耳 義	丁 株	佛 蘭 西	英 國	伊 太 利	瑞 典	合 計
1913	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
19	132	—	—	38,933	1,378,057	—	—	1,416,990	13,202	1,033,980	—	—	—	—	—	1,416,990
20	—	—	—	1,917	991,736	—	—	1,047,314	1,917	991,736	—	—	—	—	—	1,047,314
21	—	—	—	6,229	863,407	—	—	849,636	6,229	863,407	—	—	—	—	—	849,636
22	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
23	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

第二章 各國の油脂狀況

八七



21	1	2	1	1	675	1,085,316	1	1,082,640	194,875
22					58	1,217,586		1,217,526	219,155
23									

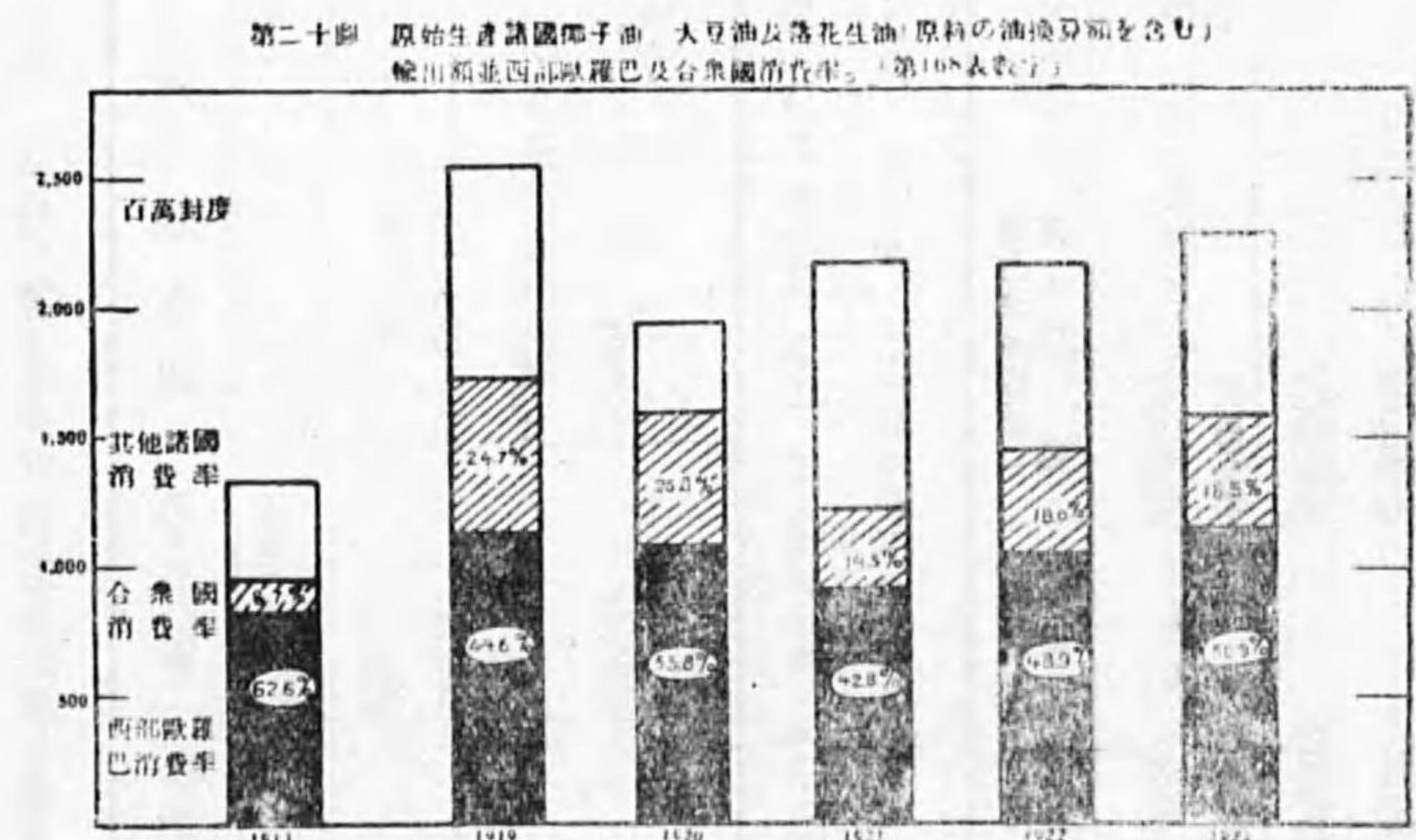
綿實油量及綿實の油換算量合計

年	度	和	蘭	白	丁	法	佛	西	英	國	伊	太	瑞	典	合
1913		58,010	7,431	8,912	24,506	228,280	22,677	5,246	362,062						
19		30,988	977	8,388	12,024	224,404	7,891	9,340	294,012						
20		14,031	1,916	6,116	19,623	160,824	30,212	1,109	233,831						
21		65,576	2,542	18,115	9,985	169,315	29,511	2,359	292,403						
22		10,671	950	8,301	4,297	181,338	409	904	206,940						
23		17,675	2,379	8,754	6,619	189,700	18	1,354	221,479						

1. 輸入額(正味輸入額)以上輸出超過額

2. 綿實含油量18%を基礎とす。

第六節 植物油貿易の恢復——西部歐羅巴及合衆國



第百六十七及百六十八表は植物油貿易状況を概観する爲に前掲諸表の数字を集めたものである。最近數年間に於ける西部歐羅巴の植物油貿易と戦前の夫れとを比較すれば、第百六十七表に示す如く、綿實油消費額の減少、他の諸油に比し落花生油消費の遅々たる進歩及大豆油バラム油バラムカーネル油の消費額の増加等が明らかとなる。西部歐羅巴に於ける三植物油の消費高と合衆國の夫れとを比較すれば、第百六十八表(第二十圖)に示す如くである。一九一三年の数字と比較するときは合衆國の消費高は西部歐羅巴の夫れより、遙かに急速に増加してゐる。原産諸國の輸出額の中合衆國消費向分量の割合も亦増加してゐる。



第百六十七表 西部歐羅巴植物油(原料の油換算量を含む)正味輸入額<sup>1</sup>(單位「封度」)

年	度	椰子油	大豆油	落花生油	綿實油	パルム及パルムカーネル油	合計
1913		889,627	236,449	420,165	362,062	114,225	1,329,728
19		648,229	188,024	297,430	244,012	621,167	2,048,862
20		498,645	88,087	497,364	233,831	560,082	1,878,609
21		470,690	62,507	394,682	292,403	347,772	1,568,054
22		433,913	102,850	475,207	206,940	408,640	1,677,550
23		593,537	135,679	499,382	221,479	414,315	1,804,392

1. 和蘭、白耳義、丁床、佛蘭西、英國、伊太利及瑞典。或年の数字は不完全(第158—165表参照)

第百六十八表 椰子油、大豆油及落花生油の國際貿易(原料の油換算量を含む)<sup>1</sup>(單位「封度」)

年	度	原始生産諸國の輸出額	西部歐羅巴正味輸入額	歐洲巴拿馬合衆國正味輸入額	消 費 比 率	
					西部歐羅巴	合衆國
1913		1,331,833	833,441	115,566	62.6	8.7
19		2,543,847	1,133,688	629,413	44.6	24.7
20		1,943,943	1,034,696	520,212	53.8	26.8
21		2,163,015	927,379	310,984	42.8	14.3

22		2,170,792	1,061,970	391,553	48.9	13.0
23		2,290,620	1,163,598	425,047	51.0	13.6

1. 和蘭、白耳義、丁床、佛蘭西、英國、伊太利及瑞典。

第百六十九表は主要諸國の豚脂の國際貿易を示す。之等諸國の正味輸入額は輸入額を基礎として、正味輸出額は輸出額を基礎として示してある。之等の数字は一九一九—一九二三年の各年のものと及一九〇九—一九一三年の五ヶ年平均とである。合衆國は按詳の輸出國で一九二三年には十億萬封度以上即ち一九〇九—一九二三年間の平均額の二倍以上の正味輸出額に達してゐることが判る。主要輸入國は獨逸及英國である。

第百六十九表 豚 脂 貿易 (單位「封度」)

主要諸國正味輸入額

年	度	白耳義	獨逸	佛蘭西	瑞 典	瑞 典	西 國	英 國	次 瑪
1909—13平均		7,337	203,697	11,410	2,058	3,648	196,995	61,894	
1919		25,501	—	90,751	22,119	27,131	220,139	55,184	
20		14,238	272,016	74,155	6,125	14,178	155,234	76,645	
21		28,655	322,070	69,544	5,923	18,078	270,454	83,331	



第二章 各國の油脂狀況

22	27,928	143,854	47,894	7,371	12,708	255,942	90,454
23	28,404	274,749	62,932	7,502	15,131	269,546	96,712

主要諸國正味輸出額

曆年	丁	抹	和	蘭	合衆國	自刺爾利	濠洲
1909—13平均	2	7,063	(3)	(3)	482,159	(3)	2,374
1919	(3)	(3)	(3)	(3)	760,902	44,140	7,909
20	597	8,105	16,919	868,942	11,458	24,597	3,075
21	3,446	2,868	24,520	766,950	4,334	—	—
22	—	—	—	—	—	—	—
23	9,657	40,399	1,035,382	—	—	31,931	—

1. 1911—13年平均。1909年及10年輸出超過。

2. 1910—13年平均。1909年輸入超過。

3. 輸入超過。

合衆國農務省年報(1923年度)及太公冊數字。

第七節 獨逸に於ける植物油消費額

一九二三年以前數年の完全な數字が得られなかつた爲に、獨逸は西部歐羅巴の名目の下に集めた諸國の中に加へなかつた。手に入れ得る限りの數字は第七十表に示す如くである。一九二二年に於ける椰子、大豆、落花生、綿實、バラム及バラムカーネル油の獨逸の正味輸入高合計は七億四千九百萬封度であり、一九二三年にそれは四億八千五百萬封度に減少した。之等の中椰子油及バラム油を合算すれば、一九二二年には五億七千六百萬封度(合計の七七%)一九二三年には三億六千五百萬封度(合計の七五%)を算した最大項目である。併しバラム油を除く之等の油の大部分は、原料のまま、輸入し獨逸にて壓搾する。若し油だけ(原料を除く)を考へるならば大豆油が最も重要であり輸入額は一九二二年に於ては九千萬封度に上つて居る、即ちそれは輸入油總額(原料を除く)の五二%である。一九二二及二三年に獨逸は西部歐羅巴の如何なる國よりも以上に大豆油を輸入した。獨逸の豚脂輸入額は英國に次ぐ(第六十九表参照)。一九二二—二三年の平均輸入額は約二億四千七百萬封度である。

第七十表 獨逸の植物油及油原料正味輸入額 (單位「封度」) (1922—23年、合衆國農務省年報) (第七十三號。1923年各種食料より)

年	度	椰	子	大	豆	落	花	生	綿	實	バラム及 バラムカー ネル	合	計
1913	19	—	53,532	—	6,922	—	35,725	—	—	35,802	30,557	77,030	

第二章 各國の油脂狀況



第二章 各國の油脂狀況

九四

20	—	4,930	—	—	—	—	—	—	—	150,989	155,619
21	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
22	62,658	90,312	615	5,873	13,961	24,313	173,414	—	—	—	173,414
23	87,711	56,326	48	9,397	24,313	—	127,704	—	—	—	127,704

含油原料

年	度	コ	ラ	大	落	綿	實	パ	油
年	度	ラ	豆	花生	實	パ	カ	合	
年	度	子	豆	生	實	カ	合	換	
年	度	額	豆	生	實	カ	合	算	
年	度	額	豆	生	實	カ	合	計	
1913		431,970	275,444	216,239	484,564	530,112	677,194		
19		—	—	—	—	—	—		
20		213,611	45,131	21,989	1,150	60,088	166,924		
21		—	—	—	—	—	—		
22		623,190	190,498	132,763	42,789	273,724	575,425		
23		317,204	137,348	89,145	48,695	249,731	357,607		

油及原料の油換算量

年	度	額	豆	花生	實	カ	合
年	度	額	豆	生	實	カ	合
年	度	額	豆	生	實	カ	合
年	度	額	豆	生	實	カ	合
年	度	額	豆	生	實	カ	合
1913		205,650	34,436	33,471	123,114	203,433	600,164

年	度	額	豆	花生	實	カ	合
年	度	額	豆	生	實	カ	合
年	度	額	豆	生	實	カ	合
年	度	額	豆	生	實	カ	合
年	度	額	豆	生	實	カ	合
19		—	—	—	—	—	—
20		128,167	9,443	7,020	207	177,706	322,543
21		—	—	—	—	—	—
22		436,567	109,361	49,499	13,575	139,837	748,839
23		228,033	75,861	26,563	18,162	136,392	435,311

1. 胡麻を含む
2. 輸入額(正味)以上輸出超過額
3. 椰子油及植物油製牛脂を含む
4. 各含油量コナラ60%大豆10%椰子32%綿實18%及パルマカーナ5%を基礎として換算す
5. イソツブ、ソーマ、蓖麻子を含む

第八節 總括

(一) 重要な植物油の國際貿易を研究すれば一九一三—二二年の十年間を三期間に分ち得ることが判る。第一期は一九一四年より一九九一年に至る間であり、この期間にかの大戦の結果西部歐羅巴及合衆國に於ける總ての油脂需要が激増し、従つて價格は騰貴し原産諸國の輸出額は増加した。第二期は一九二〇及二一兩年であつて全世界的商工業は不況に陥り價格は下落し原産國の輸出額は激減した。一九二一年に於いて植物油及油實(綿實油及綿實を除く)の貿易は尙一九一三年度の平均以上であつた。一九二二年以後即第三期には、より平常な營業狀態に復歸したので植物油の國際貿易も急速に恢復してゐる。



一九二一年に於ける合衆國の落花生及大豆油の輸出額が著しく減少したのは、一部は緊急關稅法に依り課稅された事に歸してもよからう。之に反し比律賓仕出の椰子油は無稅なる爲に前と同じである、この年に於ける植物油貿易額の減少は世界的のものであつた。西部歐羅巴の輸入額も亦其年には減少したが合衆國の輸入額程ではなかつた。一九二一年より二三年に至る間の合衆國の大豆及落花生油の輸入額は同期間中の西部歐羅巴に於ける之等の油の輸入額と同じ割合では恢復しなかつた。

(二) 第六十一及百六十三表は西部歐羅巴の大豆油及落花生油の輸入額(大豆及落花生の油換算量を含む)が合衆國の綿實油輸出額の減少しつゝあつた一九二一—二三年間に増加したことを示してゐる。貿易者方面の報道に依れば歐羅巴の消費家はあらゆる方面を考察した結果東洋産の諸油が合衆國の綿實油より安價なることを認め、その爲に兩者を取換へたのである。この事は人造バター製造業の場合には特に目立つてゐる。

合衆國輸入税の影響を受けて起つた大豆及落花生油の變化を叙述する前に、或る附帶的事實を考究して見なければならぬ。

A 合衆國の綿實油輸出額減退の傾向は一九二一年よりも數年前から既に著しかつたのである(第五十三表参照)。この變化は他の農産物——例へば牛肉及小麦の如く大輸出超過品から主要なる内國市場向生産品に變つたと認めらるゝ傾向と同一線上にあつた。

B 食用上の用途に綿實油の代りに低廉な油を代用する傾向は、歐羅巴に於て一九二一年よりも數年前から戦時

需要に刺戟されて進捗してゐた。精製法及水素添加(硬化)法の改良の結果安價なる原料を實際に使用する様になつて來た。——例へば人造バターの如き生産品を製造するに大豆油、鯨油及魚油等を使用する如きである。

C 一九二一年以來西部歐羅巴の製油業は戦時状態により阻碍された活動を回復してゐる。今日では落花生油及椰子油の油輸入額は減少し、歐羅巴諸國の植物油供給額の大部分はコブラ、落花生、大豆及パルムカーネル等の原料の形で輸入されてゐる。合衆國仕出綿實油の代りに印度及埃及仕出綿實輸入額の増加はこの一般的傾向と同じ道を辿るものである。

D 一九二一年に伊太利が綿實油に、他の植物油よりも高率な輸入税を課したので伊太利向の合衆國産綿實油の輸送は阻止された。

E 一九二〇—二四年間に合衆國の綿實油生産額が異常に減退したことは、東洋産の油に課税したこと、は別箇に當然輸出額を減少せしめる一因となるであらう。併し輸出額の減少は生産額の減少に比して遙かに大きい。換言すれば國內市場に於ける綿實油價が外國に於ける價格よりも高價であつたからである。

F 一九二一—二三年間に於ける合衆國の豚脂生産高は非常に多額に達した。而してその價格は綿實油に比して他の食用油に比しても安かつた(第六及第二十一圖。第四百四十四及百七十二表参照)。豚脂の輸出額は急速に増加し歐羅巴、中央亞米利加及南亞米利加の市場にて少くも或程度にまで國産綿實油と入れ變つた(第五百十四表参照)。伊太利に於て米國産綿實油の代りに米國産豚脂を代用することは殊に著しい、而して一九二三年六



月九日付勅令に依る豚脂輸入税の免除が之を助成した。斯くして米國の大豆油及落花生油輸入に對する課税は米國産綿實油輸出額を減少に導いた各種の原因中の一原因に過ぎぬことが判然となるであらう。

## 第三章 油脂の價格

### 第一節 序 論

本章の價格研究の目的は(一)油脂の代用性に關して他の方面の資料から今迄の説明を補ふこと及(二)一九二一及二二年に課した輸入税が有税油の價格に如何なる影響を及ぼしたかを指示することである。

研究の計畫は次の如きものである。

(一)八種の油脂(即ち牛脂、豚脂、綿實油、椰子油、玉蜀黍油、大豆油、バター及人造バター)の價格を相互に比較し同時に一般物價平均と比較する罫線を示して一九一三年より二四年に至る期間の之等の油脂の價格の變動狀況を調査すること。

(二)一九二〇—二四年間に於ける十四種の油脂の毎月の價格變化をより詳細に研究すること。十四種中には前項に述べた八種の油脂並に落花生油、鯨油、マンハーデン油、ユネロリグリス、ホワイテグリス黄軟脂、白軟脂及パルム油等を含む。之等のうち數個のものは一九一五—一九年間に於ける價格の變動が激しかった爲に戦前時代より繼續した値段表を得ることが出來

なかつた。この期間(一九一五—一九一九)を始めとする物價研究より得る結論であるから其の價値は大いに疑はしい。それ故毎月の累月値段表は一九二〇—二四年に限つた。十四種の油脂を用途上より分てば食用と非食用とに、其の本質に従つて分てば植物性と動物性とに分ち得る。

(三)本調査の主目的たる油(即ち綿實、椰子、落花生及大豆)の價格を同類(例へば植物油、食用油、或は非食用油)の平均價格と比較する。各相場表を又外國市場に於ける相場表と比較し且つ出來る限り製油原料の價格とも比較する。

### 第二節 主要油脂の價格

第二十一圖及第百七十一表には一九一三—二四年間の主要油脂並に之等の油脂の誘導物の年平均價格を示す。一般物價平均の變化に對する之等の價格變動の關係は第百七十二表に示す如くである。一九一五年の初めに油脂の價格は總ての商品と共に急騰し一九一八年及一九九年には頂點に達した。烈しい衰退が一九二〇年に始り約一九二二年の中頃まで續いた。一九二二年以後、總ての物價が漸次に上騰したが其の中に油脂(椰子油を除く)の一般價格も種々雑多な程度の騰貴をしてゐる。綿實油は一九二四年の物價平均と實際同等であつた。大豆油及玉蜀黍油は他の商品よりも可成(一九一三年の價格に比して)高かつたが豚脂、牛脂及椰子油は一九一三年よりも比較的廉い。バター及人造バターは一般物價平均以下で他の食料品に比しても比較的廉い。

一九一三年以後、油脂價格の比較上に重大な變化が起つてゐる。第百七十表に示す油の中で一九一三年に最低値段



であつたものは大豆油及玉蜀黍油であり、最高値を占めてたものは椰子油であつた。處か一九二四年には椰子油は第五位に落ち、大豆油は第二位に騰つた。一九一三—一四及一九二一—二四年に於ける各種の油の價格高氏(第七十一表に示す品柄及市價)に従つて其の順位を次の一覽表に示した。

第七十表各種油脂年平均値段順位年表

種別	年		1913	1914	1921	1922	1923	1924
	度	度						
豚脂	2	2		2	1	1	1	1
椰子油	1	1		1	2	5	5	5
綿實油	3	3		4	a	3	4	4
牛脂(非食用)	4	4		3	6	6	6	6
玉蜀黍油	a	6		6	5	a	3	3
大豆油	a	6		5	3	2	2	2

。順位数の重複せるは價格ノ等しきを示す(第171表参照)

第七十一表 油脂の價格

(封度 單位值)

(合衆國農務統計局報  
第335號及336號以下)

年	度	牛脂 <sup>1</sup>	豚脂 <sup>2</sup>	綿實油 <sup>3</sup>	大豆油 <sup>4</sup>	落花生油 <sup>5</sup>	玉蜀黍油 <sup>1</sup>	椰子油 <sup>6</sup>	バター <sup>7</sup>	人造バター <sup>8</sup>
1913		7.1	11.0	7.3	6.1	—	6.1	12.0	32.3	16.3
	14	6.9	10.4	6.6	6.3	—	6.2	12.2	29.9	16.1
	15	6.9	9.4	6.8	6.3	—	6.3	12.3	29.0	15.8
	16	9.9	13.5	10.6	8.9	11.0	9.6	15.1	34.1	17.7
	17	15.6	21.7	15.4	14.2	15.3	14.5	17.1	42.7	25.5
	18	17.9	25.5	20.1	18.3	18.2	18.0	18.1	51.6	29.5
	19	15.4	29.0	24.1	16.7	18.7	17.5	17.4	60.5	34.3
	20	13.1	20.0	15.4	15.2	13.5	15.0	17.4	61.4	31.8
	21	6.4	11.1	7.9	7.9	6.9	8.4	10.1	43.4	20.8
	22	7.1	11.5	10.1	10.9	9.6	10.1	8.4	40.6	18.3
	23	8.2	12.3	11.3	11.7	13.0	11.6	10.2	46.8	20.9
	24	8.5	13.3	10.8	12.4	11.8	11.9	10.6	42.7	22.2

1. 上等雜糧物、市俄古。

2. 上等契約物、紐育。

3. 上等サムワーイエロー、紐育。

4. 粗製油、樽詰、紐育。

5. 粗製油、工場渡し。

6. 粗製油、太平洋沿岸、1923年初、紐育向値段。



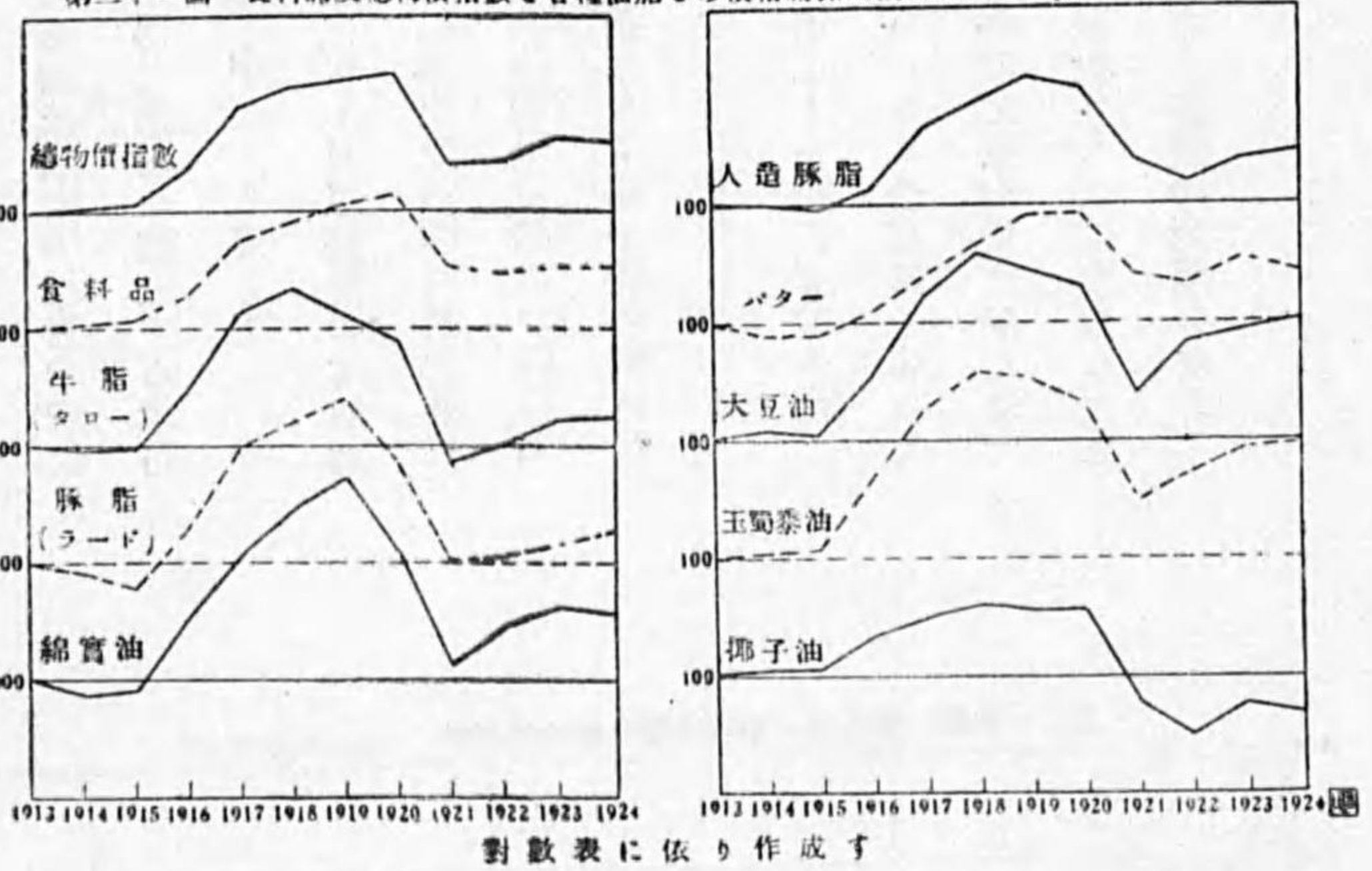
7. パター製造所、特製品、粗膏。  
8. 標準、無色、市俄古。

第七十二表 油脂一般商品及食料品価格指數對照表 (1913年基準) (合衆國勞働統計報告第35號及續號)

年 度	總 商 品	食 料 品 價 格	牛 脂	豚 脂	綿 質 油	船 賃 油	大 豆 油	玉 蜀 黍 油	椰 子 油	パ タ ー	人 造 パ タ ー
1913	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
14	100	102	97	94	91	103	102	102	102	93	99
15	103	105	98	85	94	102	104	103	103	93	97
16	128	121	140	122	147	146	158	126	126	106	109
17	188	167	220	197	212	232	239	142	132	132	157
18	206	183	254	232	277	299	297	151	160	160	182
19	215	207	217	264	332	273	288	145	145	183	211
20	225	220	185	181	212	248	247	145	190	190	196
21	182	144	90	101	109	130	139	84	134	134	128
22	184	138	100	104	139	178	165	70	126	126	113
23	154	144	116	112	155	190	191	85	145	145	129
24	150	144	120	121	149	202	196	79	132	132	136

第三章 油脂の価格

第二十一圖 食料品及總物價指數と各種油脂との價格關係比較對照表 (第172表數字)



第三節 食用油及非食用油の價格比較

第八十一表及第二二圖は重要食用油六種の毎月平均相場表を示し第八十二表(第二三圖)は非食用油油脂八種の毎月平均價格數字を示す。

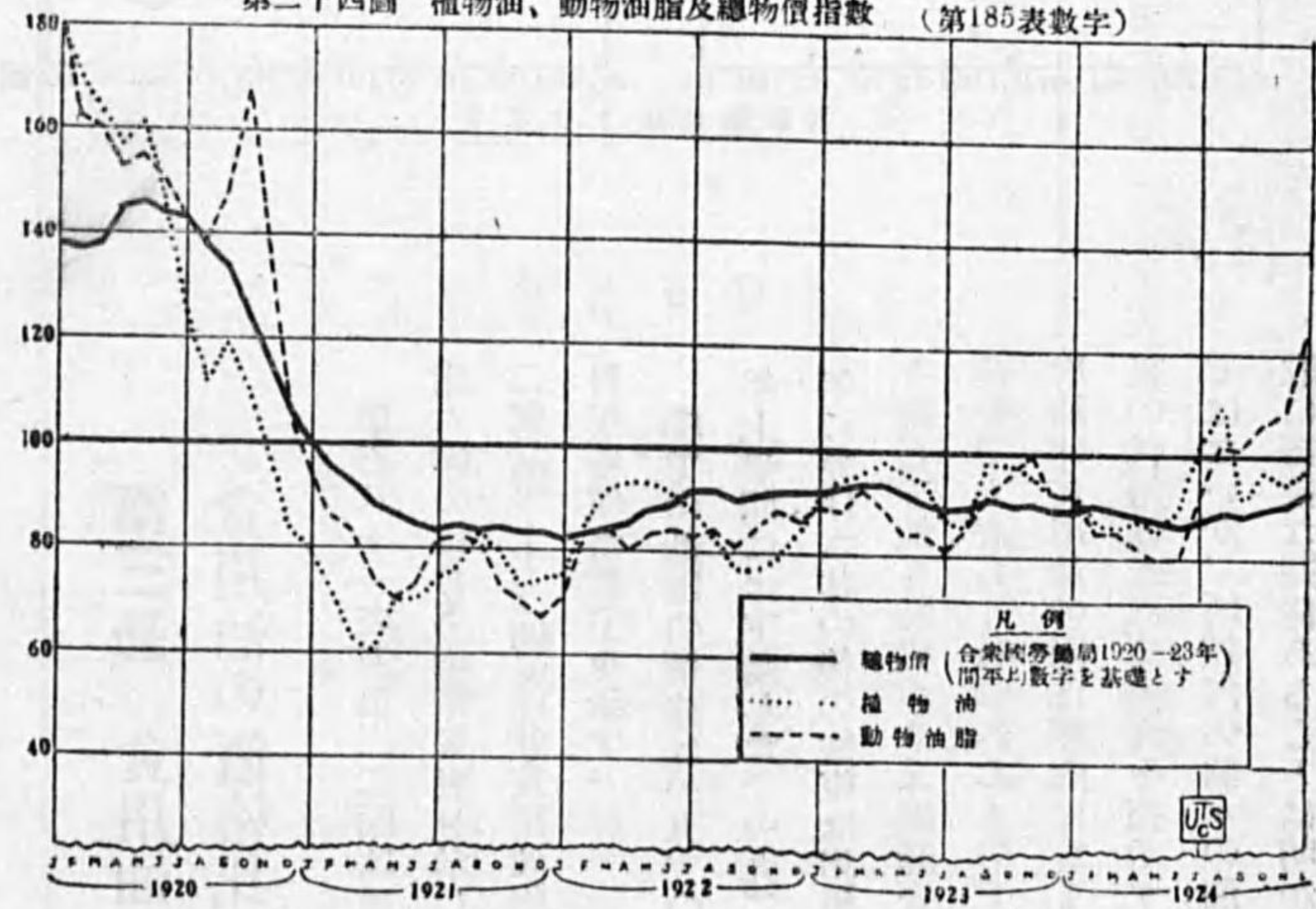
總ての油脂の價格は一九二〇年及二一年上半期には下落した。一九二三及二四年に於ける其の後の恢復は相場表中前後を通じて最も特徴あり又總卸賣價格の昇線中でも著しく特徴あるものである。食用油非食用油の兩部類内に於ては、無際限の代用性或は交換性を指示する程密接ではないが、同類内の個々の油脂間に一般に密接な關係あることは明かである。



如斯く物價圖表は油の特質に基く交換性を研究して得た結論及油脂の消費の變化を分析して取り得た結論を確定する傾向がある。食用類中にある最も著しい特徴は(A)一九二二年十月以後他の食用油の平均價格以上に落花生油の價格が騰貴したこと及(B)この類中の油は一般に上向の傾向あるに拘はらず椰子油の價格が固定的傾向を有することである。

同様な状態は第二十一圖にも示されてゐる。無税油即ちパルム油及椰子油(此律賓仕出)の價格の比較的堅實なのは一九二一年五月に課税さるゝに至つた大豆油の上向の動き方と好個の對照をなしてゐる。

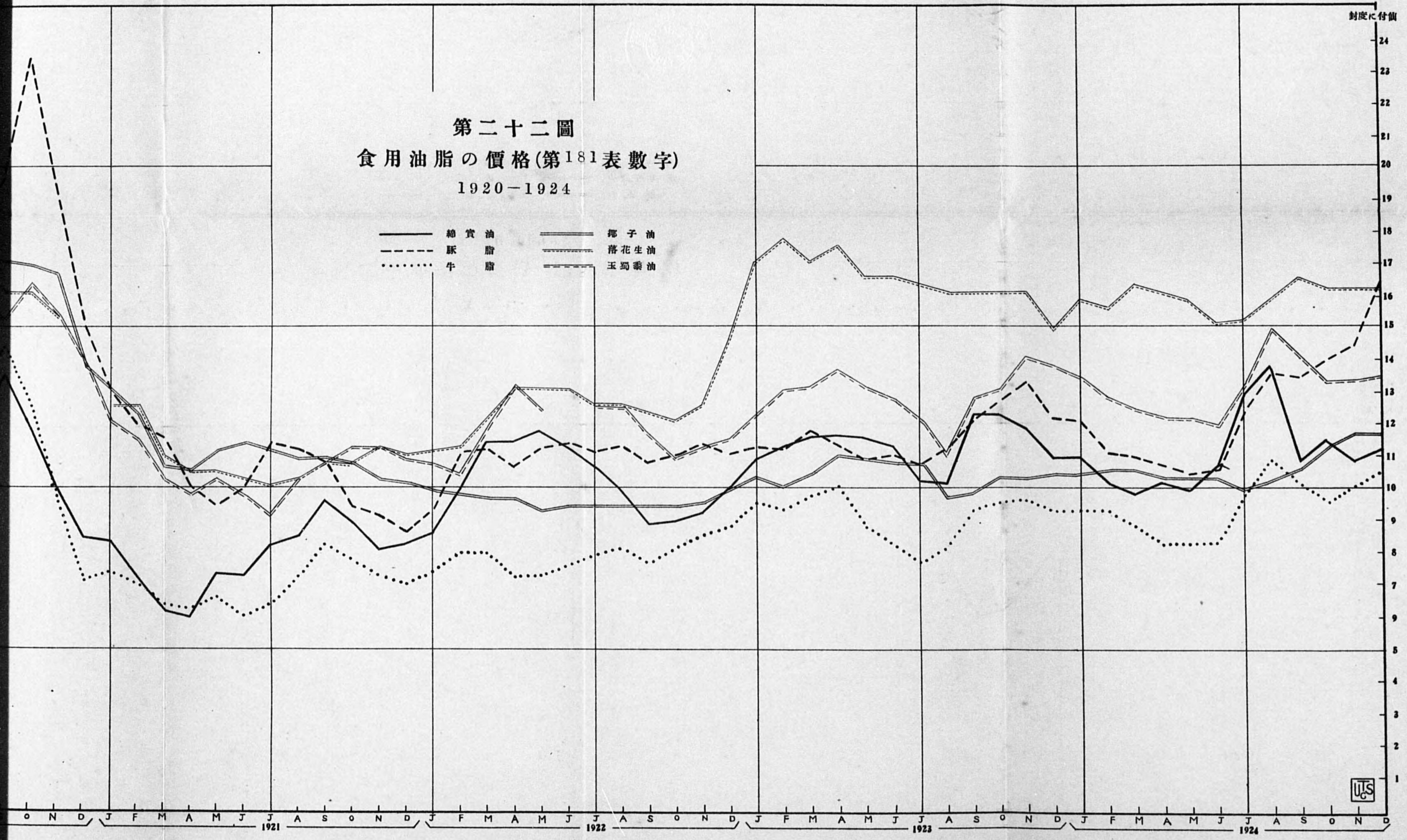
第二十四圖 植物油、動物油脂及總物價指數 (第185表數字)





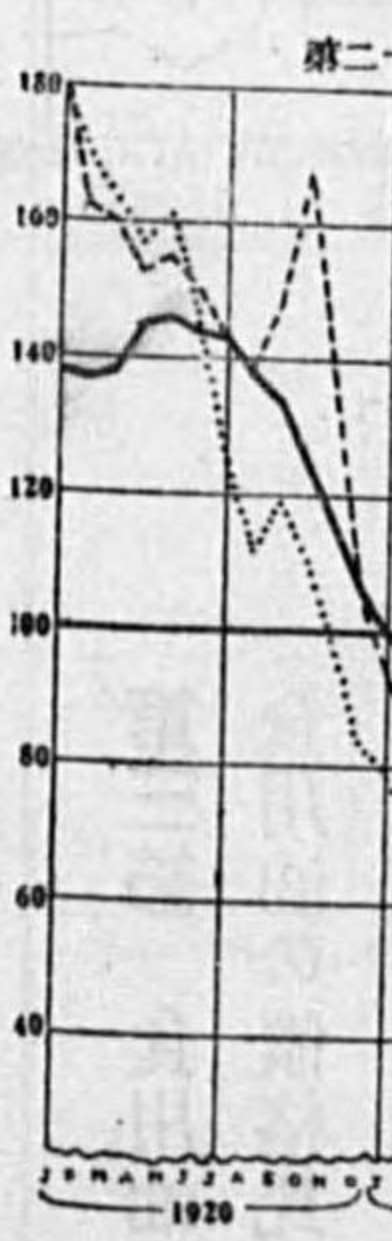
第二十二圖  
食用油脂の價格(第181表數字)  
1920-1924

——	總實油	——	椰子油
- - -	豚脂	——	落花生油
.....	牛脂	——	玉蜀黍油



0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24

九二一年五月に課税さるゝに至つた大豆油の上向の動き方と好個の對照をなして



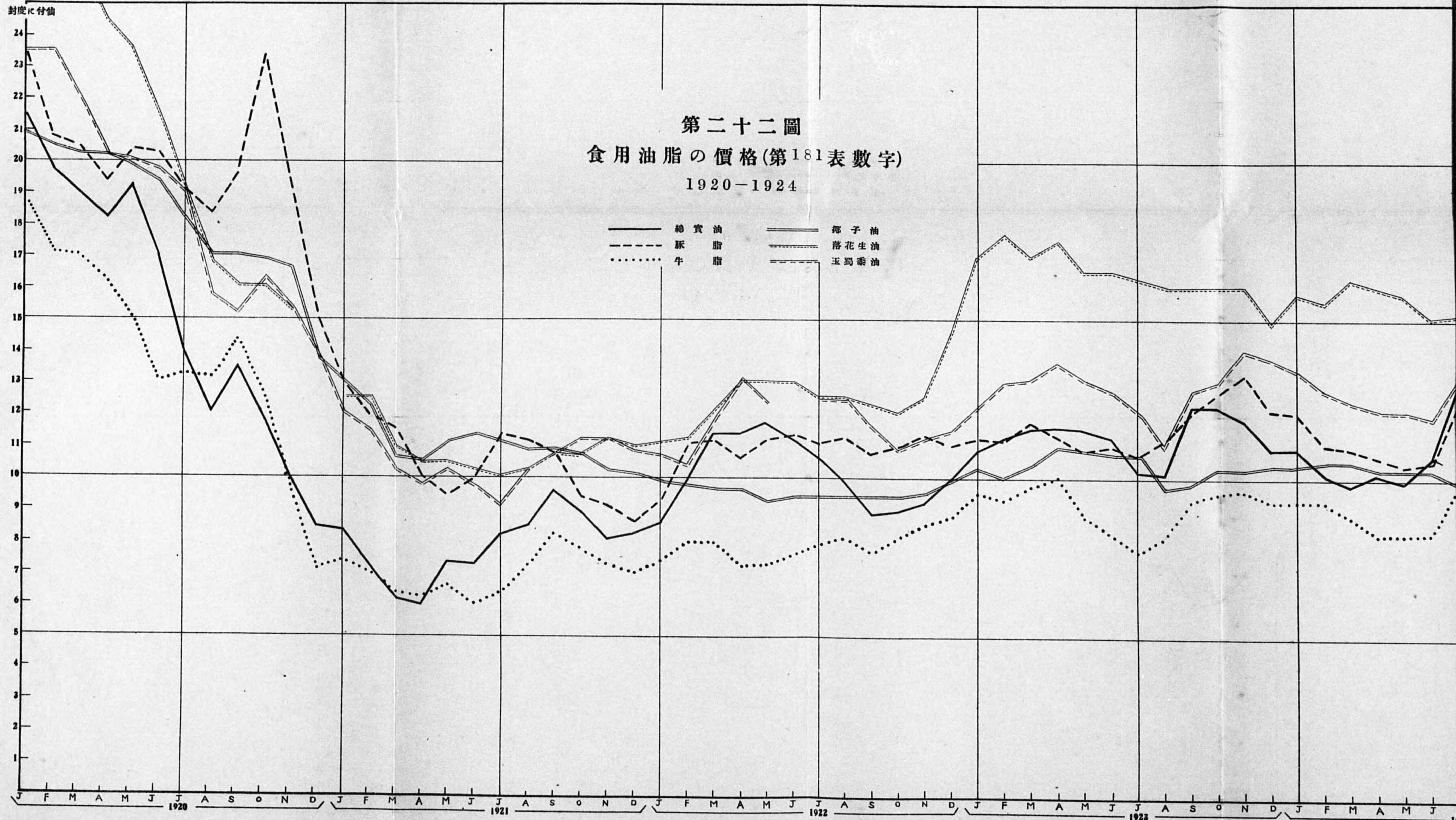
UTS



封度に付仙

第二十二圖  
食用油脂の價格(第181表數字)  
1920-1924

—— 總實油      —— 椰子油  
- - - 豚脂      - - - 落花生油  
..... 牛脂      - - - 玉蜀黍油

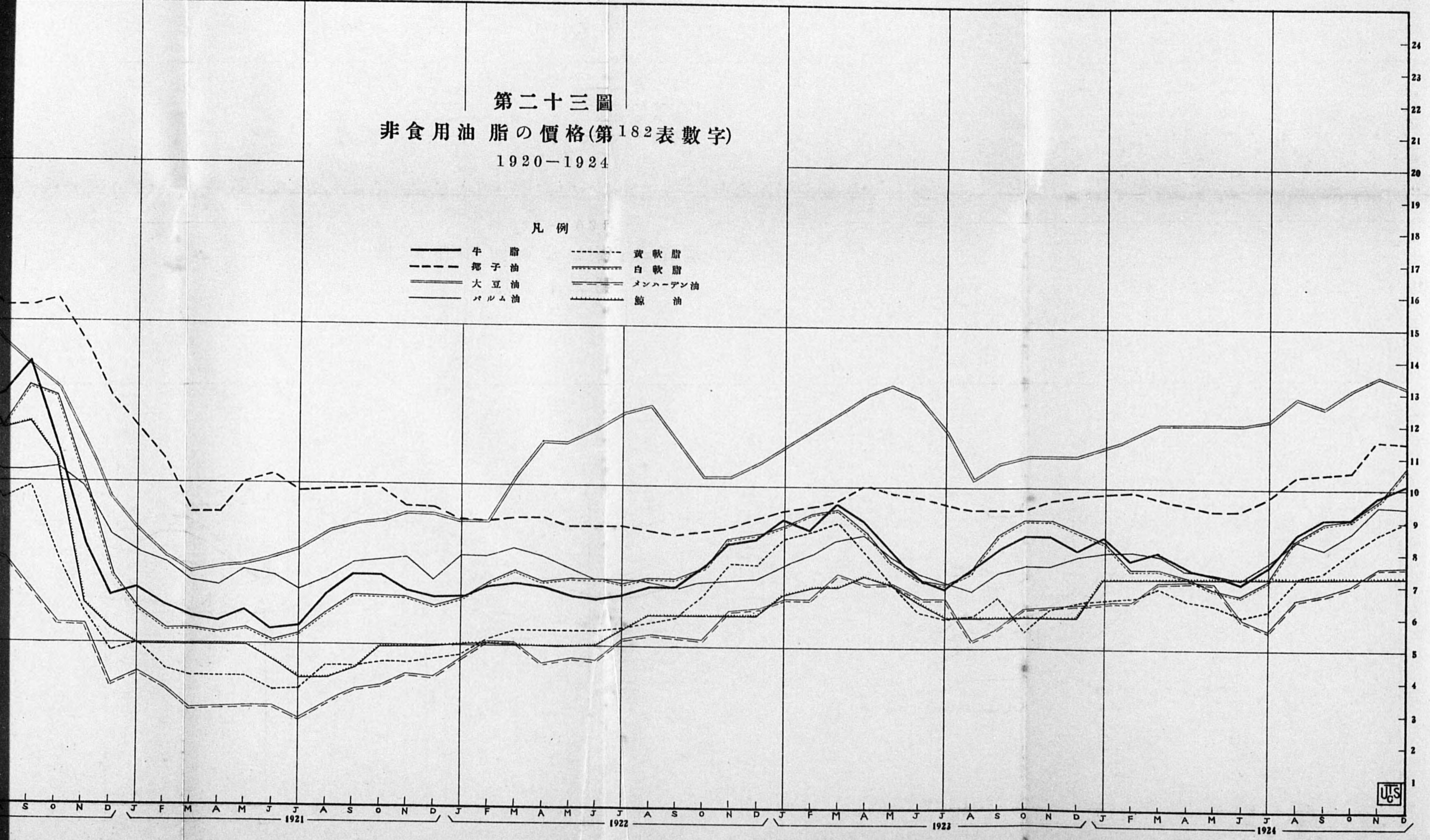




第二十三圖  
 非食用油脂の價格(第182表數字)  
 1920-1924

凡例

- |         |      |       |         |
|---------|------|-------|---------|
| ——      | 牛 脂  | ----- | 黄 軟 脂   |
| - - - - | 椰子油  | ====  | 白 軟 脂   |
| ====    | 大豆油  | ===== | メンハーデン油 |
| ——      | パルム油 | ----- | 鯨 油     |



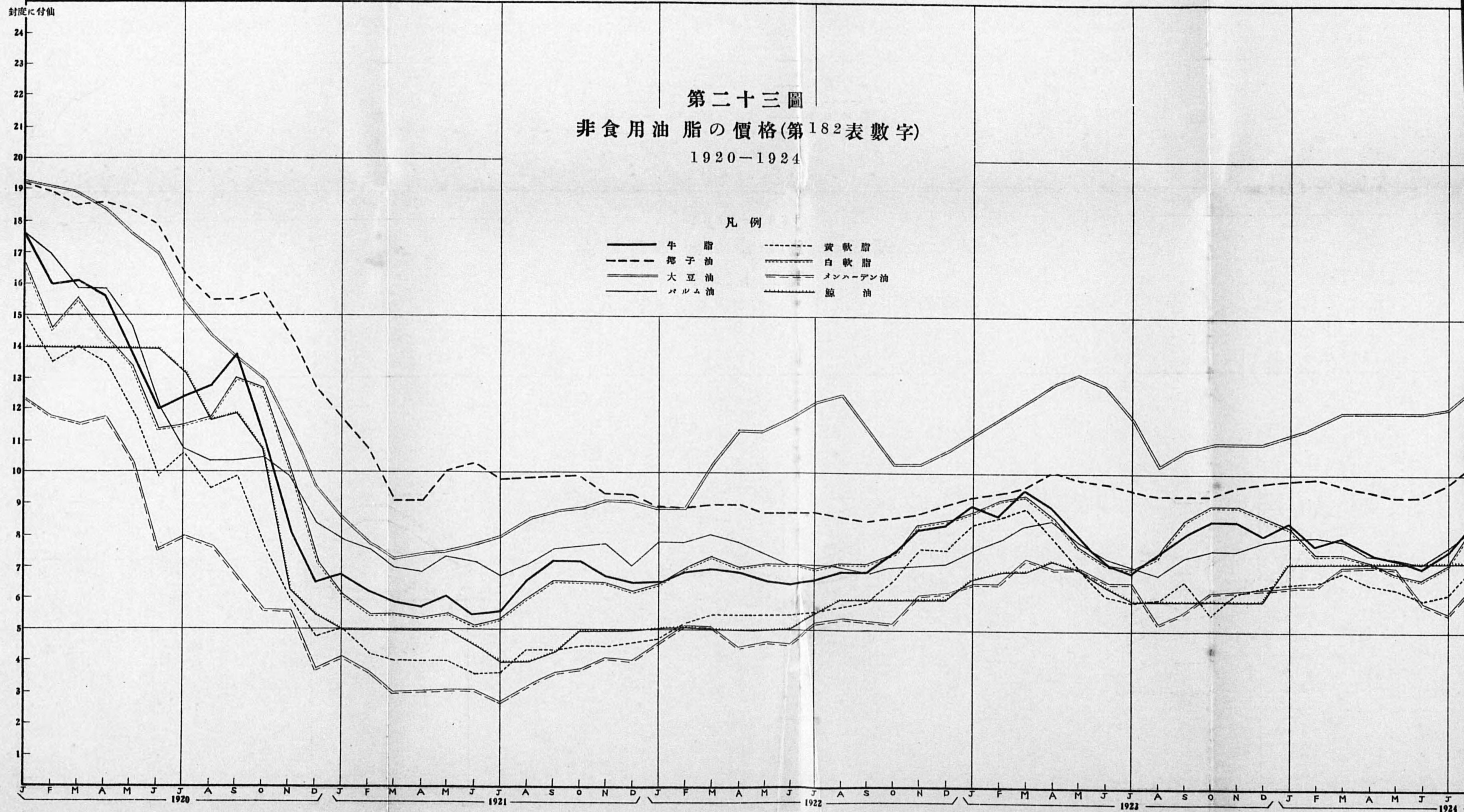


封度に付仙

第二十三圖  
非食用油脂の價格(第182表數字)  
1920-1924

凡例

- |         |       |         |         |
|---------|-------|---------|---------|
| ——      | 牛 脂   | - - - - | 黄 軟 脂   |
| - - - - | 椰 子 油 | ~~~~~   | 白 軟 脂   |
| ====    | 大 豆 油 | =====   | メソハーデン油 |
| ——      | パルム油  | ~~~~~   | 鯨 油     |





#### 第四節 植物油及獸油の價格比較

第百八十四及百八十五表は各其の本質により植物油類と動物油類とに分類した油脂の價格を示す。兩種類の加重平均價格は一九二〇年より二三年に至る四ヶ年平均價格を基準とした指數で計算したものである（實際價格の加重合計を得た。第一、各油の一九二〇年より二三年に至る四年間、平均價格及生産數字を計算した、便宜上個々の油の平均生産數字を當該分類油合計の百分比の各項とした。それからこれ等の百分比をウェイトとして用ひて月々の加重平均を計算した、この指數を得る爲に毎月加重平均を四年間の加重平均で割りその商を百倍した。田畑大豆油及「ラゴ」第十四圖にはこの指數を總物價指數とス産パルム油」の項目に於いては國內生産數字の無いために消費數字を使用した。）第十四圖にはこの指數を總物價指數と比較した。此の表及圖表に依ると動植物油の價格の下落は總物價の下落よりも甚だしかつたことが解かる。而して油類の價格の恢復が總物價の昂騰よりも幾分か急速であるだらうと當然考へらるゝ。一九二四年に於ける植物油の價格指數は（一九二〇—二三年間を基準として計算す）九三であり獸脂九五、總物價は八九であつた。

#### 第五節 各油脂の價格變動

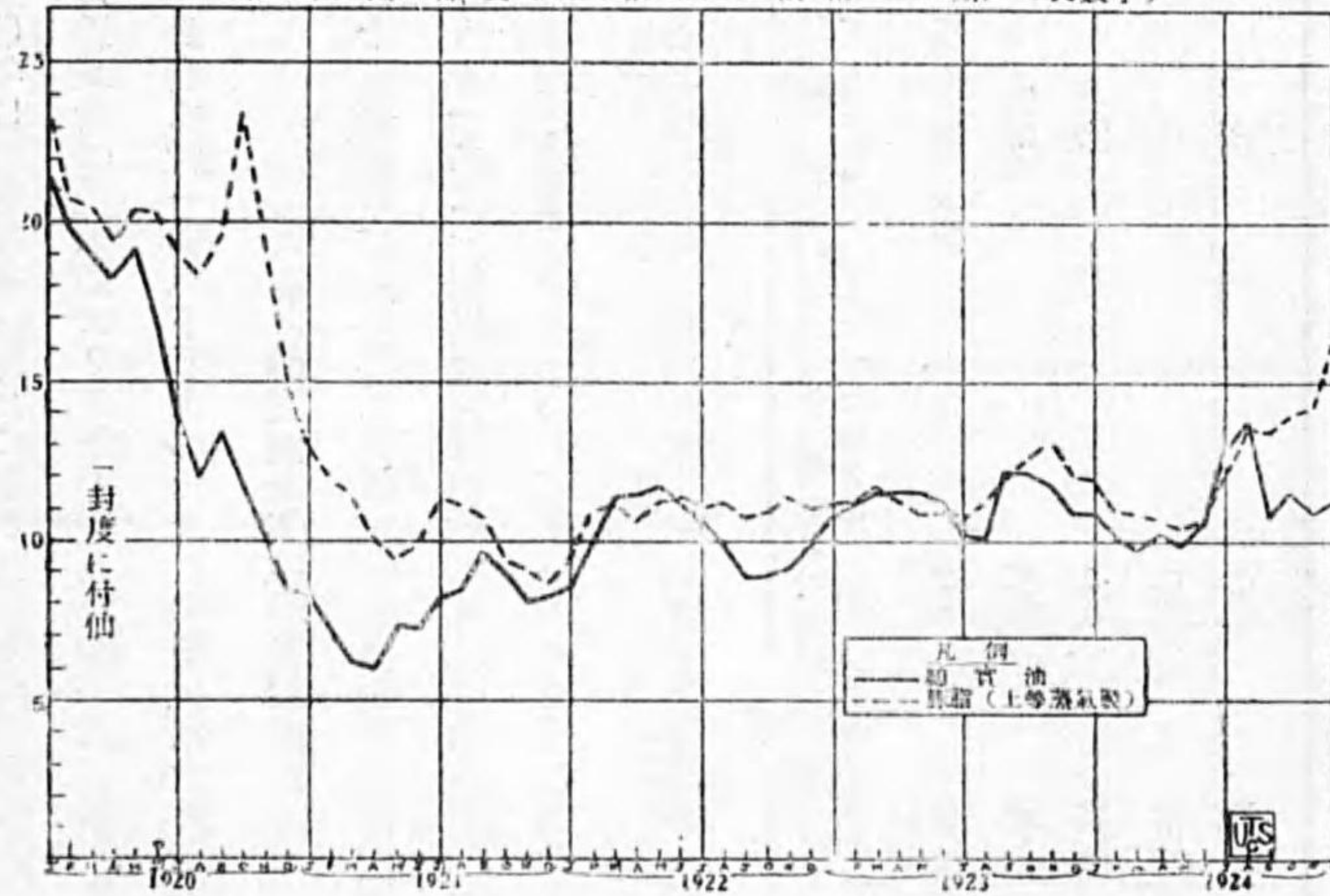
##### 綿實油及豚脂

綿實油及豚脂は食用油脂の國內商業を支配する二大商品である。純豚脂は綿實油の主要なる競争品であるといふのは綿實油を人造豚脂に使用するからである。

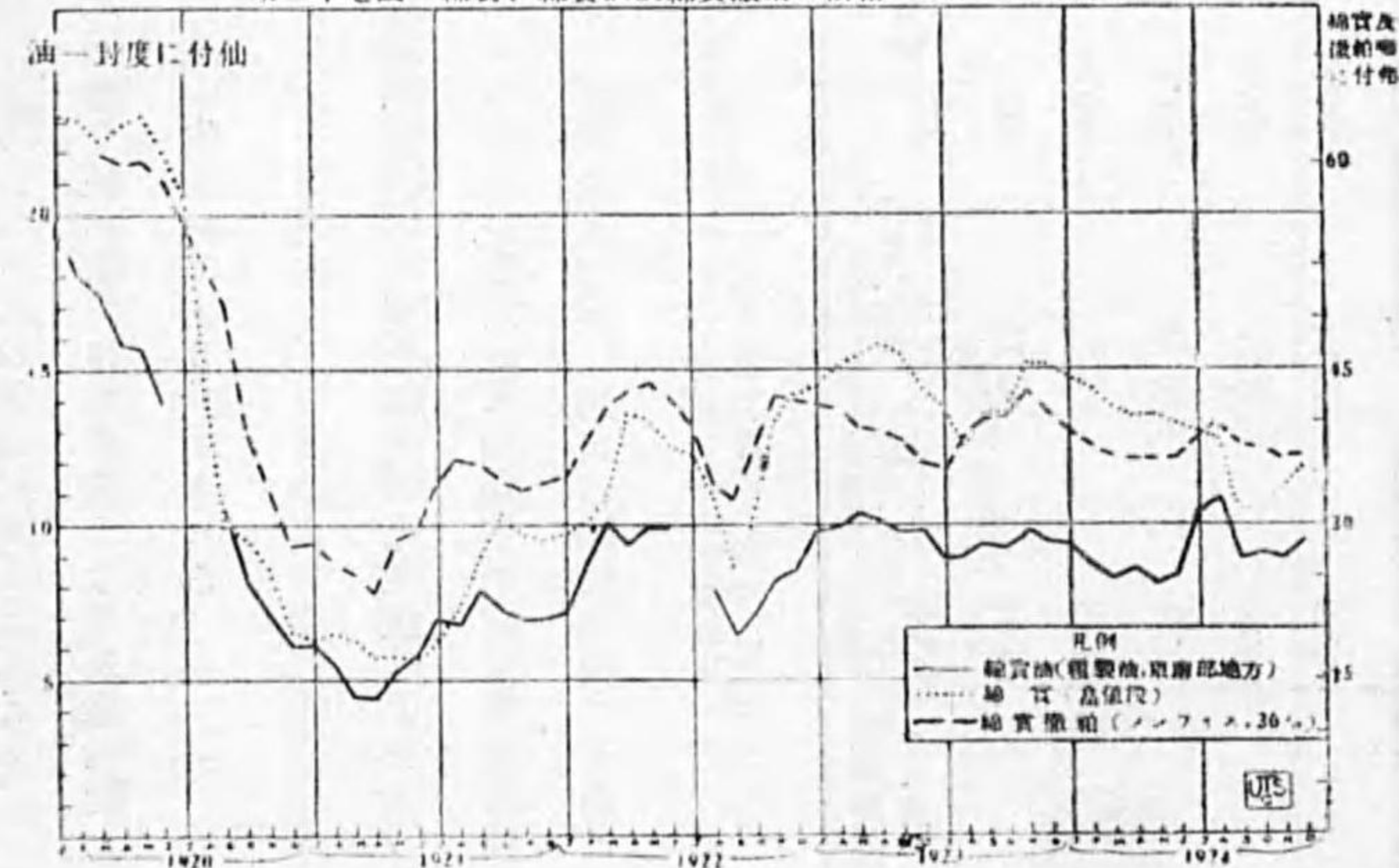
一九二〇年より一九二三年の暮に至る間豚脂の價格の低廉であつたのは當時一般に玉蜀黍及豚の價格が低廉で



第二十六圖 綿實油及豚脂の價格 (第181表數字)



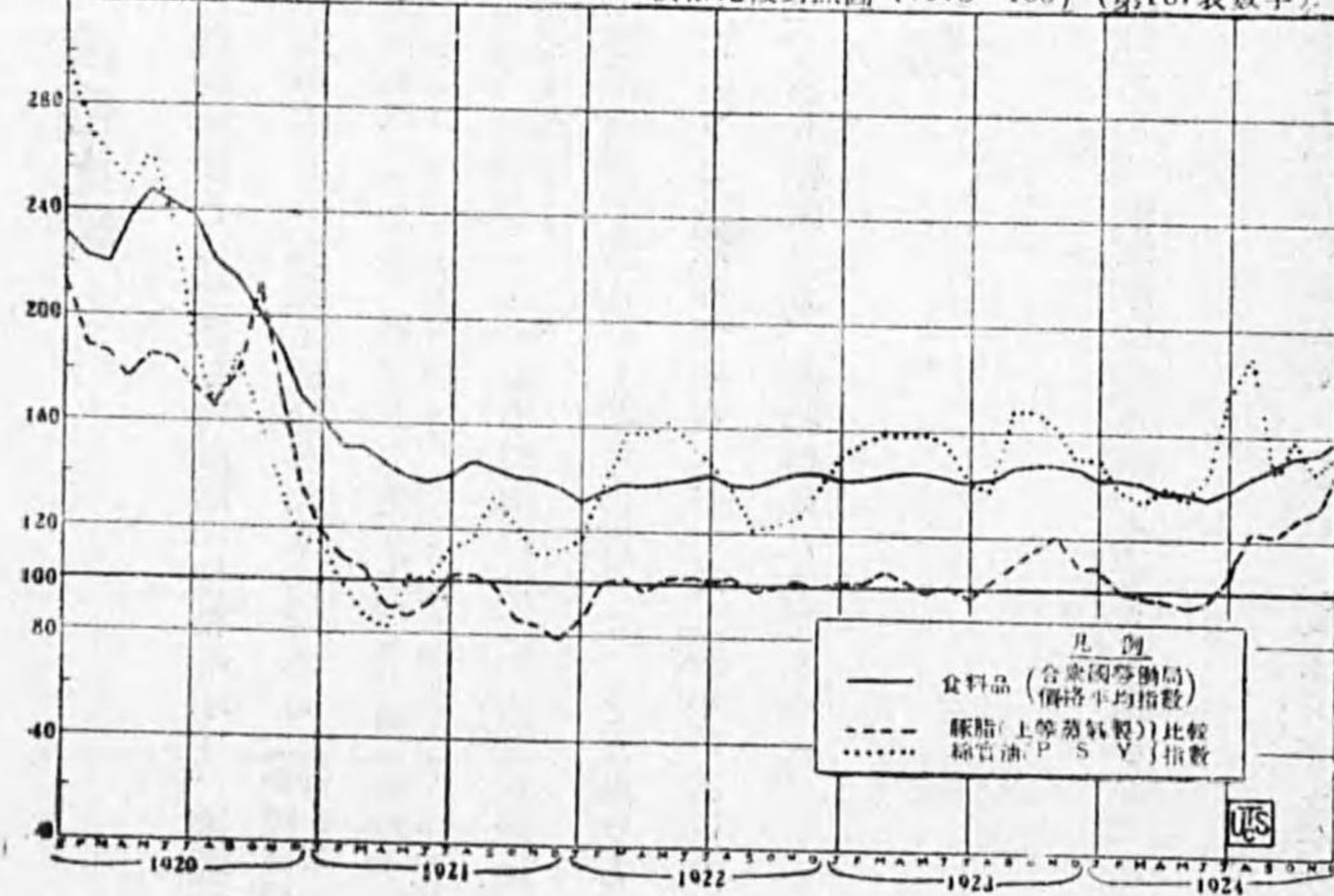
第二十七圖 綿實、綿實油及綿實撒粕の價格 (第188表數字)



第三章 油脂の價格  
 あつたことに關係があつたかも知れぬ。價格が低廉の爲輸出を奨励し且つ國內消費高の激増の原因となつた。豚脂の一人當り消費額は第百三十五表に示す如く、一九一八年には十三・六封度一九二二年には一一・五封度であつたのに對し一九二三年には一六・二封度一九二四年には一五・八封度であつた。

豚脂に最も似た代用物は人造豚脂でありその中約八五%は水素化合(硬化)綿實油である。於是、豚脂及綿實油の價格は重要な關係が生ずるのである。第百八十六表は一九二〇—二四年間の市俄古に於ける純豚脂及人造豚脂の價格月別高低表であるがそれに依れば純豚脂の方が人造豚脂よりも高價

第二十五圖 豚脂、綿實油及食料品の價格比較對照圖 (1913=100) (第187表數字)





で一九二〇年には其差額一封度に付約三・五仙であつたが、一九二一及二二年には確實に減少してゐる。一九二三年には人造豚脂は純豚脂より高價で賣れたが一九二四年には又元の通り純豚脂の方が高價となり人造豚脂との差額平均は一封度に付一仙以下であつた。この變化は大豚豚脂及綿實油の生産額により説明される。

綿實油及其他綿實生産品

第百八十八表(第二十七圖)に於て精製及粗製綿實油の價格と綿實粕(撒)の價格及綿實の産地値段とを比較した。これによると一九二一年以後綿實の産地値段は油及撒粕の値段よりも急速に騰貴して居る。第百七十三表は第百八十八表の比較と同様に一九一〇—二四年間に於ける他の共産物即ち皮殼及實屑綿に對する比較を與へてゐる。

第百七十三表 綿實並綿實生産物の國內價格及相當り壓碎價額總計 (合衆國農務省報第百五十一(三號)及合衆國農務省年報)

收 獲 年 度	粗製油(百封度に付)	粗及撒粕(一噸に付)	皮(一噸に付)	殼實(五十封度毎に付)	種實(五十封度毎に付)	生産物合計(一噸に付)	價額(一噸に付)	綿實産地値段(一噸に付)
1910-14 平均	5.34	24.88	7.28	12.74	30.87	20.86		
1921	6.47	32.64	8.01	8.30	38.52	28.56		
22	7.68	36.84	9.55	17.26	45.51	29.25		
23	8.46	39.70	12.98	20.44	53.64	32.13		
24	8.99	39.07	13.54	34.26	55.03	41.58		

1910—14年平均に比較せる變化率

1910—14平均	100	100	100	100	100	100	100	100
1921	121	131	110	65	125	137		
22	144	148	131	135	148	140		
23	158	100	178	231	174	154		
24	168	157	186	269	178	19		

1. 自八月一日至七月三十一日

2. 合衆國農務省報第153號の1—95頁第四十七表より計算せり

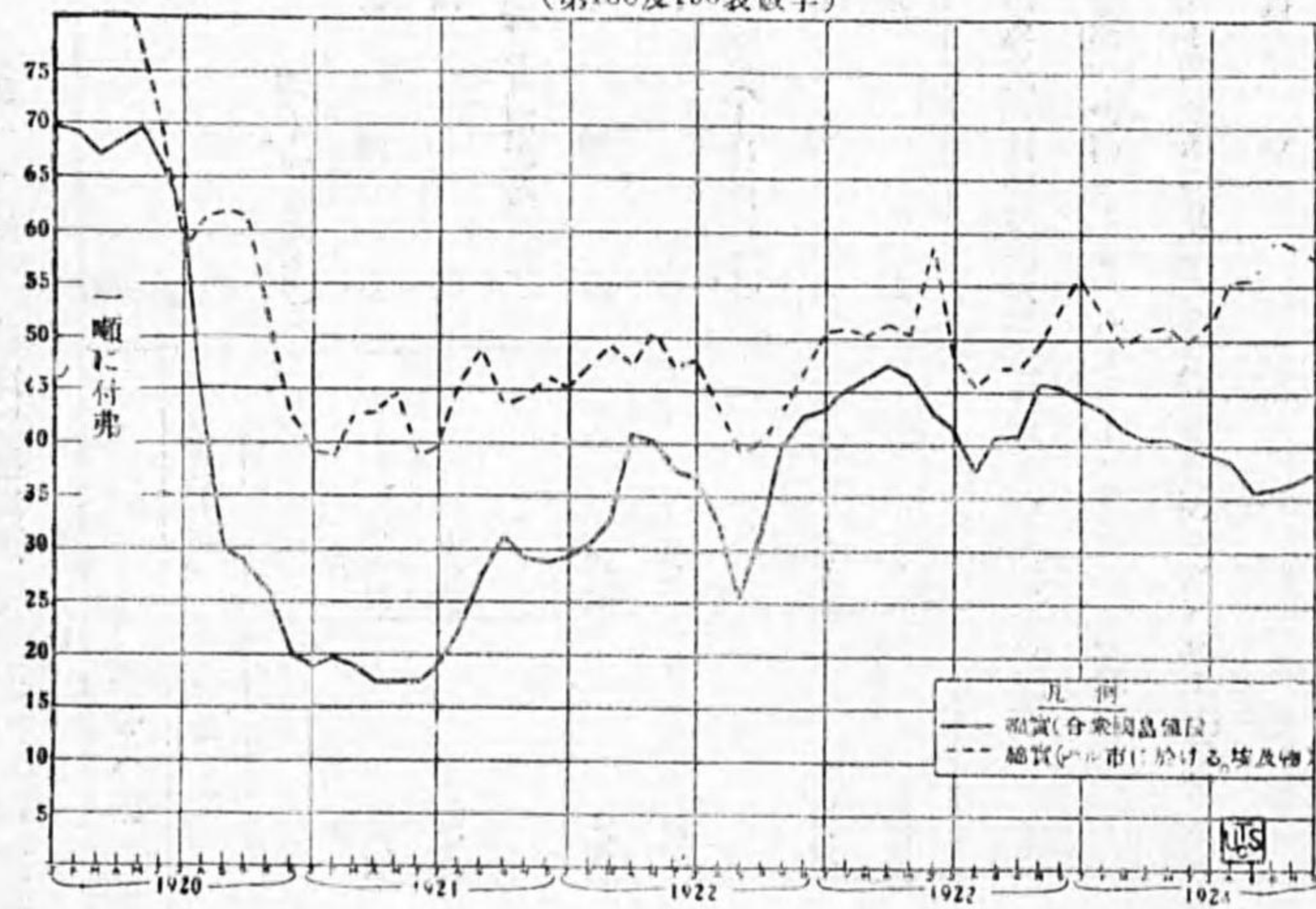
3. 1911—14年の平均額

一九二四年に於ける綿實の價格は、一九一三年の約二倍であつた。然るに綿實壓碎一噸當り製品價額合計は七八%の増加を見たに過ぎなかつた。諸工場の壓碎能力は近年に於ける綿作の不況に伴つて減少してはゐない、而して固定經費を引下げんが爲め諸工場は油及其他産物の時價を無視した價格を仕拂つて綿實購入の爲に烈しい競争をしてゐる。

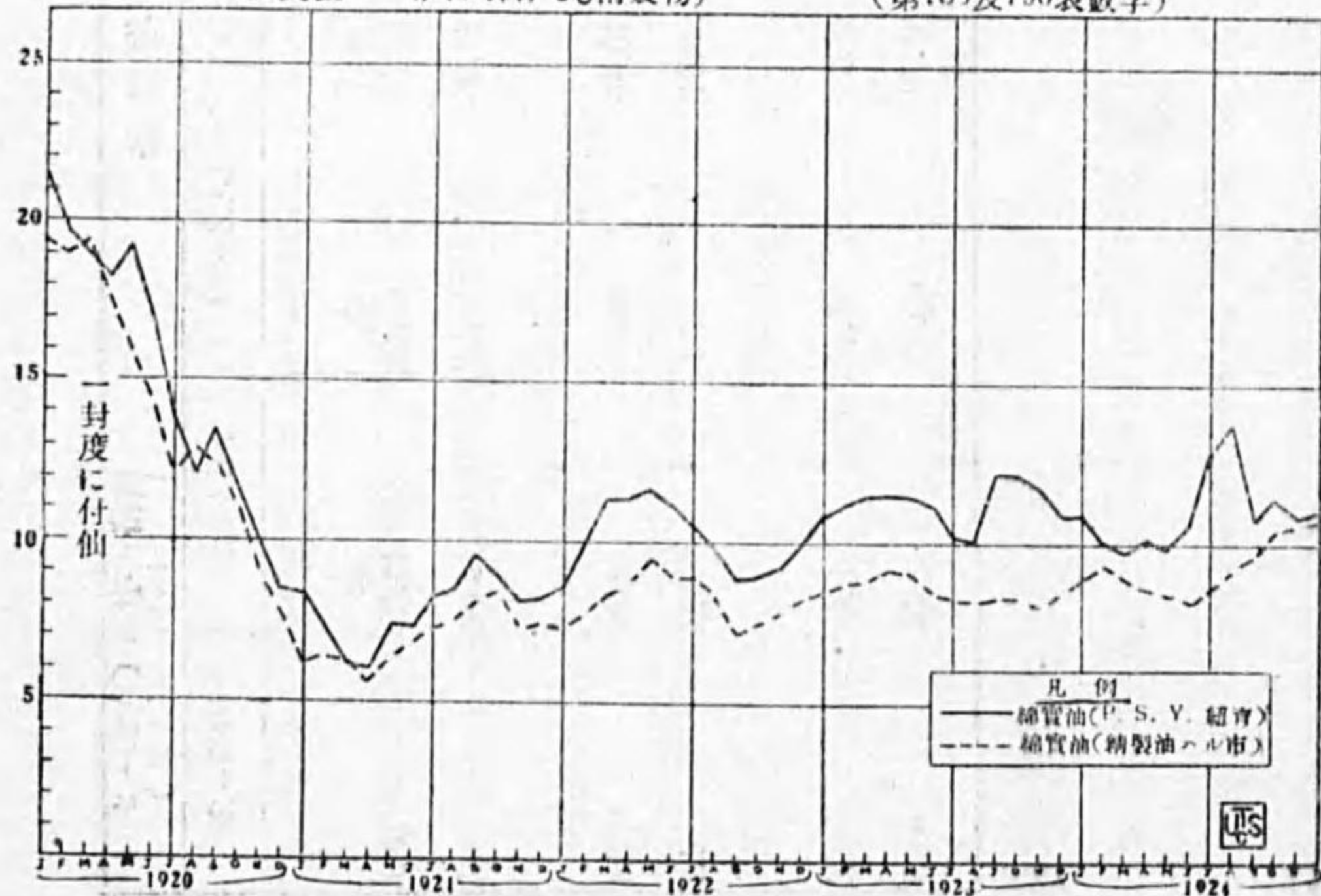
綿實撒粕は主に肉牛及乳牛の糧食として用ひられる。その主要競争品は亞麻仁撒粕(油撒粕)である。第二十八圖は之等の飼料の價格間の密接な關係を示す。(『綿實搾油』第八卷第三號(一九二四年七月三〇頁参照))



第二十九圖 綿實の價格（合衆國島嶼段及英國ハル市に於ける。埃及物價格）  
（第188及190表數字）



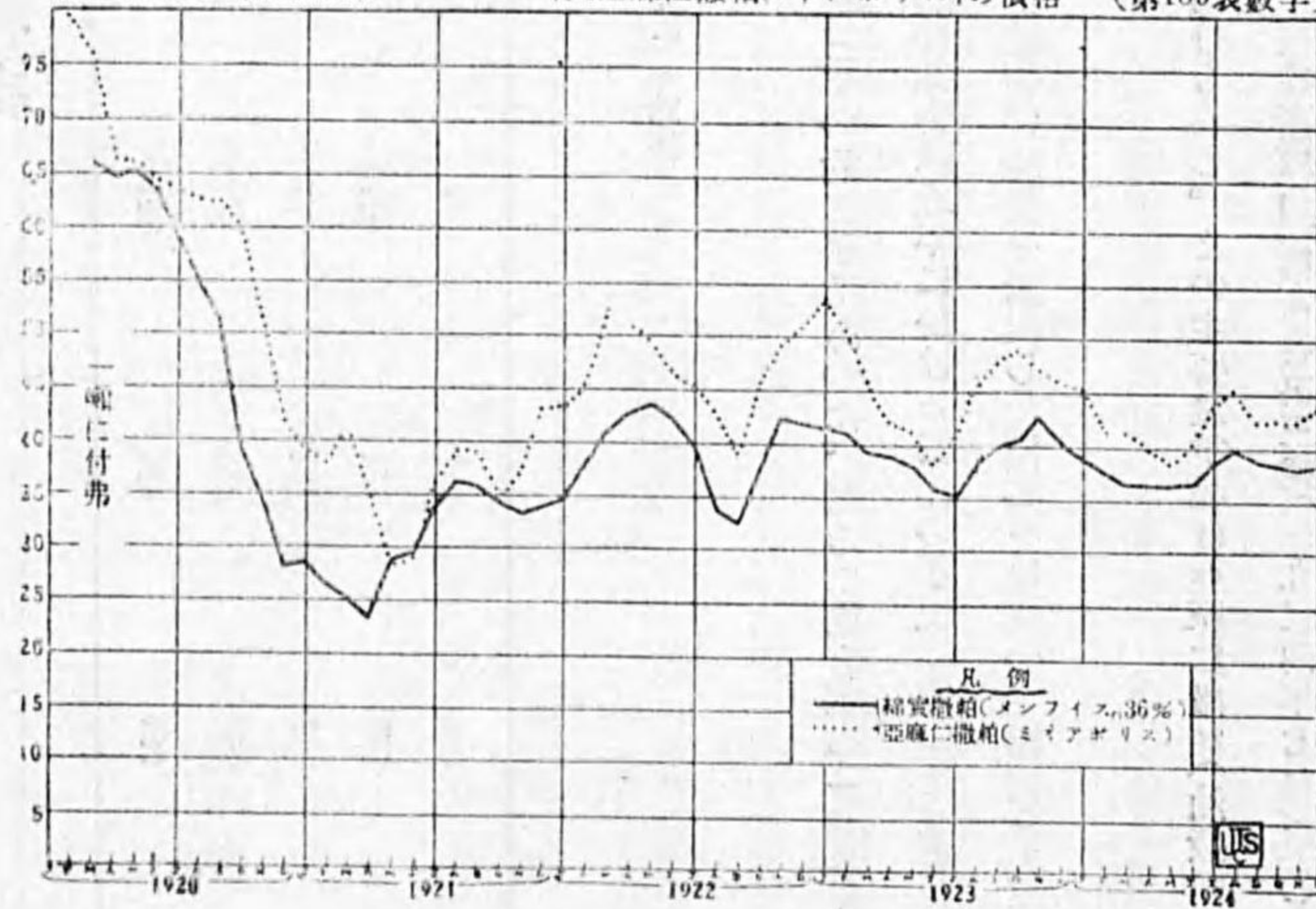
第三十圖 綿實油の價格（紐育に於ける。上物サンマーイニエロ  
及英國ハル市に於ける。精製物）  
（第188及190表數字）



綿實撒粕の年生産額  
は亞麻仁撒粕の生産額  
より二倍乃至三倍大で  
ある故にその價格は恐  
らく高度含蛋白質飼料  
の市場に於ける優秀な  
要素であらう。

第二十九圖は英國及  
合衆國に於ける綿實價  
格の變化を比較したも  
のである。第百七十四  
表は英米兩國に於ける  
綿實油及撒粕の平均年  
價格を示す。

第二十八圖 綿實撒粕(メンフェイス)及亞麻仁撒粕(ネアポリス)の價格 (第189表數字)



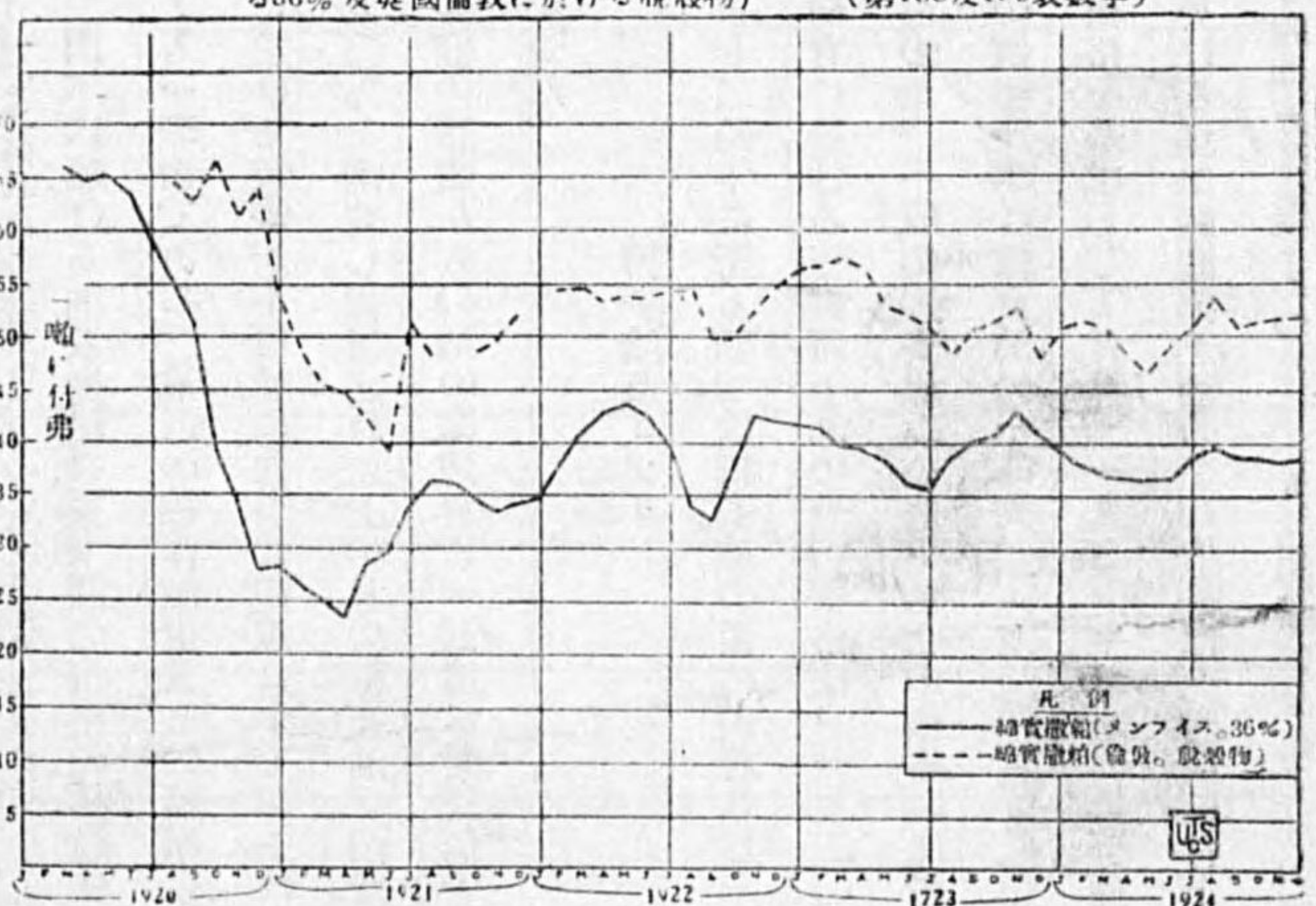


第百七十四表 綿實及綿實製品の価格 (合衆國及英國)

	收穫年(8月-7月)の平均價格					價格の増加(1920-21 1E91923-24に對して)	
	1920-21	1921-22	1922-23	1923-24	1924-25	1925-26	
綿實(一米噸に付) <sup>1)</sup>							
合衆國	弗 28.56	弗 29.25	弗 32.13	弗 41.58	弗 13.02	45.6	
英國	47.25	47.02	47.90	50.29	3.04	6.4	
綿實油(百封度に付) <sup>2)</sup>							
合衆國	8.89	9.88	10.45	10.97	2.08	23.4	
英國	8.15	8.21	8.34	8.51	.36	4.4	
綿實撒粕(一米噸に付) <sup>3)</sup>							
合衆國	83.67	37.97	38.38	35.57	1.90	5.6	
英國	53.62	52.24	53.70	49.99	3.53	-6.8	

1. 合衆國の産地値段及英國に於ける採及物の價格
  2. 紐育の上等サママーイエロー：英國ハル市精製品
  3. メムフェイスに於ける36%：倫敦及リザーブールに於ける脱殻品
- 増 減 少

第三十一圖 綿實撒粕の價格(タネツシー州メンフェイスに於ける36%及英國倫敦に於ける脱殻物) (第188及190表數字)



第三章 油脂の價格

綿實及綿實油の價格は英國よりも合衆國に於いて遂に急激に騰貴してゐる。撒粕の價格は合衆國にては僅か五六%増加し、英國にては下落した。ハル市及紐育市に於ける油價騰落の關係は重要なものである。一九二〇—二一年に紐育に於ける上等「サママーイエロー」はハル市に於ける精製綿實油より百封度に付七四仙の高位で賣れた。この相違は一九一三年及一四年に於ける相違と格度同じであつた。一九二一年より二四年に至る間に亞米利加産油の價格が比較的急速に昂騰した結果其の期間に紐育及ハル市間の輸送費は減少したけれども、この相違を次第に大ならしめてゐる。(一九二一年に、大洋貨物運賃はメキシコ海)



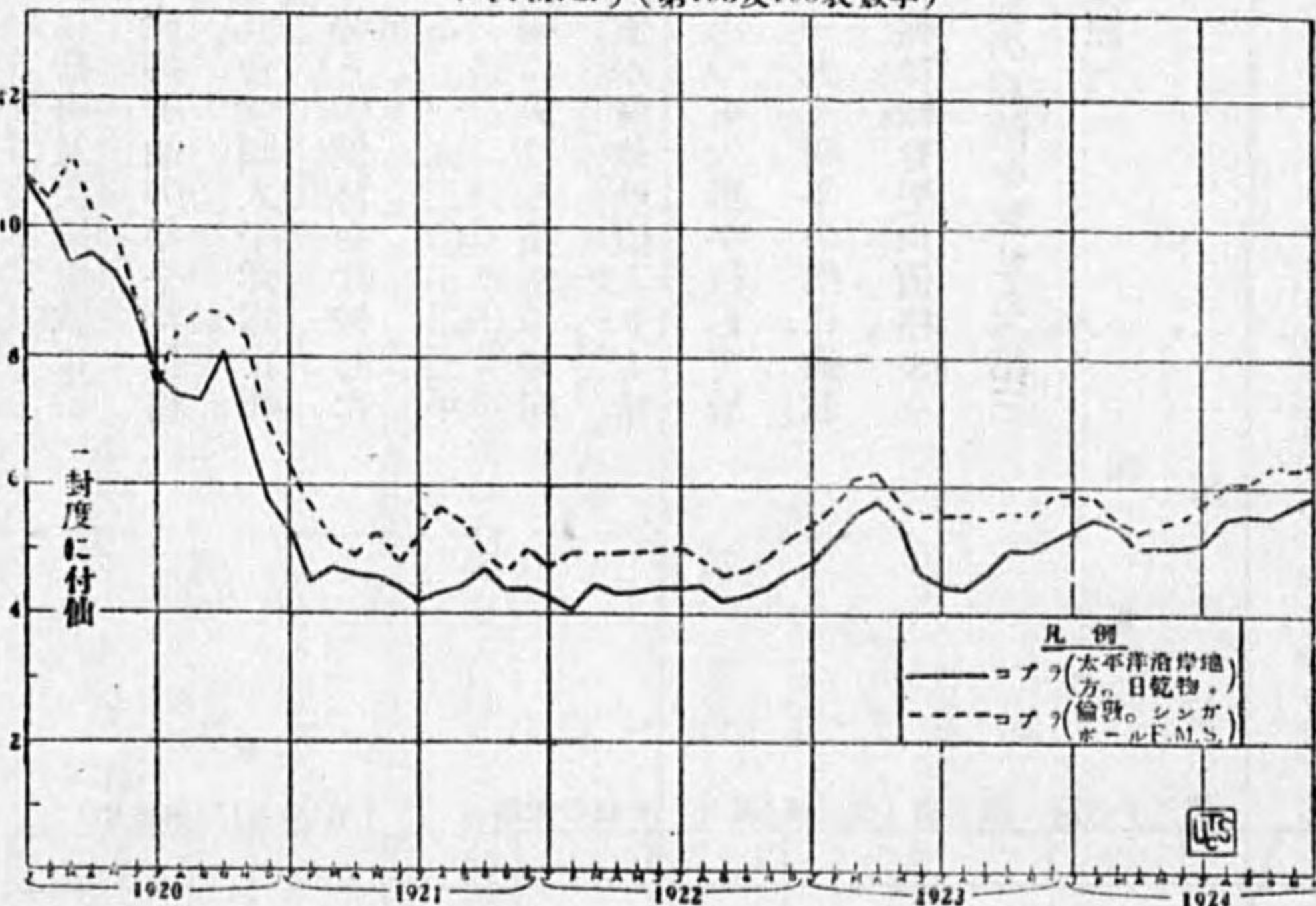
諸港積出ものが百封度に付五七・五仙で北大西洋沿岸諸港積出のものが五〇仙であつた。一九二四年には選貨は夫々三二・五仙及二五仙であつた。

一九二二—二四年に於ける油及撒粕の英米間の價格の相違は、同期間中に合衆國よりの綿實油及綿實粕輸出額が減少した少くとも一理由である。最近の棉作減少及その結果として綿實價格の騰貴したことは綿實油及粕の國內價格を國際市場に於ける競争が不可能になつた程度にまで引上げて來た。一九二四年に合衆國は綿實粕の年生産額の中八〇%乃至九〇%を消費し尙ほ之れ以上の量の綿實油を消費した。夫故油及粕の價格は國內市場の狀況により決定され、英國其他の諸國からの油の輸送費に一封度に付三仙の輸入税を加へた額の範圍では國內價格は外國價格の影響を受けなかつた。

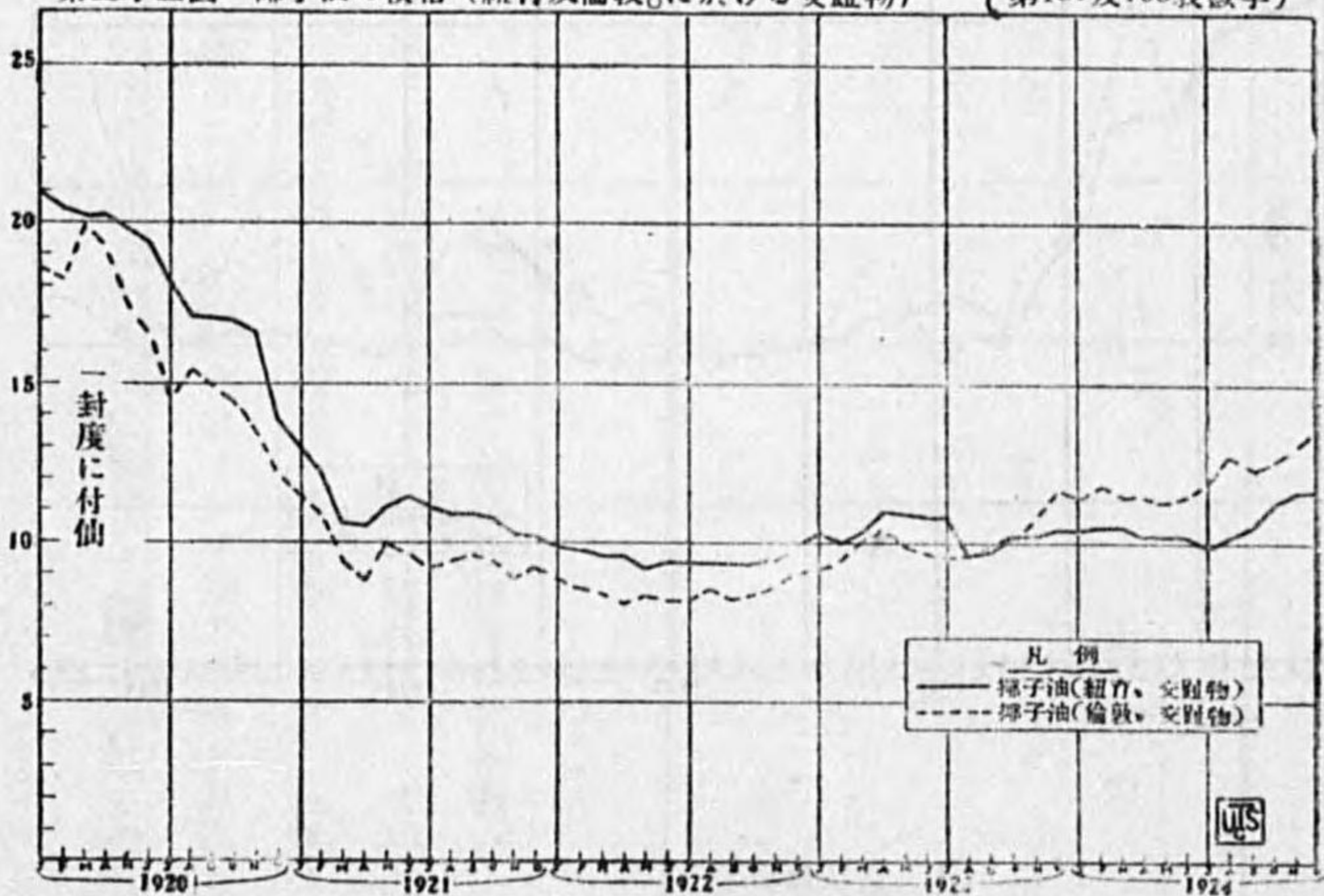
椰子油及コブラ

一九二〇年より二四年に至る期間は椰子油の價格の著るしく下落したことは既に述べてゐる。(第二節百頁参照) 一九二四年に紐育に於ける粗製椰子油の平均價格は、一九二〇年の一七・四仙及一三年の一二仙に對し一封度當り一〇・六仙であつた。一般の卸賣値段や他の油脂の價格に比較して椰子油は下落してゐる。一九二四年紐育に於ける粗製椰子油の價格比率は綿實油の一四九・半脂の二二〇及總物價の一五〇なるに對し七九であつた。之等の指數は一九一三年度價格を基準として計算)。一九二二年以來の椰子油と其他總ての植物油との價格對線には相違がある。一九二二年に於ける馬尼刺産椰子油の平均價格は一封度に付十仙であり、それは七種の植物油の加重平均價格より一封度に付一・四仙方高値であつた。一九二四年には椰子油の價格は七種の植物油の加重平均一仙に對し一封度

第三十二圖 コブラの價格 (太平洋沿岸地方に於ける日乾物及倫敦に於けるシंगाポールF. M. S.) (第193及195表數字)

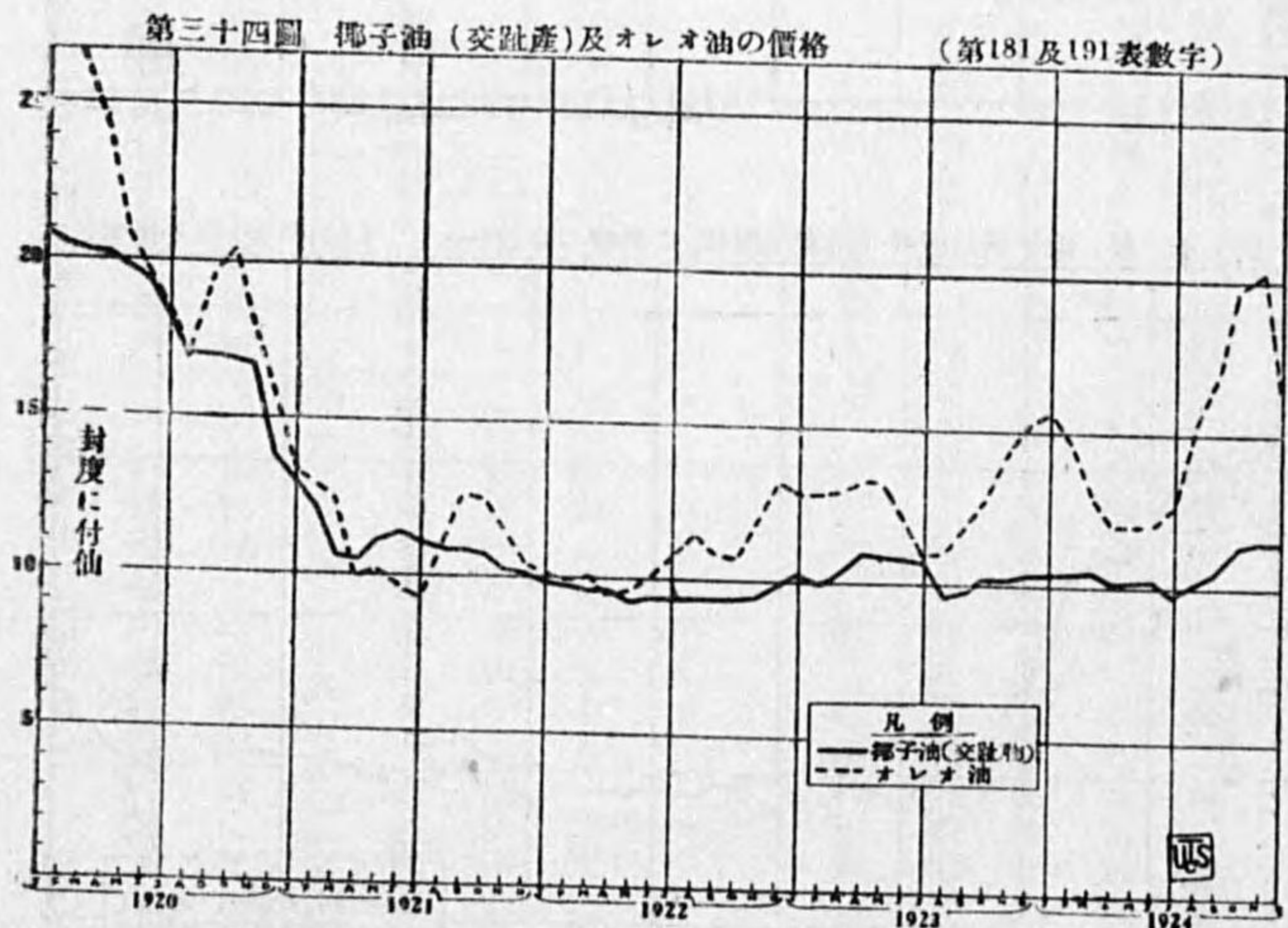


第三十三圖 椰子油の價格 (紐育及倫敦に於ける交趾物) (第181及195表數字)





に付一〇・二仙であつた。第七十五表は紐育及英國倫敦に於ける交趾産椰子油の年平均價格を比較し且合衆國太平洋岸市場と倫敦市場との價格を比較したものである。一九二〇—二三年間に二市場に於ける價格の傾向は紐育油價が倫敦油價よりも常に上位にあつて大體平行して居たが併し一九二四年の内に倫敦の平均價格は紐育平均價格より約一・五仙の高値を見せた(第三十三圖参照)。



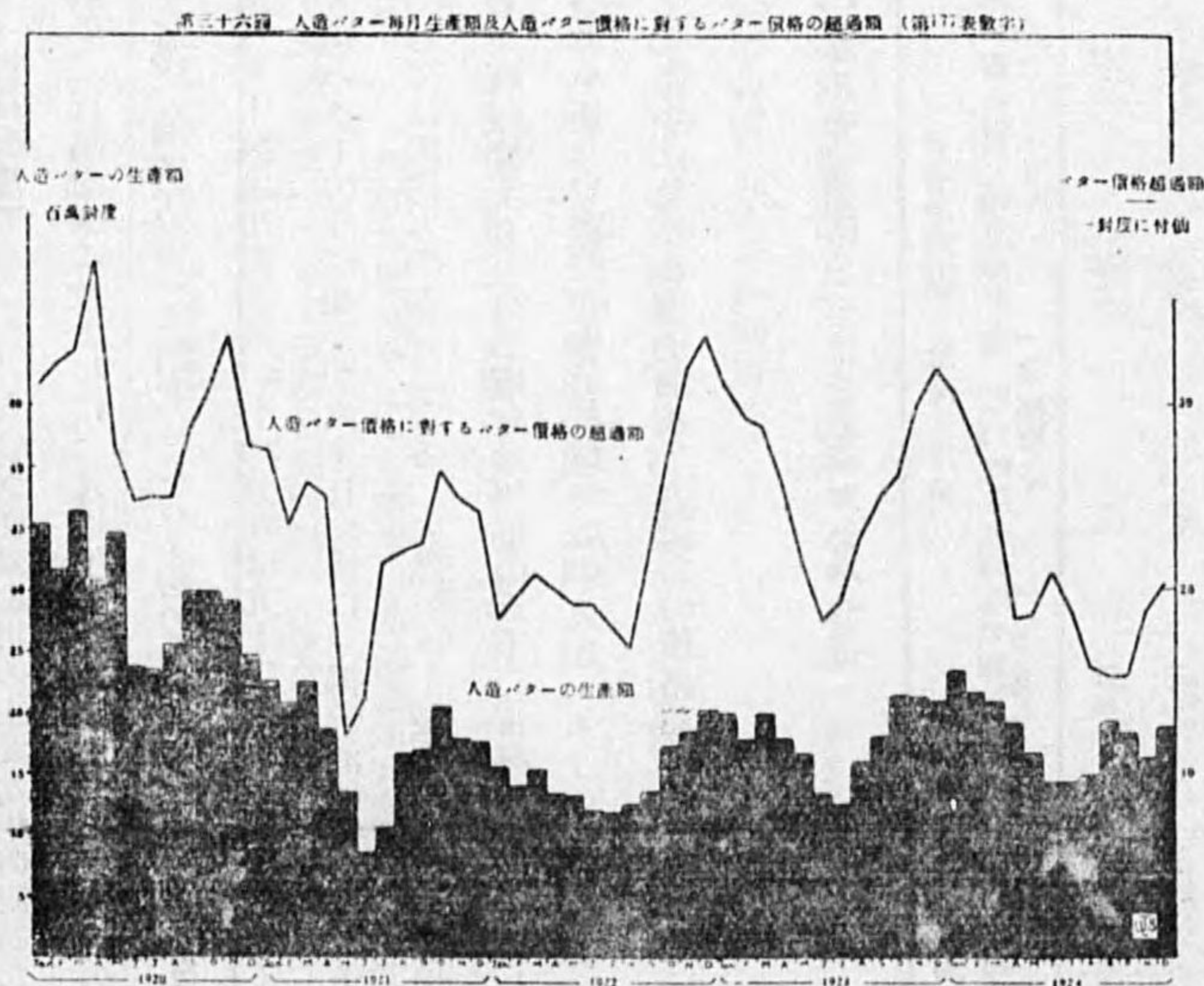
第七十五表 椰子油及コアラ内外價格比較 (一封度に付單位仙)

年 度	椰 子 油 (交 趾)		合 衆 國 太 平 洋 岸	コ ア ラ
	紐 育	倫 敦		
1920	18.38	16.24	8.44	9.20
21	11.07	9.68	4.54	5.25
22	9.53	8.45	4.35	4.89
23	10.36	10.02	5.00	5.70
24	10.60	12.06	5.41	5.85

1. 181, 198及191表に示す品類及市價

椰子油の國內に於ける主要用途は石鹼及人造バタの製造である。人造バタ製造に於て椰子油は牛の食用脂肪—即ちオレオ油、オレオステアリン及食用牛脂—と競争的地位にある。第三十四圖及第七十六表に依ればオレオ油及椰子油(交趾)の平均價格は一九二一年には略々同様であつたが、その後價格の相違が増大してゐる。一九二四年にはオレオ油の年平均價格は椰子油より一封度に付四・五仙方高値であつたが、この變化はオレオ油の價格が昂騰したに反し椰子油の價格は持合つてゐた結果である。馬尼刺産椰子油の價格及非食用牛脂(上等罐詰物)との關係にも同じ様な變化が起つた。

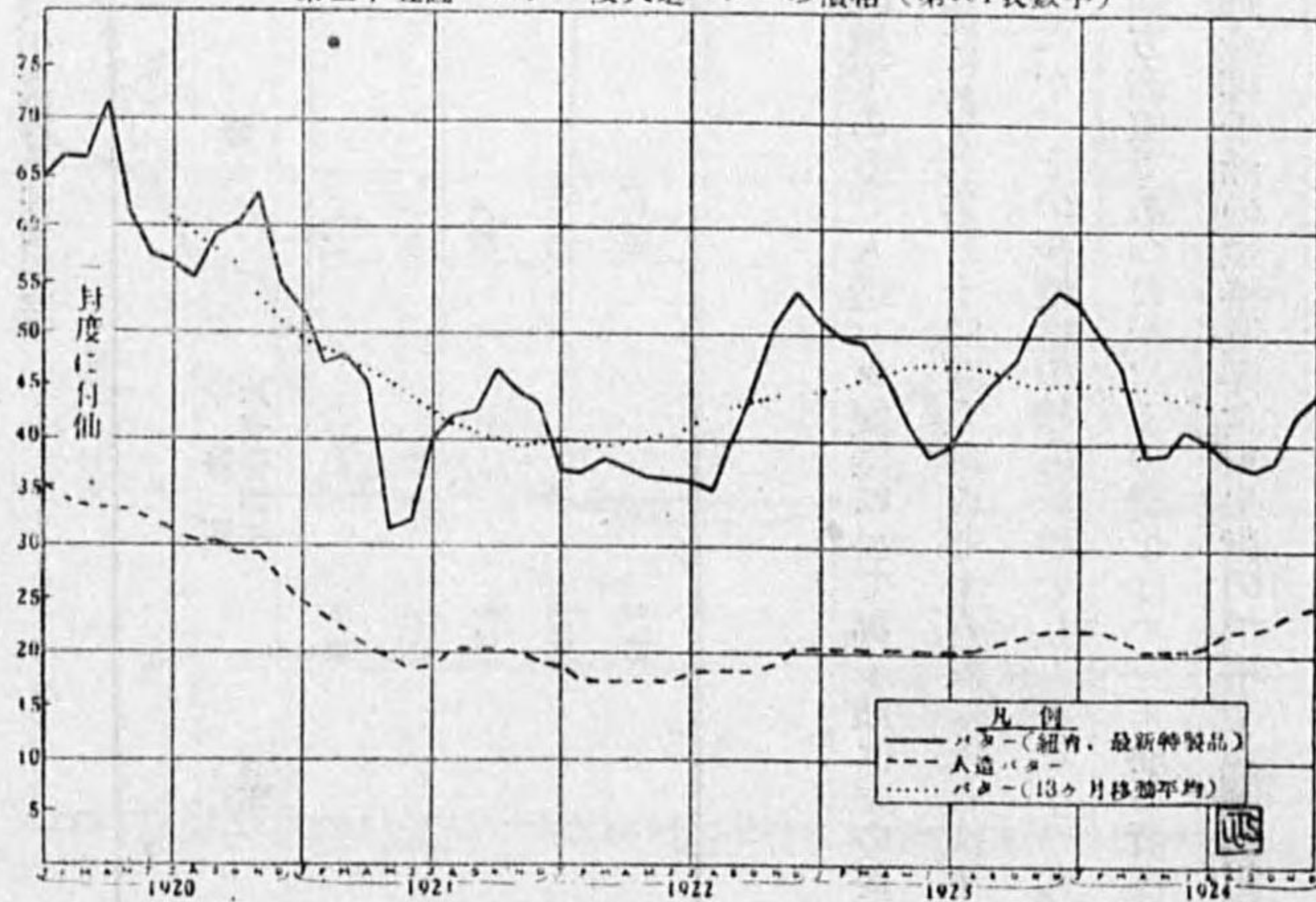




椰子油に比しオレオ油や其他の牛の脂肪の價格が騰貴した結果之等の油の消費關係は變化した。關稅委員會の蒐集した數字によれば、石鹼工場に於ける椰子油の消費額は一九二二年の一億九千四百萬封度(總油脂の一九・一%)から、一九二三年の二億六千八百萬封度(合計の二二・五%)まで増加した。石鹼工場に於ける牛脂肪の消費高は、一九二一年の三億七千三百萬封度から一九二三年の四億〇二百萬封度に増加した。牛脂は一九二二年に石鹼製造に使用された總油脂の三六・五%及一九二三年に於ける三三・八%に該當した。

人造豚脂製造に使用された椰子油は一九二二年には三百萬封度に過ぎなかつた

第三十五圖 バター及人造バターの價格 (第19表數字)





に對し、一九二三年には二千一百萬封度であつた。人造豚脂製造用の主要な牛の脂肪たるオレオステアリンは同期間内に四千七百萬封度から四千三百萬封度に減少した。人造牛酪製造に用ふる椰子油の分量は人造バター<sup>バタ</sup>の産出高が減少した爲に減少した。併し椰子油は斯業にて消費せらるゝ脂の總額に對する割合から見れば増加した。一九二〇及二一會計年度に於ける人造バター製造用椰子油の平均分量は九千二百萬封度即ち總ての油脂材料の三五%であつた。一九二四會計年度には人造バター<sup>バタ</sup>の生産總量が減少した爲に、椰子油は僅かに八千三百萬封度使用されたに過ぎぬが、總ての油脂材料に對しては四〇%の割合に當る。人造バター製造工業にて使用したオレオ油の量は、一九二〇及二一會計年度の平均七千萬封度から一九二四會計年度の五千二百萬封度に減退した。油脂材料の總額に對するオレオ油の割合は五年間全躰を通じて實際變化がなかつた。

第七十六表は一九二一—二四年に於ける椰子油及牛の脂肪の價格並に總ての工業に於ける總消費量の増減變化を略説するものである。

第七十六表 椰子油及牛の脂肪の年平均價格及消費年額

年 度	年平均價格(一封度に付仙)				消費額(一 封 度)		
	椰子油 (交 趾)	椰子油 (マニラ)	牛 上 等 罐 詰 物	カ レ オ 油	椰 子 油	牛 乳 (食 用 及 非 食 用)	カ レ オ 油
1921	11.1	10.0	6.4	11.3	291,571	356,214	19,706
22	9.5	8.8	7.1	10.7	372,249	332,709	75,394

23	10.4	9.6	8.3	12.8	375,615	413,214	59,655
24	10.6	10.2	8.4	15.1	371,846	408,878	56,334

1. この数字は輸出額を除く生産額を基礎とせり。而して平均在倉を勘定に入らむ故に國勢調査局より得し第七〇表に示せる数字と一致せず。

椰子油は人造バターの形にて或範圍までバターと競争する。人造バターの價格はバターの價格の如き季節的變化の特徴を示さない(第三十五圖及第九十一表参照)。

人造バターの價格はバターの價格の季節的騰貴と共に騰貴しないけれども、而もバターの價格の高い時は多量の人造バターが市場に現れ而してバターの値が比較的低廉なる時人造バターの製造及販賣は減少する。如斯きバターの値段と人造バターの生産額との關係は第三十六圖に示す如くである。

第七十七表 人造バター價格に對するバター價格の超過額及人造バター生産額

人造バターの價格以上、バター價格の超過額 (一 封 度 に 付 單 位 仙)

月 別	1920	1921	1922	1923	1924
1	31.14	27.50	18.36	31.14	30.60
2	32.17	23.58	19.57	29.31	28.10



第三章 油脂の價格

		1111				
3	32.94	25.81	20.79	28.79	35.40	
4	37.85	24.99	20.13	25.65	18.40	
5	27.70	12.92	19.23	21.39	13.60	
6	24.75	14.12	19.15	13.30	21.00	
7	24.97	21.35	18.05	13.30	13.80	
8	24.94	22.10	16.85	22.90	15.80	
9	28.76	22.49	22.49	24.90	15.30	
10	30.72	26.47	27.39	26.17	15.40	
11	33.72	24.81	32.10	30.13	13.90	
12	27.75	24.21	33.71	32.09	20.40	

人造バター<sup>5</sup>の生産額 (無色) (千封度)

月 別	1920	1921	1922	1923	1924
1	35,312	22,630	15,610	20,105	23,596
2	31,701	20,773	14,139	17,889	21,805
3	36,337	22,532	15,375	20,137	21,189
4	30,667	18,685	13,432	18,083	19,359

5	34,730	18,537	13,356	16,690	16,300
6	28,726	8,572	11,994	13,582	14,497
7	23,625	10,581	11,866	12,632	14,528
8	25,515	16,612	12,623	15,966	15,182
9	29,899	16,920	13,634	18,258	19,497
10	29,918	20,588	17,330	21,521	18,516
11	29,089	17,985	18,615	21,473	16,431
12	24,705	17,754	20,269	21,052	19,104

1. 使用せし價格は第百九十一表の價格なり

2. 1920年1月—1923年6月、農務省1923年度年報929頁。1923年7月—1924年6月、内國收入委員會年報133頁。1924年7月—1924年

12月、國際收入委員會月報。(拂戻税支拂品なり)

落花生油及落花生

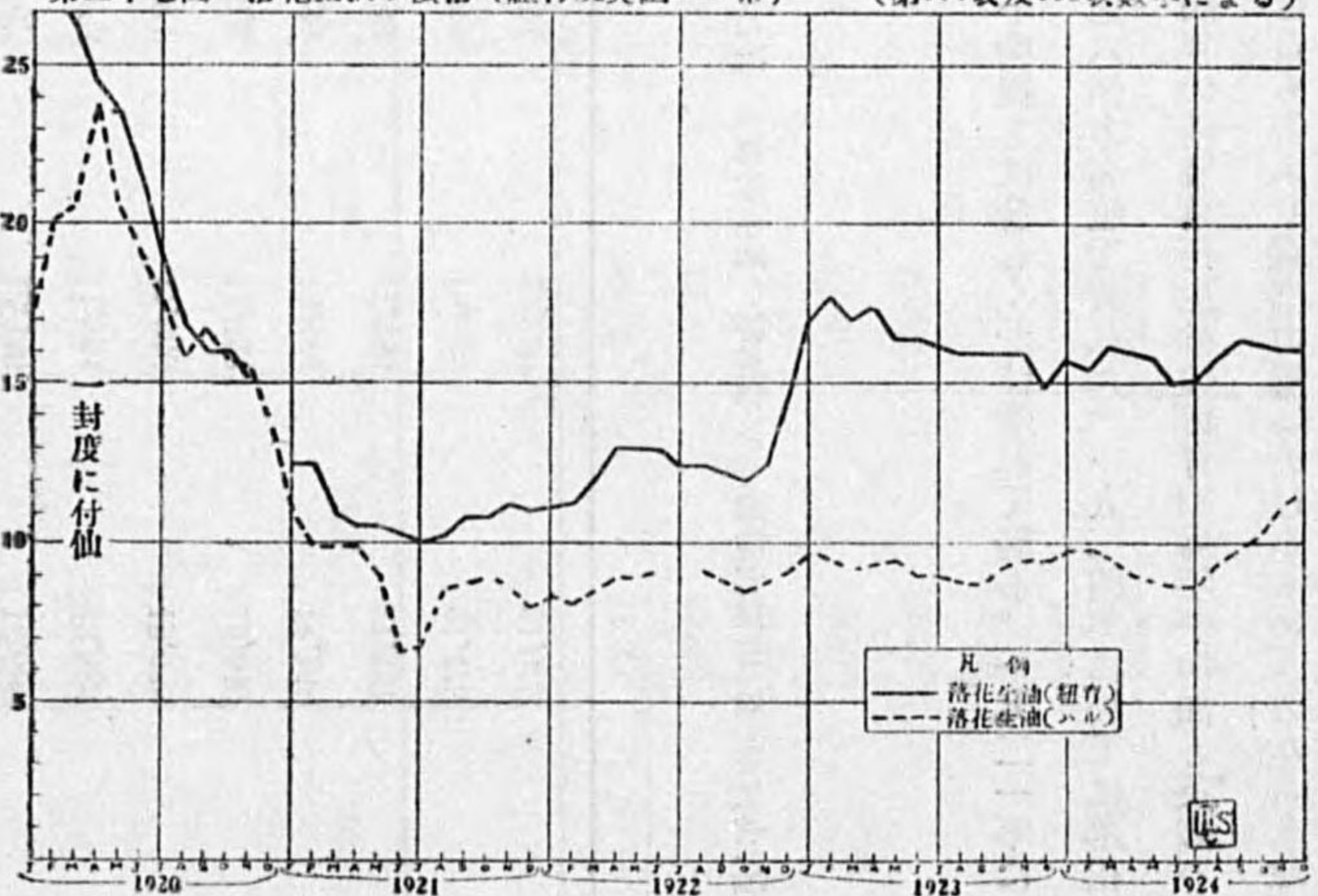
一九二二—二四年度の落花生油の價格は他の食用油の平均線とは著しくかけ離れて居る。一九二二年に精製落花生油は六種の食用油の加重平均價格より一封度に付一・三六仙方高値で賣れた。一九二四年に於ては落花生油價は食用油の平均以上三・九三仙であつた。一九二二年及二四年の精製落花生油の紐育相場年平均額と英國ハル市に於ける相場表と比較すれば落花生油の價格は外國市場に於けるものより國內市場に於けるものゝ方がより急速に騰貴



したことが判る。一九二二年に於けるハル市相場よりも紐育相場の高かつた額は一封度に付二・一三仙であつて一九二四年に於ては一封度に付六・一〇仙であつた。

青島建相場に比し粗製落花生油の内國相場は一封度に付一九二二年には一・九三仙、一九二四年に五・一四仙高かつた。一九二二年より二四年に至る期間落花生油の價格騰貴に伴ひその消費額は徐々に減退した。この減退は殊に人造バター製造に於て著しかつた。此の製造には一九二一年に千六百萬封度の落花生を使用したが一九二三年には四百萬封度であつた。總らゆる用途に於ける落花生の總消費量は一九二二年の三千四百萬封度から一九二四年の千二百萬封度

第三十七圖 落花生油の價格（紐育及英國ハル市）（第181表及195表數字による）



に減少した。第百七十八表には一九二二—二四年間の落花生油の價格及消費額の變化を略載してある。

第百七十八表 落花生油の價格及消費額（一封度に付單位仙）

年	度	落花生油の價格				内國市場に於ける六種食用油の加重平均價格	落花生油の消費量 (千担)
		合衆國 (粗製油)	青島	紐育 (精製油)	ハル市 (精製、押出)		
1921	21	6.9	4.97	10.94	8.81	9.58	34,118
	22	9.6	6.54	12.47	8.71	10.58	24,110
	23	13.0	7.42	16.45	9.27	11.50	13,081
	24	11.8	6.66	15.80	9.70	11.87	11,787

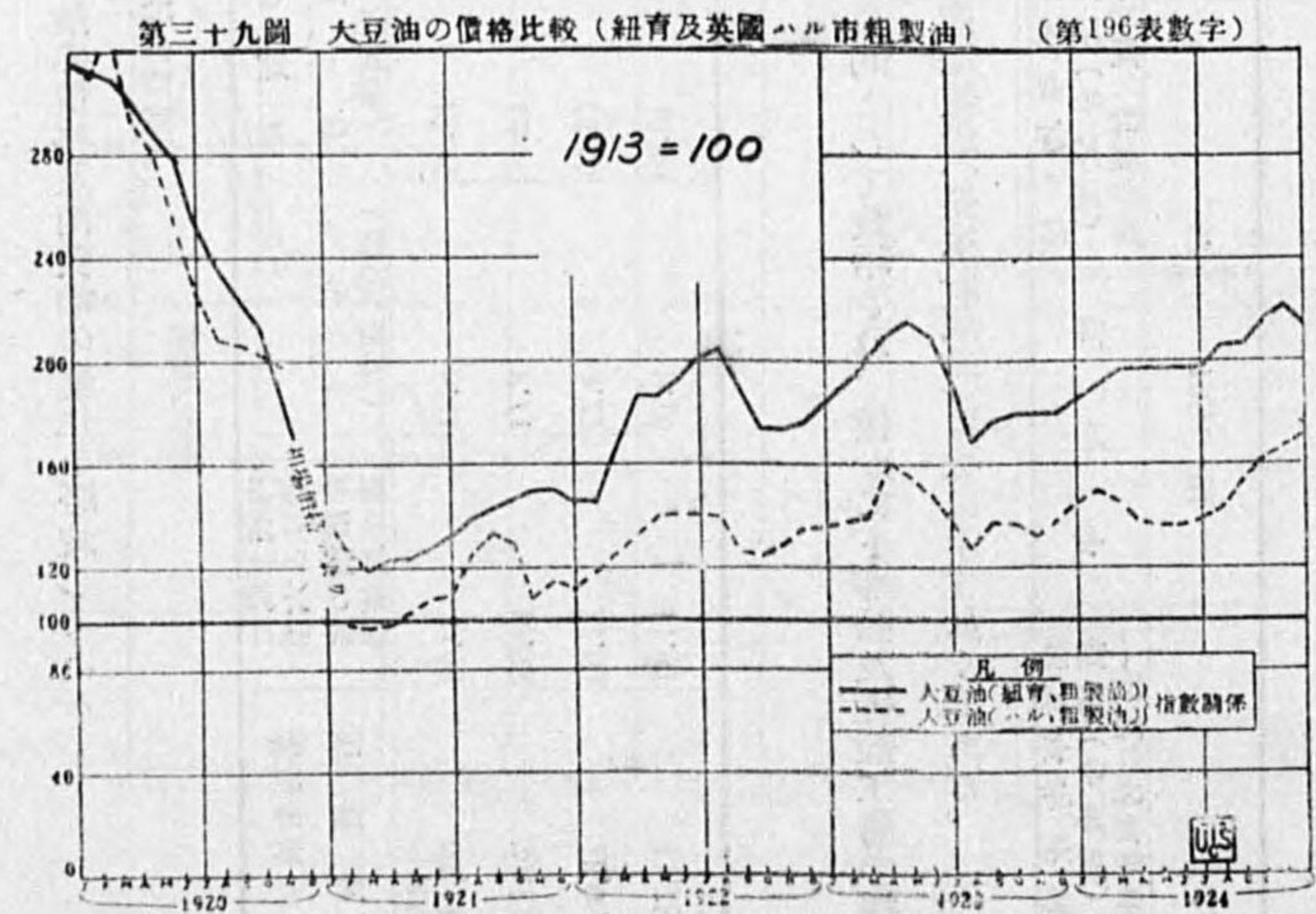
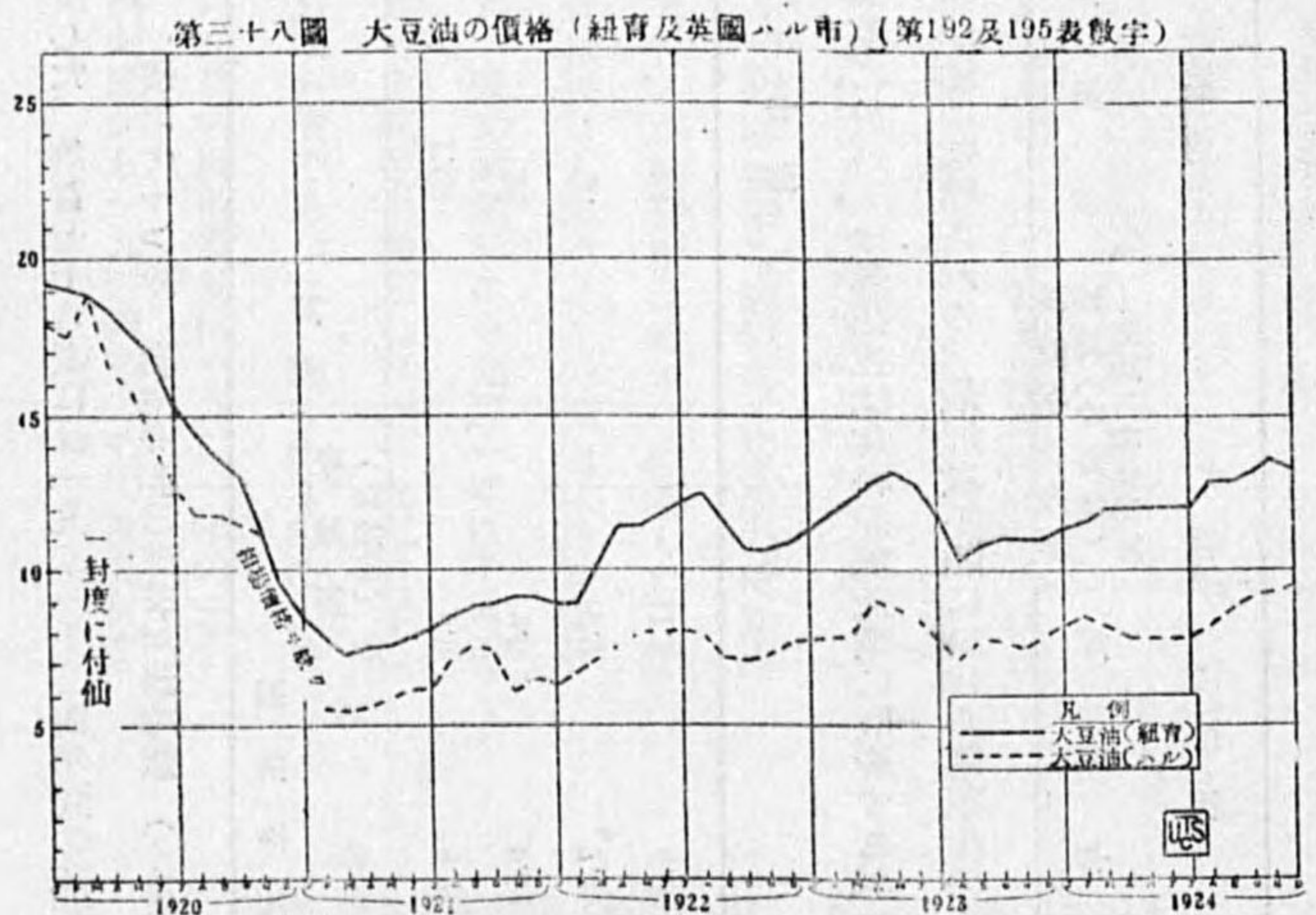
1. 上半期

合衆國に於いては落花生は食品製造業に販賣するを第一目的として栽培され、僅かに下等品及脱殻工場の擇除品のみが油に壓碎される。最近數年間に於ける落花生の平均産地値段(農家貯藏品)は次に示す如くである。

收穫年	加重平均産地値段(合衆國)一封度に付單位仙	收穫年	加重平均産地値段(合衆國)一封度に付單位仙
1921-22	3.7	1923-24	5.5
		加重平均産地値段(合衆國)一封度に付單位仙	6.5

1. 合衆國農務省





大豆油及大豆

一九二二年の紐育に於ける粗製大豆油の相場表價格平均額は英國ハル市の大豆油相場より一封度に付一・九四仙高く八・二二仙であつた。其後三年間は紐育及ハル市の相場の相違は漸次に大となり遂に一九二四年に至つては紐育相場は平均一封度に付四・〇四仙の高値にあつた。紐育及大連に於ける大豆油の相場を比較すれば一九二二年には紐育相場の高きこと一封度に付四・四五仙で一九二四年には五・四六仙であつたことが明らかとなる。

大豆油の國內價格と八種の非食用油脂の加重平均價格とを比較すれば一九二二年には大豆油の價格はその平均額より一封度に付一・三三仙高く、一九二四年には三・六二仙高かつたことが判る。

國內市場に於ける他の非食用油の價格とそれより高い大豆油の價格との差額を増大するに明らかに與つて力あつた諸條件の内には(A)一九二三年初頭に於ける亞麻仁油の異常なる需要(B)一九二二年五月の緊急關稅法に依る一ガロンに付き二〇仙(一封度に付二・六六仙)の輸入税の賦課とがあつた(一九二二年の關稅法の稅率は一封度に付二・五仙であつた)。大豆油には多少乾燥性があるので亞麻仁油の一部的代用品に供し得る。其れ故兩油の價格の變動は密接に關聯して動くのである(第四十圖參照)。

第百七十九表 大豆油年平均價格及消費年額（一 封度に付單位仙）

年 度	粗製大豆油の價格		國內市場に於ける非食用油の加重平均價格	大豆油の消費年額の國內消費額(千封度)
	大 連	紐 育		



第三章 油脂の價格

一一八

1921	3.76	8.21	6.27	6.38	14,827
22	5.34	10.90	7.36	7.52	15,158
23	6.21	11.68	7.95	8.49	41,555
24	6.94	12.40	8.36	8.78	7,734

一九二〇—二二收穫年より一九二四—二五收穫年に至る合衆國に於ける大豆の各年平均高値段の罫線は大豆油價格の罫線と少しも密接な關係を示して居ない。

收 穫 年	一アッシュマンに付平均高値段 (合衆國)	收 穫 年	一アッシュマンに付平均高値段 (合衆國)	收 穫 年	一アッシュマンに付平均高値段 (合衆國)
1920—21	2.80	1922—23	2.00	1924—25	2.28
21—22	2.17	23—24	2.12		

1. 合衆國農務省

合衆國産大豆の内ほんの一部が油に壓碎されると云ふことは本報告書の初めに既に説明した。大豆は本來は種子用として又は販賣種子として收穫される、其れ故大豆の價格は大豆油の價格に依つては決して重大な影響を受けないのである。

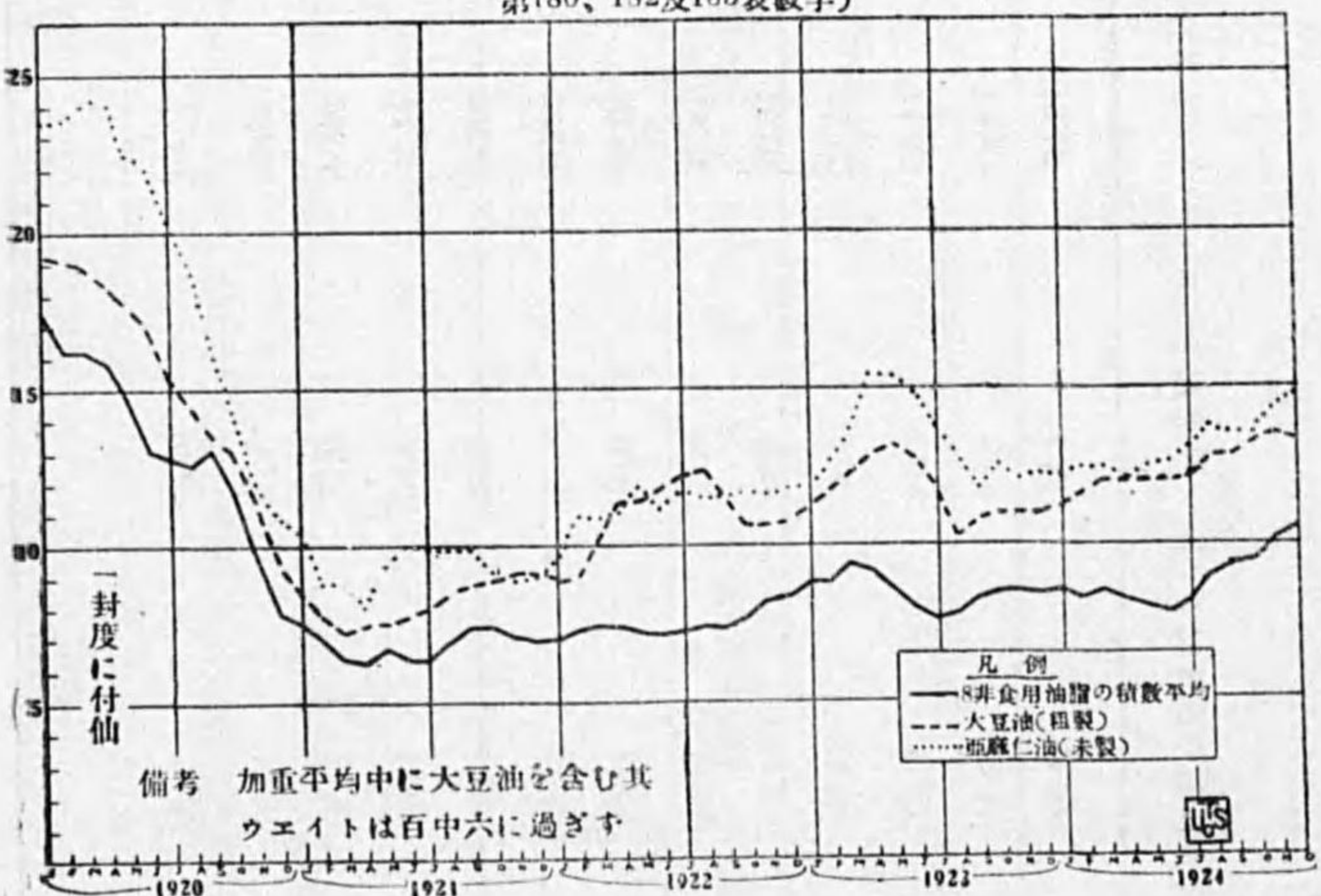
第百八十表 生亞麻仁油月別價格表(紐育)<sup>1</sup> (一封度に付單位仙)

月 別	1920	1921	1922	1923	1924
1	23.60	10.43	9.60	11.80	12.20
2	23.60	8.78	10.91	12.60	12.87
3	24.04	8.77	10.93	13.60	12.35
4	24.37	8.05	11.07	15.47	12.00
5	22.53	9.33	11.91	15.31	12.48
6	22.04	10.00	11.13	14.88	12.60
7	20.27	9.92	11.71	13.77	13.07
8	18.84	9.91	11.53	12.80	13.71
9	16.20	9.93	11.68	11.81	13.47
10	14.35	9.07	11.78	12.57	13.51
11	11.91	8.93	11.67	12.13	14.32
12	10.93	8.99	11.81	12.24	14.73
平 均	19.45	9.33	11.32	13.25	13.07

1. 合衆國勞働統計局の卸賣價格報告より。一ガロンを7.3封度の割に(封要建)に換算せり。



第四十圖 亞麻仁油(未製)大豆油(粗製)及非食用油脂の價格  
第180、182及183表數字)



### 第六節 價格統計表

此處に掲ぐる諸表は前述の討究の論據に使用した油脂の詳細なる價格の月別表である。

第百八十一表 食用油脂月別價格表 (一封度に付單位仙)(高低相場平均)

年	種別	總上等	豚上等	臘製	牛食	脂用 <sup>2</sup>	椰交	子油 <sup>3</sup>	落精	花生油 <sup>3</sup>	玉精	製油 <sup>3</sup>
1920	1	21.55		23.38		18.75		20.88		27.75		28.50
	2	19.75		20.80		17.12		20.50		27.50		28.50
	3	19.00		20.48		17.00		20.25		26.25		22.00
	4	18.25		19.40		16.25		20.25		24.50		20.25
	5	19.20		20.42		15.00		19.88		23.50		20.00
	6	17.00		20.28		13.00		19.88		21.50		19.75
	7	13.85		19.00		13.25		18.12		19.00		19.00
	8	12.05		18.35		13.12		17.00		16.75		15.75
	9	13.48		16.60		14.38		17.00		16.00		15.16
	10	11.86		23.38		12.50		16.88		16.00		16.33



第三章 油脂の価格

1月11日

11	10.02	19.22	9.26	16.62	15.25	15.38
12	8.46	15.06	7.12	13.75	—	13.88
平均	15.37	19.95	13.93	18.38	21.27	18.71
1921						
1	8.34	12.98	7.38	12.00	<sup>4</sup> 12.50	12.00
2	7.25	11.95	7.00	12.25	12.50	11.50
3	6.25	11.52	6.38	10.62	11.00	10.25
4	6.00	10.05	6.25	10.50	10.50	9.75
5	7.38	9.45	6.63	11.12	10.50	10.25
6	7.30	9.96	6.00	11.38	10.25	9.75
7	8.25	11.35	6.38	11.12	10.00	9.12
8	8.48	11.18	7.25	10.88	10.25	10.25
9	9.64	10.80	8.25	10.88	10.75	10.75
10	8.94	9.42	7.75	10.75	10.75	11.25
11	8.10	9.10	7.25	10.25	11.25	11.25
12	8.27	8.65	7.00	10.12	11.00	10.88
平均	7.85	10.53	6.36	11.07	10.94	10.58

第三章 油脂の価格

1月11日

1922						
1	8.56	9.31	7.38	9.88	<sup>4</sup> 11.13	10.75
2	10.00	11.04	8.00	9.75	11.25	10.38
3	11.45	11.20	8.00	9.62	12.00	11.75
4	11.45	10.62	7.25	9.62	13.00	13.12
5	11.72	11.18	7.25	9.25	13.00	12.38
6	11.25	11.36	7.63	9.38	13.00	—
7	10.65	11.08	7.88	9.38	12.50	12.50
8	9.90	11.30	8.12	9.38	12.50	12.30
9	8.86	10.74	7.63	9.38	12.25	11.62
10	8.95	10.98	8.12	9.38	12.00	10.88
11	9.18	11.38	8.50	9.50	12.50	11.20
12	9.98	11.05	8.75	9.88	14.50	11.50
平均	10.16	10.94	7.88	9.53	12.47	11.69
1923					<sup>3,5</sup>	
1	10.92	11.25	9.50	10.31	17.00	12.25
2	11.32	11.25	9.32	10.00	17.75	13.00
3	11.50	11.74	9.75	10.38	17.00	13.12



第三章 油脂の價格

1344

年	種別	實價	豚油	生食	用*	椰子	油	花生	王	蠟
4		11.62	11.35	10.00	11.00	17.50	13.62			
5		11.58	10.88	8.82	10.88	16.50	13.12			
6		11.30	11.01	8.25	10.75	16.50	12.75			
7		10.20	10.71	7.62	10.75	16.25	12.12			
8		10.10	11.18	8.12	9.26	16.00	11.00			
9		12.29	12.08	9.25	9.75	16.00	12.75			
10		12.25	12.65	9.50	10.25	16.00	13.00			
11		11.80	13.30	9.62	10.25	16.00	14.00			
12		10.92	12.10	9.25	10.38	14.88	13.75			
平均		11.33	11.63	9.08	10.36	16.45	12.87			
1924	1	10.92	12.00	9.31	10.38	15.75	13.38			
	2	10.10	11.04	9.25	10.50	15.50	12.75			
	3	9.78	10.94	8.75	10.50	16.25	12.38			
	4	10.15	10.70	8.25	10.25	16.00	12.12			
	5	9.88	10.40	8.25	10.25	15.75	12.12			

6	10.60	10.54	8.25	10.25	15.00	11.88
7	12.85	12.26	9.75	9.88	15.12	12.88
8	13.80	13.52	10.88	10.19	15.75	14.88
9	10.72	13.42	10.12	10.50	16.38	14.12
10	11.50	14.00	9.69	11.25	16.12	13.25
11	10.80	14.34	10.12	11.62	16.00	13.25
12	11.24	16.35	10.50	11.62	16.00	13.38
平均	11.03	12.46	9.43	10.60	15.80	13.03

1. 紐育生産物取引所「統計年報」より。毎日出来値の高低平均
2. マベツ「プロン」仲買店作成の1923年度統計より。各月高低現金値段平均
3. 紐育「商業新聞」より。毎週水曜日の高低値段平均
4. 1921及22年の價格はOil print and drug reporter。紐育市場に於ける現物取引相場の高値平均増詰
5. 各週土曜日ヲ出来値高低平均
6. アスベラレン「會社」紐育生産物取引所の毎日相場より。出来値の高低平均、當限大引値段
7. 1月より6月まで紐育「商業新聞」。出来値高低平均。7月より12月までアスベラレン「會社」より。出来値大引値段高低平均
8. 國立糧食局より。毎週値段高低平均

第百八十二表 非食用油脂月別價格表 (一割度に付單位由)(高低相場平均)

森川啓 編纂の監修

1345



年 月	牛 上 罐 詰 物 <sup>1</sup>	大 豆 油 粗 製 <sup>2</sup>	パ ル ム 油 マ ネ ス 産 <sup>2</sup>	軟 黄 <sup>1</sup>		脂 白 <sup>1</sup>		椰 子 油 マ ネ ス 産 <sup>2</sup>	マ ネ ス 油 <sup>3</sup>	鯨 油 <sup>3</sup>
				黄 <sup>1</sup>	白 <sup>1</sup>					
1920										
1	17.62	19.25	17.62	15.00	17.00	19.25	12.30	14.00		
2	16.00	19.12	17.00	13.50	14.62	18.88	11.80	14.00		
3	16.12	18.88	15.88	14.00	15.50	18.50	11.53	14.00		
4	15.62	18.38	15.88	13.50	14.38	18.62	11.86	14.00		
5	13.88	17.62	14.75	12.00	13.38	18.88	10.40	14.00		
6	120.0	17.00	12.25	9.88	11.38	17.88	7.50	14.00		
7	12.38	15.38	10.75	10.62	11.50	16.38	7.93	13.25		
8	12.75	14.38	10.38	9.50	11.75	15.50	7.67	11.70		
9	13.75	13.62	10.38	9.88	13.00	15.70	6.87	11.33		
10	11.25	13.00	10.50	7.75	12.62	15.75	5.60	10.87		
11	8.25	11.38	9.88	6.00	10.12	14.62	5.60	6.30		
12	6.50	9.50	8.38	4.75	7.12	12.75	3.80	5.47		
平 均	13.01	15.63	12.80	10.53	12.00	16.33	8.57	11.96		
1921										
1	6.75	8.50	7.88	5.00	6.12	11.75	4.10	5.00		

2	6.25	7.75	7.62	4.25	5.50	10.88	3.67	5.00
3	5.88	7.25	7.00	4.00	5.50	9.12	3.00	5.00
4	5.75	7.44	6.88	4.00	5.38	9.12	3.07	5.00
5	6.12	7.50	7.38	4.00	5.50	10.12	3.07	5.00
6	5.50	7.75	7.25	3.62	5.12	10.38	3.07	4.67
7	5.62	8.00	6.75	3.62	5.38	9.81	2.76	4.00
8	6.62	8.50	7.12	4.38	6.00	9.88	3.27	4.00
9	7.25	8.75	7.62	4.38	6.62	9.94	3.67	4.33
10	7.25	8.88	7.75	4.50	6.62	9.94	3.93	5.00
11	6.75	9.12	7.81	4.50	6.50	9.38	4.10	5.00
12	6.56	9.12	7.12	4.62	6.25	9.25	4.07	5.00
平 均	6.36	8.21	7.35	4.24	5.87	9.96	3.48	4.75
1922								
1	6.56	8.88	7.88	4.75	6.50	8.94	4.70	5.07
2	6.88	8.38	7.88	5.25	7.00	8.88	5.20	5.07
3	7.00	10.25	8.12	5.50	7.38	9.00	5.13	5.07
4	6.88	11.38	7.88	5.50	7.00	9.00	4.50	5.07
5	6.62	11.38	7.50	5.70	7.12	8.75	4.70	5.07



第三章 油脂の價格

1316

年 月	牛 上 罐 詰 物 <sup>1</sup>	大 豆 製 <sup>4</sup> 油	パ ル ム 産 <sup>6</sup> 油	軟 黄 <sup>5</sup>		脂 白 <sup>5</sup>	椰 子 油 <sup>7</sup> マ ニ ラ 産 <sup>7</sup>	マ ン ハ ー 油 <sup>7</sup> 78	鯨 油 <sup>7</sup>
				黄 <sup>5</sup>	白 <sup>5</sup>				
1923									
平均	7.08	10.90	7.40	5.92	7.31	8.80	5.20	5.50	
6	6.50	11.75	7.12	5.50	7.12	8.75	4.60	5.07	
7	6.62	12.25	7.12	5.56	7.00	8.75	5.20	5.38	
8	6.88	12.50	7.06	5.75	7.12	8.62	5.40	6.00	
9	6.88	11.50	6.88	5.88	7.12	8.50	5.38	6.00	
10	7.50	10.62	7.09	6.62	7.50	8.62	5.27	6.00	
11	8.25	10.62	7.12	7.62	8.38	8.75	6.16	6.00	
12	8.38	20.75	7.18	7.62	8.50	9.00	6.20	6.00	
平均	7.08	10.90	7.40	5.92	7.31	8.80	5.20	5.50	
1923									
1	9.00	1.13 <sup>4</sup>	7.63	8.38	8.88	9.25 <sup>5</sup>	6.50	6.80	
2	8.68	1.18	7.94	8.62	9.12	9.38	6.50	6.98	
3	9.50	1.23	8.38	8.88	9.31	9.68	7.33	6.98	
4	8.94	1.29	8.56	8.18	8.63	10.12	7.00	7.33	
5	8.12	1.32	7.88	7.00	7.88	9.88	7.00	7.00	
6	7.25	1.28	7.88	6.12	7.12	9.75	6.66	6.40	
7	6.88	1.18	7.12	5.88	7.00	9.50	6.66	6.00	
8	7.50	1.03	6.81	6.00	7.44	9.38	5.27	6.00	
9	8.12	1.08	7.38	6.62	8.50	9.38	5.67	6.00	

第三章 油脂の價格

1317

年 月	牛 上 罐 詰 物 <sup>1</sup>	大 豆 製 <sup>4</sup> 油	パ ル ム 産 <sup>6</sup> 油	軟 黄 <sup>5</sup>		脂 白 <sup>5</sup>	椰 子 油 <sup>7</sup> マ ニ ラ 産 <sup>7</sup>	マ ン ハ ー 油 <sup>7</sup> 78	鯨 油 <sup>7</sup>
				黄 <sup>5</sup>	白 <sup>5</sup>				
1924									
平均	8.26	11.68	7.68	6.99	8.39	9.59	6.47	6.45	
10	8.50	11.0	7.62	5.50	9.00	9.38	6.33	6.00	
11	8.50	11.0	7.62	6.25	9.00	9.62	6.33	6.00	
12	8.12	11.0	7.88	6.24	8.75	9.75	6.33	6.00	
1	8.50	11.3	8.05	6.56	8.38	9.81	6.50	7.25	
2	7.81	11.6	8.06	6.62	7.50	9.88	6.50	7.25	
3	8.06	12.0	8.00	6.88	7.50	9.69	7.17	7.25	
4	7.62	12.0	7.50	6.56	7.25	9.56	7.17	7.25	
5	7.38	12.0	7.38	6.38	6.93	9.31	7.17	7.25	
6	7.12	12.0	7.21	6.06	6.68	9.32	6.00	7.25	
7	7.62	12.1	7.60	6.25	7.18	9.75	5.67	7.25	
8	8.62	12.8	8.38	7.25	8.38	10.44	6.67	7.25	
9	9.12	12.8	8.35	7.38	8.88	10.50	6.33	7.25	
10	9.12	13.2	8.88	8.12	9.12	10.56	7.00	7.25	
11	9.88	13.5	9.62	8.75	9.75	11.56	7.50	7.25	



12	10.19	13.3	9.44	9.00	10.75	11.50	7.67	7.25
平均	8.42	12.4	8.21	7.15	8.15	10.16	6.82	7.25

1. 市販右アベツクソソソ仲買店作成の1923年逐統計より。一月間の高低平均
2. 紐育「商業新聞」より。各週土曜日の高低価格平均
3. 亞米利加主要石蠟製造業者作成の統計より
4. 紐育協誌。合衆國労働統計局卸賣價格報告より
5. 國立糧食局より。毎週値段高低平均
6. 出來値高低平均
7. 「Oil, paint and drug reporter」。毎週相場高低平均
8. 「カカロ」封度の割にて封度に換算せしものなり

第百八十三表 食用並非食用油脂加重平均價格及指數<sup>1</sup> 1920—23年平均=100

年 月	食 用 <sup>2</sup>		非 食 用 <sup>3</sup>	
	加 重 平 均	指 數	加 重 平 均	指 數
1920	一封度にて單位仙			
	1	22.59	181	17.42
	2	20.50	164	16.25
	3	20.00	160	16.24
4	19.06	153	15.90	175

5	19.89	160	14.71	161
6	18.97	152	13.11	141
7	17.09	137	12.84	141
8	15.94	128	12.68	131
9	17.12	137	13.11	144
10	18.64	150	11.80	131
11	15.62	125	9.70	107
12	12.53	101	7.86	86
平均	18.17	146	13.46	148
1921				
1	11.26	90	7.59	84
2	10.26	82	7.00	77
3	9.54	76	6.35	70
4	8.62	69	6.29	63
5	8.81	71	6.70	74
6	9.04	73	6.43	71
7	10.10	81	6.34	70
8	10.13	81	6.98	77



第三章 油脂の価格

一四三

9	10.36	83	7.39	81
10	9.36	75	7.44	82
11	8.87	71	7.13	78
12	8.65	69	6.96	77
平均	9.58	77	6.88	76
1922				
1	9.11	78	7.00	77
2	10.54	85	7.24	80
3	11.17	90	7.46	82
4	10.88	87	7.39	81
5	11.24	90	7.23	80
6	11.16	90	7.17	79
7	10.84	87	7.29	80
8	10.71	86	7.43	82
9	10.01	80	7.34	81
10	10.16	82	7.67	84
11	10.49	84	8.28	90
12	10.33	85	8.36	92

平均 10.58

85

7.52

83

1923				
1	11.14	89	8.86	97
2	11.29	91	8.84	97
3	11.68	94	9.39	103
4	11.53	92	9.17	101
5	11.20	90	8.59	94
6	11.15	89	7.97	88
7	10.57	85	7.65	84
8	10.72	86	7.75	85
9	12.04	97	8.24	91
10	12.38	99	8.44	98
11	12.61	101	8.54	94
12	11.63	93	8.42	92
平均	11.50	92	8.49	93
1924				
1	11.58	93	8.62	95

第三章 油脂の価格

一四四



第三章 油脂の價格

1 豆油

2	10.75	86	8.28	91
3	10.58	85	8.43	93
4	10.54	84	8.14	90
5	10.28	82	7.98	87
6	10.58	85	7.70	85
7	12.34	99	8.07	89
8	13.46	108	8.97	99
9	12.34	99	9.26	102
10	12.92	104	9.42	104
11	12.90	104	10.15	112
12	14.17	114	10.37	114
平均	11.87	95	8.78	97

1. 合衆國生油數字を基礎としてウエイトセリ。但し消費數字を使用せる粗製大豆油及ラメス産パルム油を除く。加重四ヶ年平均價格(1920—23)を各部類の基礎とせり

2. 六種の油脂より成る。即ちI.P.S.Y. 給實油。蒸氣製上等採脂。食用牛脂。交趾産椰子油。精製落花生油及精製玉蜀黍油。

3. 八種の油脂より成る。即ち上等罐詰もの牛脂。粗製大豆油。ラメス産パルム油。黄色軟脂。白色軟脂。マニラ産椰子油。メソハーデン油及鯨油。

第百八十四表 動植物油脂加重平均價格表 一 封度に付單位仙

年	月	1920			1921		
		植 物 油 <sup>2</sup>	獸 脂 <sup>3</sup>	總 油 脂	植 物 油 <sup>2</sup>	獸 脂 <sup>3</sup>	總 油 脂
1		21.23	21.60	21.46	9.43	11.16	10.46
2		19.94	19.29	19.58	8.50	10.97	9.55
3		19.24	19.12	19.19	7.36	9.87	8.84
4		18.62	18.19	18.39	7.15	8.77	8.11
5		19.08	18.53	18.79	8.26	8.40	8.35
6		17.37	17.91	17.73	8.24	8.64	8.48
7		14.84	17.06	16.19	8.72	9.68	9.29
8		13.21	16.60	15.23	8.94	9.78	9.44
9		14.07	17.73	16.25	9.77	9.65	9.70
10		13.08	19.96	17.15	9.33	8.65	8.93
11		11.59	16.22	14.32	8.70	8.33	8.48
12		9.79	12.67	11.50	8.73	7.96	8.28
平均		16.01	17.91	17.15	8.60	9.26	8.99



第百八十四表 動植物油脂加重平均價格表 一 封底に付單位值 (續)

年 月	1922			1923		
	植 物 油 <sup>2</sup>	獸 脂 <sup>3</sup>	總 油 脂	植 物 油 <sup>2</sup>	獸 脂 <sup>3</sup>	總 油 脂
1	8.88	8.48	8.64	10.74	10.56	10.65
2	9.78	9.84	9.82	11.07	10.52	10.76
3	10.85	10.00	10.35	11.34	11.04	11.18
4	10.97	9.52	10.12	11.53	10.63	11.01
5	11.08	9.89	10.36	11.40	10.07	10.68
6	10.64	10.01	10.27	11.14	9.96	10.45
7	10.53	9.85	10.05	10.32	9.65	9.94
8	9.85	10.07	9.98	10.01	10.09	10.08
9	9.08	9.65	9.42	11.57	10.98	11.21
10	9.09	9.97	9.61	11.62	11.41	11.51
11	9.29	10.46	9.98	11.41	11.91	11.71
12	9.94	19.25	10.13	10.34	10.97	10.92
平均	9.99	9.83	9.90	11.08	10.65	10.84

第百八十四表 動植物油脂積數平均價格表 一 封底に付單位值 (續)

年 月	1924		
	植 物 油 <sup>2</sup>	動 物 油 <sup>3</sup>	總 油 脂
1	10.86	10.96	10.98
2	10.32	10.12	10.21
3	10.10	10.10	10.10
4	10.26	9.82	10.02
5	10.05	9.55	9.77
6	10.48	9.57	9.96
7	12.03	10.95	11.41
8	12.92	12.14	12.47
9	10.92	12.15	11.66
10	11.50	12.60	12.16
11	11.33	13.03	12.29
12	11.50	14.60	13.33
平均	11.02	11.30	11.19

1. 消費數字を使用せる大豆油及パーム油を除き合衆國に於ける生産數字を基礎としてウェイトせるものなり。第百八十一及



百八十二表掲載の價格に基く。

1. P.S.V. 綿實油。交趾産椰子油。マニラ産椰子油。精製落花生油。粗製大豆油及マニラ産ヤシ油より成る。

2. 豚油。牛脂(食用)。非食用牛脂。黄色軟脂。白色軟脂。ソルバーレン油及鯨油より成る。

第百八十五表 植物油動物油脂並に總商品の價格指數表<sup>1)</sup>

年	月	總 商 品 <sup>2)</sup>	植 物 油 <sup>3)</sup>	獸 脂 及 魚 油 <sup>4)</sup>	總 油 脂
1920	1	138	179	181	188
	2	137	169	162	167
	3	138	163	160	164
	4	145	157	155	157
	5	146	161	155	160
	6	144	147	150	151
	7	143	125	143	138
	8	137	112	139	130
	9	134	119	149	139
	10	125	110	168	146
	11	116	98	136	122

年	月	總 商 品 <sup>2)</sup>	植 物 油 <sup>3)</sup>	獸 脂 及 魚 油 <sup>4)</sup>	總 油 脂
1921	12	106	83	106	98
	平	134	135	150	146
	1	100	80	94	89
	2	95	72	80	81
	3	92	62	83	75
	4	88	60	74	69
	5	86	70	70	71
	6	84	70	73	72
	7	83	74	81	79
	8	84	76	82	80
	9	83	83	81	83
	10	84	79	73	75
11	83	73	70	72	
12	83	74	67	71	
平	均	87	73	78	77
1922	1	82	75	71	74



第三章 油脂の價格

一五〇

2	83	85	83	84
3	84	92	84	88
4	85	93	80	86
5	88	93	83	88
6	89	93	84	88
7	92	88	83	86
8	92	88	84	86
9	90	77	81	80
10	91	77	84	82
11	92	79	88	85
12	92	84	86	86
平均	88	84	83	84
1923				
1	92	91	89	91
2	93	94	88	92
3	94	96	93	95
4	94	98	89	94
5	92	96	84	91

第三章 油脂の價格

一五一

6	90	94	84	89
7	89	87	81	85
8	89	85	85	86
9	91	98	92	96
10	90	98	96	98
11	90	95	100	100
12	89	92	92	93
平均	91	94	89	92
1924				
1	89	92	92	93
2	90	87	85	87
3	89	85	85	86
4	88	87	82	85
5	87	85	80	88
9	86	89	80	85
7	87	102	92	97
8	89	109	102	106
9	88	92	102	99



食用油脂の価格

1941

10	90	97	104
11	91	95	105
12	98	97	114
平均	89	93	95

1. 植物油及動物油の指数は第181表の加重平均価格を基礎とせり。
2. 1920—23年四年間平均を基礎として作成せる合衆國労働統計局指数。この新標準は1912年度の標準を100とすれば1931に當る3 P.S.V. 綿實油、交割産椰子油、マニラ産椰子油、精製落花生油、精製玉蜀黍油、粗製大豆油及ラオス産パーム油より成る。
3. P.S.V. 綿實油、交割産椰子油、マニラ産椰子油、精製落花生油、精製玉蜀黍油、粗製大豆油及ラオス産パーム油より成る。
4. 豚脂、食用牛脂、非食用牛脂、黄色軟脂、白色軟脂、メソナーデソ油及鯨油より成る。

第百八十六表 純豚脂及人造豚脂月別價格表 一付度に付單位仙

月 別	1920		1921		1922	
	純 豚 脂 <sup>1</sup>	人 造 豚 脂 <sup>1</sup>	純 豚 脂 <sup>1</sup>	人 造 豚 脂 <sup>1</sup>	純 豚 脂 <sup>1</sup>	人 造 豚 脂 <sup>1</sup>
1	26.38	25.00	16.88	11.50	11.25	10.50
2	24.50	22.88	15.50	10.38	12.88	11.12
3	22.88	26.00	14.62	9.88	14.50	13.12
4	22.88	26.00	13.12	9.00	12.75	13.12
5	23.12	23.00	12.38	8.38	13.62	12.75
6	23.38	22.62	12.00	8.62	13.75	13.00

7	22.88	19.62	13.50	9.62	12.50	12.75
8	22.12	17.50	14.50	11.00	12.38	12.38
9	24.00	17.38	14.12	11.00	11.30	10.90
10	25.25	16.88	12.38	11.00	12.62	11.12
11	24.00	15.12	12.12	10.75	12.50	11.62
12	19.62	13.00	11.12	10.50	12.00	11.75
平均	23.38	19.96	13.52	10.14	12.69	11.94

第百八十六表 純豚脂及人造豚脂月別價格表 (一付度に付單位仙) (續)

月 別	1923		1924	
	純 豚 脂 <sup>1</sup>	人 造 豚 脂 <sup>1</sup>	純 豚 脂 <sup>1</sup>	人 造 豚 脂 <sup>1</sup>
1	11.50	11.75	12.44	11.44
2	11.75	11.75	11.62	10.12
3	12.75	12.88	11.40	10.05
4	12.50	12.50	11.62	10.25
5	11.75	13.00	11.15	10.00
6	11.62	13.25	11.00	10.66
7	11.50	12.75	12.06	13.62

食用油脂の価格

1941



第三章 油脂の價格

1 年度

8	11.38	12.38	14.25	16.50
9	13.38	13.00	15.05	16.81
10	13.88	13.12	16.88	14.44
11	14.25	13.50	15.06	12.70
12	13.38	12.62	15.04	13.94
平均	12.47	12.71	13.22	12.54

1, 市俄古市場國立糧食局、四週間相場平均、

第百八十七表 豚脂及綿實油價格並食料品價格指數比較表 (1913=100)

月 別	1920			1921		
	豚脂 <sup>1</sup> 上等蒸氣精製 <sup>1</sup>	綿實油 <sup>1</sup> T. S. Y.	食料品 <sup>2</sup>	豚脂 <sup>1</sup> 上等蒸氣精製 <sup>1</sup>	綿實油 <sup>1</sup> T. S. Y.	食料品 <sup>2</sup>
1	213	295	231	118	114	162
2	189	271	222	109	99	151
3	186	260	220	105	86	151
4	176	250	238	91	82	144
5	186	263	248	86	101	139
6	184	233	243	91	100	137

7	173	190	238	103	113	141
8	167	165	221	102	116	146
9	178	185	215	98	132	142
10	213	162	201	86	122	140
11	175	137	190	83	111	139
12	137	116	170	79	113	136
平均	181	211	220	96	108	144

第百八十七表 豚脂及綿實油價格並食料品價格指數比較表 (1913=100) (續)

月 別	1922			1923		
	豚脂 <sup>1</sup> 上等蒸氣精製 <sup>1</sup>	綿實油 <sup>1</sup> T. S. Y.	食料品 <sup>2</sup>	豚脂 <sup>1</sup> 上等蒸氣精製 <sup>1</sup>	綿實油 <sup>1</sup> T. S. Y.	食料品 <sup>2</sup>
1	85	117	131	102	150	141
2	100	137	135	102	155	141
3	102	157	137	107	159	143
4	97	157	137	103	159	144
5	102	161	138	99	159	144
6	103	154	140	100	155	142
7	101	146	142	97	140	141

第三章 油脂の價格

1 年度



第三章 油脂の價格

一五六

8	103	135	138	102	138	142
9	98	121	138	110	163	147
10	100	123	140	115	168	148
11	103	126	143	121	162	148
12	100	137	144	110	150	147
平均	99	139	138	106	155	144

第百八十七表 豚脂及綿實油價格並食料品價格指數比較表 (1913=100) (續)

年 月	1924				
	豚脂 <sup>1</sup> 上等蒸氣精製	綿實油 <sup>1</sup> P.S.	食料品 <sup>2</sup> 油 <sup>1</sup>	食料品 <sup>2</sup>	食料品 <sup>2</sup>
1	109	150	143		
2	100	138	143		
3	99	134	141		
4	97	139	137		
5	95	135	137		
6	96	145	136		
7	111	176	139		
8	123	189	144		

9	122	147	148		
10	127	158	152		
11	130	148	154		
12	148	154	158		
平均	113	151	144		

1, 第百八十一表の價格を基礎とし、1913度の價格は一封度に付豚脂11仙、綿實油7.3仙

2. 合衆國勞働統計局食料品購買價格指數

第百八十八表 綿實、綿實油及綿實撒粕價格月別表

年 月	綿實油 <sup>1</sup> 上等サロム	綿實油 <sup>2</sup> 粗製品、東南部	綿實撒粕 <sup>3</sup> 36%サロム	綿實地 <sup>4</sup> 産地
1920				
1	21.55	19.62	71.00	69.88
2	19.75	18.03	—	69.34
3	19.00	17.42	66.00	67.18
4	18.25	15.83	64.81	68.71
5	19.20	15.76	65.12	69.88
6	17.00	13.85	63.62	66.16
7	13.85	呼値のみ	59.30	61.64

第三章 油脂の價格

一五七



第三章 油脂の價格

一五八

年	均	呼値の力		
1921				
1	8.34	6.15	28.33	18.96
2	7.25	5.52	26.50	19.76
3	6.25	4.49	25.17	18.92
4	6.00	4.35	23.50	17.23
5	7.38	5.33	28.92	17.28
6	7.30	5.78	29.75	17.06
7	8.25	6.98	34.00	18.75
8	8.48	6.76	36.44	22.06
9	9.64	7.96	36.00	27.19
10	8.94	7.20	34.50	31.05
11	8.10	6.94	33.44	29.15
平均	15.37	13.25	54.34	51.73

年	均	呼値の力		
1922				
1	8.56	7.16	34.75	29.24
2	10.00	8.67	38.12	30.17
3	11.45	10.03	41.12	32.72
4	11.45	9.36	43.00	40.79
5	11.72	9.98	43.75	40.21
6	11.25	9.82	42.50	37.71
7	10.66	呼値の力	39.80	36.92
8	9.90	7.95	34.00	32.44
9	8.86	6.41	32.60	25.37
10	8.95	7.26	37.62	31.79
11	9.18	8.22	42.31	40.18
12	9.98	8.56	42.06	42.98
平均	10.16	8.49	39.34	35.04

第三章 油脂の價格

一五九

1923



第三章 油脂の價格

一六〇

1	10.92	9.75	41.88	43.35
2	11.32	9.92	41.95	43.16
3	11.60	10.36	39.60	46.32
4	11.62	10.19	39.12	47.60
5	11.58	9.73	38.25	46.58
6	11.30	9.85	36.00	43.14
7	10.20	8.96	35.38	41.42
8	10.10	9.02	38.50	37.47
9	12.29	9.36	40.12	40.88
10	12.25	9.28	40.75	40.90
11	11.80	9.77	43.00	45.92
12	10.92	9.44	40.80	45.54
平均	11.33	9.64	39.55	43.69
1924				
1	10.92	9.40	39.12	44.37
2	10.10	8.76	37.75	43.27
3	9.78	8.32	34.70	41.34

4	10.15	8.64	36.62	40.42
5	9.88	8.08	36.50	40.58
6	10.60	8.38	36.62	39.96
7	12.85	10.38	38.83	39.07
8	13.80	10.88	39.90	38.44
9	10.72	8.88	37.70	31.74
10	11.50	9.66	37.44	31.95
11	10.80	8.38	35.35	33.57
12	11.24	9.56	36.75	35.48
平均	11.03	9.10	37.52	36.34

1. 紐育物産取引所アムステルダム社の毎日相場表より。出来値高低平均。常限取引値段。

2. 紐育物産取引所の毎日相場高低平均。1924年7月より最近に至るものはアムステルダム社の日刊報告より。

3. 合衆國農務省の「市場報告書」及「天候作物及市場」より。毎週相場高低平均。

4. 合衆國勞働統計局「卸賣價格報告」より。

5. 上等サマーイエロー綿實油の値段は1月—12月、紐育「商業新聞」より(出来値高低平均)。7月—12月、アムステルダム社より(大引値段高低平均)。



第百八十九表 綿實粕、亞麻仁粕及麩質飼料價格月別表 (一噸に付弗)

月	別	1920		1921	
		亞麻仁油粕 ミネアボリス <sup>1</sup>	鉄質飼料 <sup>2</sup>	亞麻仁油粕 ミネアボリス <sup>1</sup>	鉄質飼料 <sup>2</sup>
1		62.19	73.50	39.25	45.25
2		78.88	75.00	38.00	35.50
3		75.50	73.67	41.20	25.17
4		66.69	73.50	34.81	31.60
5		66.12	76.00	28.31	26.50
6		64.85	77.50	29.15	29.00
7		63.50	67.60	36.12	28.60
8		62.88	64.12	39.30	30.41
9		62.50	58.75	39.12	20.78
10		59.56	46.75	34.88	27.85
11		50.81	45.88	37.40	28.16
12		41.55	48.00	43.25	35.05
平均		64.54	65.02	36.73	32.06

第百八十九表 綿實粕、亞麻仁粕及麩質飼料價格月別表 (噸に付弗) (續)

月	別	1922		1923	
		亞麻仁油粕 ミネアボリス <sup>1</sup>	鉄質飼料 <sup>2</sup>	亞麻仁油粕 ミネアボリス <sup>1</sup>	鉄質飼料 <sup>2</sup>
1		43.38	33.65	53.70	42.32
2		45.56	32.02	50.75	42.65
3		52.55	32.65	45.25	42.25
4		51.25	32.65	42.06	36.40
5		49.60	32.80	41.30	37.15
6		46.56	32.32	38.19	37.15
7		45.81	28.85	40.56	37.15
8		42.85	29.84	48.70	40.85
9		39.12	30.85	48.00	43.55
10		46.00	33.98	49.10	45.25
11		49.60	36.72	47.12	44.38
12		51.12	39.55	46.00	41.02
平均		46.91	32.99	45.64	40.84



第百八十九表 綿實粕、亞麻仁粕及麩質飼料價格月別表 (一噸に付弗) (續)

別	月	1924				
		亞麻仁粕 ミ 麻本 ナ 油 ガ リ	撒 リ マ ズ <sup>1</sup>	鉄 市 質 俄 飼 料	料 古 <sup>2</sup>	綿 實 36% マ ソ フ 撒 リ マ ズ <sup>3</sup>
1		45.45			39.42	39.12
2		41.62			36.15	37.75
3		41.50			34.40	36.70
4		39.81			30.80	36.62
5		38.44			32.28	36.50
6		40.25			34.65	36.62
7		43.94			37.15	33.83
8		45.25			38.88	39.90
9		44.75			40.80	37.70
10		45.70			40.80	37.44
11		44.81			39.20	36.85
12		46.65			40.80	36.75
平均		43.11			37.07	37.52

1. 西北部地方諸工場より。四週間相場價格平均。  
2. 合衆國農務省市場報告及天候作物及市場四週間相場平均。

第百九十表 英國綿實、綿實油及綿實撒粕月別平均價格表

月	別	1913		1914	
		綿實 (英領埃及) <sup>1</sup> 一米噸に付弗	綿實油(英國ノル市) <sup>1</sup> 一付度に付弗	綿實 一米噸に付弗	綿實油 一付度に付弗
1		36.12	5.65	37.80	6.52
2		39.80	5.97	37.40	6.19
3		38.80	5.92	36.80	6.30
4		39.20	6.11	36.80	4.15
5		39.40	6.25	33.60	6.11
6		38.80	6.41	35.40	5.87
7		41.60	7.33	35.40	5.68
8		43.00	7.55	41.60	6.25
9		40.20	7.07	35.00	5.59
10		37.60	6.35	33.00	5.00
11		39.00	6.68	34.80	7.39
12		38.60	6.72	30.40	5.43
平均		39.34	6.48	35.65	5.87



第百九十表 英國綿實、綿實油及綿實撒粕月別平均價格表 (續)

月 別	1919			1920		
	綿 實 一米噸に付弗	綿 實 油 一担度に付弗	綿 實 油 一米噸に付弗	綿 實 撒 粕、 殼及ワラ 一米噸に付弗	綿 實 油 一担度に付弗	
1	—	—	94.00	—	19.39	
2	—	—	94.60	—	18.99	
3	—	—	84.80	—	19.44	
4	—	—	83.40	—	17.57	
5	—	—	77.40	—	15.98	
6	129.80	—	69.60	—	14.29	
7	130.20	—	58.40	—	12.09	
8	118.20	23.26	61.20	64.67	12.94	
9	91.40	19.21	62.00	62.77	12.40	
10	74.80	17.94	61.40	65.75	11.02	
11	78.40	19.77	52.00	61.34	8.89	
12	84.00	18.74	43.00	63.90	7.64	
平 均	96.17	20.83	70.57	—	14.22	

第百九十表 英國綿實、綿實油及綿實撒粕月別平均價格表 (續)

月 別	1921			1922		
	綿 實 一米噸に付弗	綿 實 撒 粕 一米噸に付弗	綿 實 油 一担度に付弗	綿 實 一米噸に付弗	綿 實 撒 粕 一米噸に付弗	綿 實 油 一担度に付弗
1	39.20	53.47	6.18	45.40	54.52	7.79
2	38.80	48.40	6.40	47.60	54.52	7.79
3	42.80	45.39	6.28	49.20	54.69	8.41
4	43.00	44.74	5.52	47.40	53.20	8.67
5	44.80	42.05	6.39	50.60	53.88	9.53
6	39.00	38.92	6.77	47.00	53.66	8.95
7	39.80	51.08	7.30	48.00	54.34	8.94
8	45.60	48.08	7.50	43.60	54.41	8.38
9	49.00	—	8.15	39.60	49.94	7.13
10	49.60	48.41	8.48	40.20	49.30	7.53
11	44.40	49.63	7.27	43.20	52.28	7.81
12	46.40	51.95	7.43	57.00	54.88	8.23
平 均	43.03	47.46	6.98	45.73	53.24	8.23



第百九十一表 英國綿實油及綿實撒粕月別平均價格表 (續)

月 別	1923				1924			
	綿 實 —米噸に付那 50.50	綿 實 撒 粕 —米噸に付那 56.39	綿 實 油 —封度に付那 8.52	綿 實 —米噸に付那 55.80	綿 實 撒 粕 —米噸に付那 50.77	綿 實 油 —封度に付那 8.84		
1	51.00	56.92	8.80	52.22	51.40	9.34		
2	50.40	57.56	8.81	49.32	50.76	4.90		
3	51.40	56.41	9.15	50.99	48.56	8.57		
4	50.40	52.97	9.09	51.10	46.72	8.87		
5	50.00	52.02	8.45	49.90	49.18	8.15		
6	48.40	50.77	8.20	51.70	50.84	8.61		
7	45.60	48.56	8.15	55.49	53.42	9.19		
8	47.20	50.68	8.31	55.26	51.17	9.25		
9	47.20	51.50	8.28	58.59	52.68	9.64		
10	49.40	52.83	8.03	57.11	53.51	10.34		
11	58.00	48.07	8.56	55.29	53.91	10.74		
12	50.30	52.89	8.53	53.57	51.08	9.16		
平 均								

1. 1913-23年の價格はフランクフェル社發行1923年産油實及油市場評論より。1924年の價格は倫敦物産種子及油報告書より。

- 英國農務省報より。1922年4月より1923年8月まで及1924年7月より今日までリバーポールの「穀物貿易新報」より。
- 後半期平均
- 總ての價格は現行の爲替相場にて合衆國通貨にて換算せり。

第百九十一表 バター人造バター及オレオ油月別價格表 (—封度に付仙)

月 別	1920			1921		
	バター最新 <sup>1</sup> 特製品、粗膏	人造バター <sup>2</sup>	オレオ油 <sup>3</sup>	バター最新 <sup>1</sup> 特製品、粗膏	人造バター <sup>2</sup>	オレオ油 <sup>3</sup>
1	64.64	85.5	29.4	52.40	24.9	13.3
2	66.57	84.4	27.9	47.18	23.6	12.9
3	66.44	83.5	26.0	48.01	22.2	12.5
4	71.35	83.5	24.0	45.49	20.5	10.0
5	61.20	83.5	21.0	31.32	19.8	10.2
6	57.35	82.6	19.6	32.62	18.5	9.7
7	56.57	81.7	18.2	40.25	18.9	9.3
8	55.44	80.5	16.8	42.60	20.5	11.0
9	59.26	80.5	19.5	42.99	20.5	12.7
10	60.22	29.5	20.5	46.97	20.5	12.5
11	63.22	29.5	17.8	44.91	20.1	11.5
12	54.75	27.0	16.9	43.71	19.5	10.4



平 均	61.42	31.8	21.4	43.24	23.8	11.3
-----	-------	------	------	-------	------	------

第百九十一表 バター、人造バター及オレオ油月別價格表 (一封度に付圓)。(續)

月 別	1922			1923		
	バター最新特製品、紐育	人造バター	オレオ油	バター最新特製品、紐育	人造バター	オレオ油
1	37.36	19.0	10.0	51.64	20.5	12.8
2	37.07	17.5	9.9	49.81	20.5	12.8
3	38.29	17.5	10.1	48.29	20.5	12.9
4	37.63	17.5	9.5	46.15	20.5	13.3
5	36.73	17.5	9.6	41.89	20.5	13.3
6	36.65	17.5	10.0	38.80	20.5	12.0
7	36.25	18.2	10.7	39.80	20.5	10.9
8	35.35	18.5	11.4	43.40	20.5	11.0
9	40.99	18.5	10.8	45.90	21.0	12.1
10	45.89	18.5	10.6	47.67	21.5	12.8
11	51.30	19.2	11.9	52.33	22.2	14.4
12	54.21	20.5	13.2	54.59	22.5	15.2
平 均	40.64	18.3	10.7	46.77	20.9	12.8

第百九十一表 バター、人造バター及オレオ油月別價格表 (續)

月 別	1924			
	バター最新特製品、紐育	人 造	バ タ ー	オ レ オ 油
1	53.1			15.6
2	50.6			14.7
3	47.3			13.0
4	38.9			11.9
5	39.1			12.0
6	41.5			11.9
7	40.0			12.6
8	38.3			15.3
9	37.8			16.8
10	38.4			20.0
11	42.9			20.8
12	44.9			16.8
平 均	42.7			15.1

1. 1920—22年「紐育物産誌論」より。1923—24年合衆國勢動統計局「到貨價格報告」より。



2. 市復古、標準無色もの。合衆國勞働統計局「卸賣價格報告」より。
3. 市復古、特製品。合衆國勞働統計局より。

第百九十二表 バター價格表（一月度に付單位仙）（第七月目を中心とする12ヶ月平均）

月 別	1920	1921	1922	1923	1924
1	—	49.79	40.11	44.72	45.70
2	—	48.71	39.73	45.27	45.59
3	—	47.75	39.61	46.08	45.16
4	—	46.81	39.83	46.60	44.58
5	—	45.63	40.16	47.09	44.22
6	—	44.13	40.88	47.34	43.65
7	60.73	42.19	41.49	47.26	—
8	59.39	41.61	42.45	47.18	—
9	57.96	40.98	43.39	46.99	—
10	56.35	40.13	43.99	46.19	—
11	53.31	39.46	44.32	45.64	—
12	51.11	39.83	44.48	45.61	—

第百九十三表 コアラ月別價格表（一月度に付單位仙）

月 別	日 乾 コ ア ラ (太平洋沿岸地方)				
	1920	1921	1922	1923	1924
1	10.78	5.25	4.26	4.82	5.31
2	10.22	4.50	4.07	5.19	5.20
3	9.45	4.70	4.47	5.56	5.40
4	9.55	4.62	4.31	5.75	5.04
5	9.30	4.60	4.34	5.44	5.06
6	8.75	4.38	4.41	4.62	5.06
7	7.71	4.19	4.39	4.43	5.11
8	7.38	4.35	4.44	4.39	5.50
9	7.31	4.42	4.19	4.62	5.68
10	8.08	4.71	4.29	5.00	5.67
11	6.90	4.38	4.38	5.00	5.75
12	5.81	4.41	4.67	5.15	5.80
平 均	8.44	4.54	4.35	5.00	5.41

1. 「油ペンキ及藥品報告」所載毎週相場より計算せる南洋品月平均價格。1922年及その以降の出所は不明。



第百九十四表 落花生及大豆月別價格表 (一割度に付單位值)

月 別	1920		1921		1922		1923		1924	
	落花生 <sup>1</sup>	大豆 <sup>2</sup>	落花生 <sup>1</sup>	大豆 <sup>2</sup>	落花生 <sup>1</sup>	大豆 <sup>2</sup>	落花生 <sup>1</sup>	大豆 <sup>2</sup>	落花生 <sup>1</sup>	大豆 <sup>2</sup>
1	9.9	6.27	4.4	3.63	3.6	3.52	5.9	3.45	6.9	3.72
2	10.5	6.75	4.1	3.62	4.0	3.60	6.5	3.55	6.7	3.77
3	11.2	—	4.0	—	4.3	—	6.7	—	6.8	4.02
4	10.9	—	3.5	—	3.9	—	7.1	—	6.7	4.00
5	11.2	—	3.4	—	3.9	—	7.1	—	6.4	4.07
6	11.2	—	3.8	—	4.2	—	7.3	—	6.5	4.15
7	11.0	—	3.8	—	4.4	—	6.9	—	6.4	4.33
8	8.5	—	3.9	—	4.4	—	6.7	—	6.6	4.18
9	8.0	—	4.0	—	4.7	—	6.7	—	6.4	3.88
10	5.8	5.68	4.0	3.67	3.6	3.15	7.0	3.48	6.4	3.72
11	5.3	5.00	3.7	3.70	5.2	3.42	6.8	3.52	6.3	3.50
12	4.7	3.80	3.5	3.47	5.0	3.28	6.2	3.52	5.6	3.98
平均	9.0	—	3.8	—	4.3	—	6.7	—	6.5	3.95

1. 毎月十五日産地値段、1923年度合衆國農務省年報。

2. 毎月十五日産地値段。1923年度合衆國農務省年報。一ツツシエルを割封度としてツツシエル單位の價格を封度單位の價格に換算す。

第百九十五表 英國植物油及油原料月別價格表<sup>1</sup> (一割度に付值)

年	月	交趾產椰子油 <sup>2</sup>	精製綿實油 <sup>3</sup>	粗製大豆油 <sup>4</sup>	壓搾花生油 <sup>5</sup>	製出花生油 <sup>6</sup>	コ倫	ア	ラ
1913	1	9.56	5.65	5.51	—	—	—	—	—
	2	9.56	5.97	5.65	—	—	—	—	—
	3	9.78	5.92	5.50	—	—	—	—	—
	4	9.78	6.11	5.29	—	—	—	—	—
	5	9.78	6.25	5.43	—	—	—	—	—
	6	10.43	6.41	5.57	—	—	—	—	—
	7	11.09	7.33	5.96	—	—	—	—	—
	8	11.09	7.55	5.94	—	—	—	—	—
	9	11.09	7.06	5.74	—	—	—	—	—
	10	10.86	6.35	5.72	—	—	—	—	—
	11	10.65	6.68	5.68	—	—	—	—	—
	12	10.44	6.52	5.83	—	—	—	—	—



桑田章 油脂の價格

1 斗升

平均	10.34	6.48	5.65	—	—
1914					
1	9.99	6.52	5.86	—	6.27
2	9.78	6.19	5.82	—	6.06
3	9.34	6.30	5.80	—	5.76
4	9.34	4.15	5.78	—	5.73
5	9.12	6.11	5.66	—	5.51
6	8.70	5.87	5.65	—	5.16
7	9.12	5.68	5.57	—	5.30
8	10.65	6.25	5.85	—	5.21
9	9.99	5.59	5.70	—	5.32
10	9.56	5.00	5.38	—	5.16
11	10.32	7.39	5.38	—	5.32
12	10.22	5.43	5.62	—	5.43
平均	9.69	5.87	5.67	—	5.52
1919					
1	—	—	—	—	9.67

桑田章 油脂の價格

1 斗升

2	—	—	—	—	8.39
3	—	—	—	—	7.01
4	—	—	—	—	9.32
5	—	—	—	—	12.43
6	20.42	26.19	—	—	11.81
7	20.32	26.04	17.70	—	11.64
8	19.65	23.26	17.02	—	11.35
9	18.84	19.21	15.66	—	9.72
10	18.87	17.94	15.46	—	10.25
11	18.49	19.77	17.21	—	10.80
12	17.38	18.74	16.99	—	10.75
平均	18.92	20.83	16.67	—	10.26
1920					
1	18.57	19.39	17.92	17.47	10.84
2	18.23	18.99	17.54	20.14	10.47
3	19.98	19.44	18.39	20.64	11.13
4	19.32	17.54	16.54	23.72	10.32
5	17.35	15.85	15.35	20.55	10.05



第三章 油脂の價格

		1 斗				1 斗			
6	平均	16.59	14.29	14.23	21.03	8.96			
7		14.51	12.09	12.73	17.64	7.51			
8		15.36	12.94	11.73	15.77	8.47			
9		14.91	12.40	11.69	16.69	8.70			
10		14.44	11.02	11.45	15.80	8.65			
11		13.50	8.89	11.17	15.54	8.32			
12		12.16	7.64	—	13.72	6.97			
平均		16.24	14.22	14.53	18.22	9.20			
1621									
1		11.53	6.18	—	11.04	6.27			
2		10.89	6.40	5.53	9.90	5.70			
3		9.43	6.28	5.41	9.90	5.15			
4		8.78	5.62	5.48	9.82	4.91			
5		9.94	6.39	5.83	9.05	5.32			
6		9.65	6.77	6.13	6.63	4.82			
7		9.24	7.30	6.24	6.68	5.19			
8		9.45	7.50	7.09	8.50	5.65			
9		9.64	8.15	7.52	8.69	5.40			

10		9.51	8.48	7.35	8.99	4.97			
11		8.87	7.37	6.09	8.57	4.65			
12		9.27	7.43	6.40	7.93	5.01			
平均		9.68	6.98	6.27	8.81	5.25			
1922									
1		8.87	7.36	6.33	8.27	4.75			
2		8.57	7.79	6.66	8.03	4.95			
3		8.40	8.41	7.13	8.52	4.95			
4		8.08	8.67	7.52	8.39	4.92			
5		8.34	9.53	7.89	8.89	4.95			
6		8.15	8.95	7.92	9.10	4.98			
7		8.14	8.93	7.94	—	5.02			
8		8.57	8.38	7.90	9.12	4.36			
9		8.31	7.13	7.12	8.76	4.57			
10		8.33	7.53	7.04	8.42	4.67			
11		8.60	7.81	7.22	8.76	4.89			
12		9.07	8.23	7.62	9.07	5.21			
平均		8.45	8.23	7.36	8.71	4.89			

第三章 油脂の價格